

③手術を受けた患者へのアンケート調査 (当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ)

労災病院で手術を受けた女性のうち、就労女性では 40 歳代が 46.8%と大半を占めていた。一方、専業主婦では 60 歳代が最も多く、次いで 40 歳代であった。

「自分が病気ではないか」と疑いながらも外来を受診するまでの期間が、就労女性では 22.7%が「1 年以上」経過して受診し、17%が「1 週間以内」で受診しており、就労女性の対応は両極端であった。一方、専業主婦の多くは 18.8%がともに「1 年以上」と「2 週間」であり、次いで 15.6%が「1 ヶ月間」であった。受診を躊躇った理由が、就労女性では最も多かったのが「そのうちに自然に治るだろうと期待した」が 23.4%であり、「深刻な病気だったらどうしようかと不安だった」が 21.3%であった。一方、専業主婦では「どこかに良い病院がないか」と医療機関を探したが 25%であり、次いで「どうしようかと不安だった」が 18.8%であった。

入院時に配慮した事情では、就労女性では 53.2%が「職場の事情」であり、次いで 29.8%が「家族の事情」を配慮して入院時期を決めていた。一方、専業主婦では 43.8%が「家庭の事情」、次いで「産婦人科病院の事情」が 31.3%であった。

入院中に気になったこと、心配したことは、就労女性では 39.7%が「退院後の自分の体調」を、次いで 24.8%が「家族の調子」を心配していた。一方、専業主婦では 34.4%が「退院後の体の調子」を心配し、31.3%が「入院中の自分の体の調子」を心配していた。

退院時期を決めるのに配慮した事情は、就労女性では 43.3%が「家族への配慮」であり、次いで 27.7%が「産婦人科医・病院の事情」であった。一方、専業主婦では 46.9%が「産婦人科医・病院の事情」であり、37.5%が「家族に配慮」して退院時期を決定していた。

退院して気になったこと・心配したことは、就労女性では 33.3%が「現在の自分の体の調子」であり、32.6%が「将来の自分の体の調子」であった。なお、19.9%の就労女性が「復職時期」を、9.2%が「職場の様子」を気にしていた。一方、専業主婦 56.3%が「現在の自分の体の調子」であり、37.5%が「将来の自分の体の調子」であった。

就労女性が復職した場合 43.6 %が「満足」しているものの、残りの約 50%の就労女性は「自宅での療養期間」「職場環境」「上司の理解」「同僚の理解」「家族の理解」などに不満を感じていた。

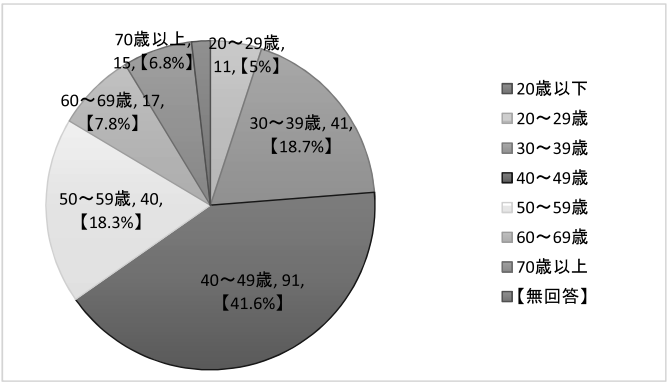
③-A 当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ

集計総数 219

質問1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

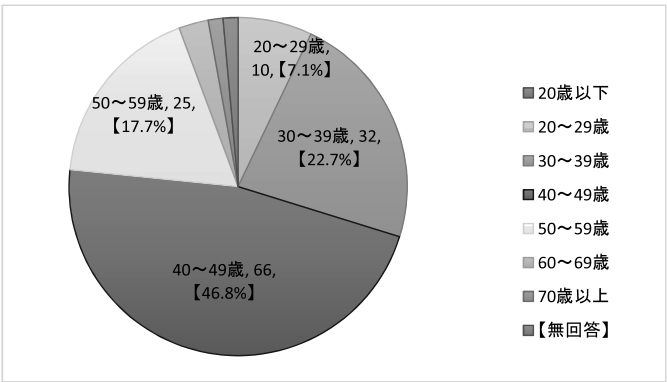
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	11	5
30～39歳	41	18.7
40～49歳	91	41.6
50～59歳	40	18.3
60～69歳	17	7.8
70歳以上	15	6.8
【無回答】	4	1.8
計	219	100



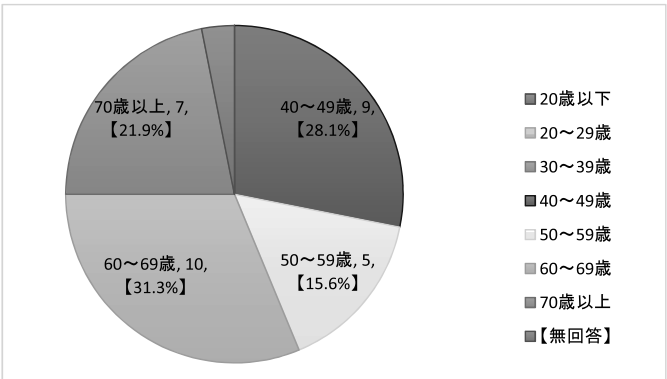
〈働いている女性〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	10	7.1
30～39歳	32	22.7
40～49歳	66	46.8
50～59歳	25	17.7
60～69歳	4	2.8
70歳以上	2	1.4
【無回答】	2	1.4
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	0	0
40～49歳	9	28.1
50～59歳	5	15.6
60～69歳	10	31.3
70歳以上	7	21.9
【無回答】	1	3.1
計	32	100

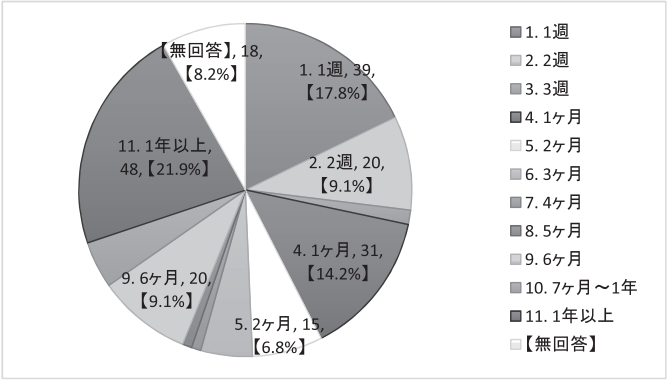


質問2：自分が病気ではないかと疑いながら、外来を受診するまでの期間はどのくらいでしたか？-----

1. 1週
2. 2週
3. 3週
4. 1ヶ月
5. 2ヶ月
6. 3ヶ月
7. 4ヶ月
8. 5ヶ月
9. 6ヶ月
10. 7ヶ月～1年
11. 1年以上

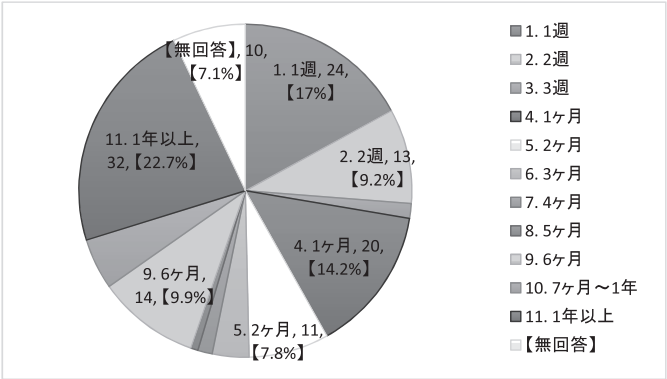
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 1週	39	17.8
2. 2週	20	9.1
3. 3週	3	1.4
4. 1ヶ月	31	14.2
5. 2ヶ月	15	6.8
6. 3ヶ月	11	5
7. 4ヶ月	2	0.9
8. 5ヶ月	2	0.9
9. 6ヶ月	20	9.1
10. 7ヶ月～1年	10	4.6
11. 1年以上	48	21.9
【無回答】	18	8.2
計	219	100



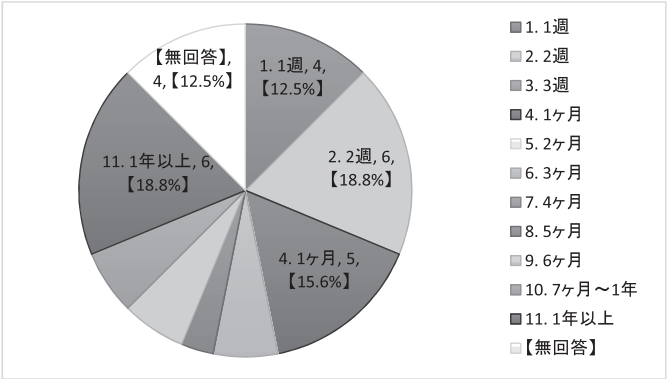
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 1週	24	17
2. 2週	13	9.2
3. 3週	2	1.4
4. 1ヶ月	20	14.2
5. 2ヶ月	11	7.8
6. 3ヶ月	5	3.5
7. 4ヶ月	2	1.4
8. 5ヶ月	1	0.7
9. 6ヶ月	14	9.9
10. 7ヶ月～1年	7	5
11. 1年以上	32	22.7
【無回答】	10	7.1
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 1週	4	12.5
2. 2週	6	18.8
3. 3週	0	0
4. 1ヶ月	5	15.6
5. 2ヶ月	0	0
6. 3ヶ月	2	6.3
7. 4ヶ月	0	0
8. 5ヶ月	1	3.1
9. 6ヶ月	2	6.3
10. 7ヶ月～1年	2	6.3
11. 1年以上	6	18.8
【無回答】	4	12.5
計	32	100

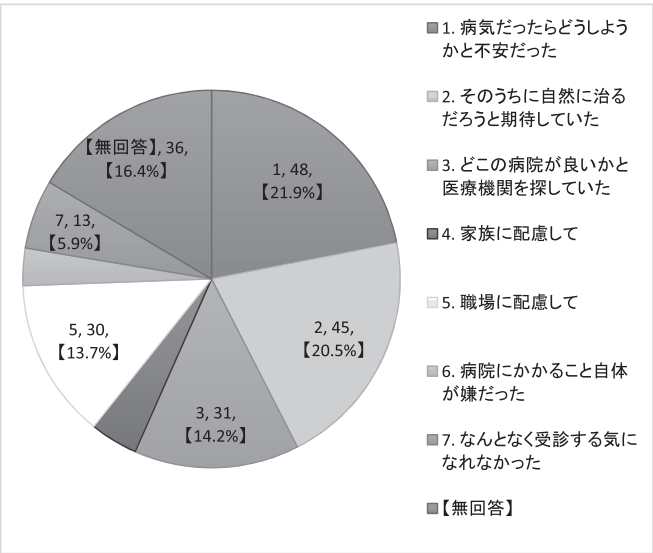


質問3：自分が病気ではないかと疑いながら、受診を躊躇った理由は何ですか？一つ選んでください。-----

1. 病気だったらどうしようかと不安だった
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた
4. 家族に配慮して
5. 職場に配慮して
6. 病院にかかること自体が嫌だった
7. なんとなく受診する気になれなかった

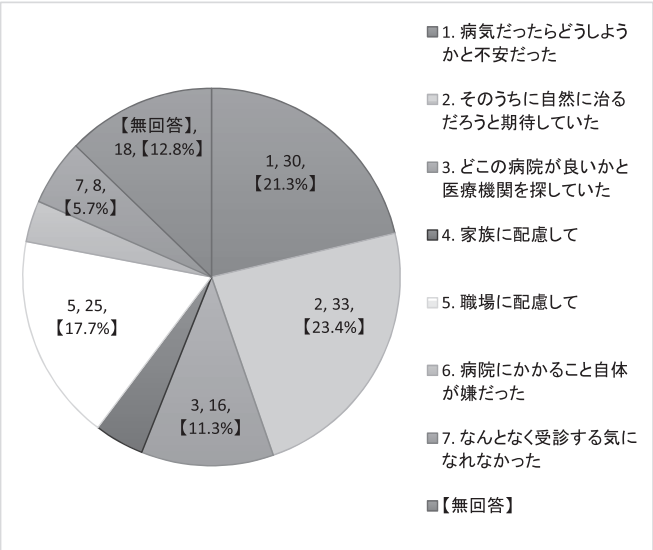
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 病気だったらどうしようかと不安だった	48	21.9
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた	45	20.5
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた	31	14.2
4. 家族に配慮して	9	4.1
5. 職場に配慮して	30	13.7
6. 病院にかかること自体が嫌だった	7	3.2
7. なんとなく受診する気になれなかった	13	5.9
【無回答】	36	16.4
計	219	100



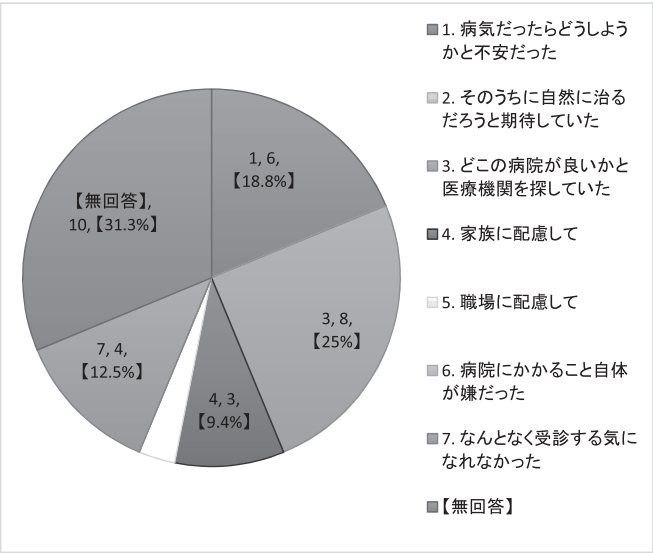
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 病気だったらどうしようかと不安だった	30	21.3
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた	33	23.4
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた	16	11.3
4. 家族に配慮して	6	4.3
5. 職場に配慮して	25	17.7
6. 病院にかかること自体が嫌だった	5	3.5
7. なんとなく受診する気になれなかった	8	5.7
【無回答】	18	12.8
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 病気だったらどうしようかと不安だった	6	18.8
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた	0	0
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた	8	25
4. 家族に配慮して	3	9.4
5. 職場に配慮して	1	3.1
6. 病院にかかること自体が嫌だった	0	0
7. なんとなく受診する気になれなかった	4	12.5
【無回答】	10	31.3
計	32	100

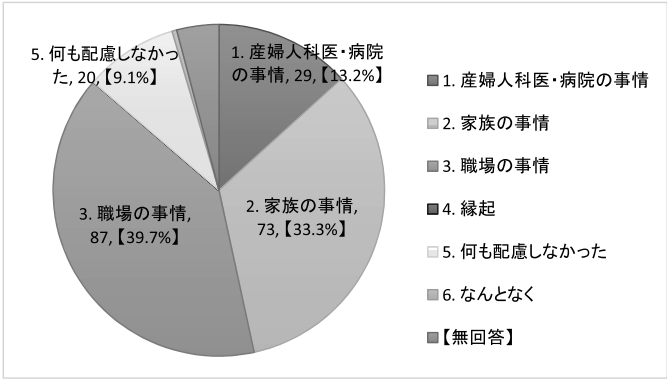


質問4：実際に入院する時に配慮したのは何でしたか？一つ選んでください。-----

1. 産婦人科医・病院の事情 2. 家族の事情 3. 職場の事情 4. 縁起 5. 何も配慮しなかった 6. なんとなく

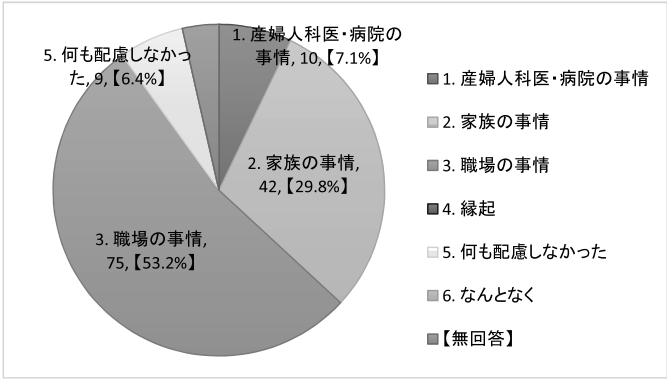
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	29	13.2
2. 家族の事情	73	33.3
3. 職場の事情	87	39.7
4. 縁起	0	0
5. 何も配慮しなかった	20	9.1
6. なんとなく	1	0.5
【無回答】	9	4.1
計	219	100



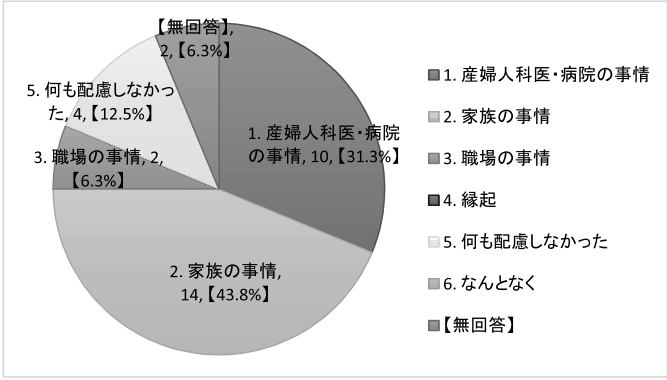
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	10	7.1
2. 家族の事情	42	29.8
3. 職場の事情	75	53.2
4. 縁起	0	0
5. 何も配慮しなかった	9	6.4
6. なんとなく	0	0
【無回答】	5	3.5
計	141	100



〈専業主婦〉

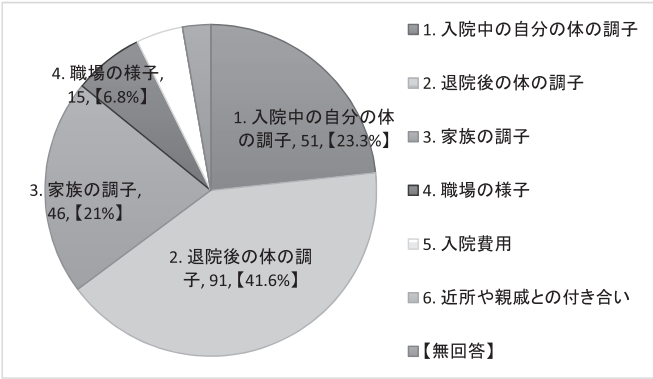
	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	10	31.3
2. 家族の事情	14	43.8
3. 職場の事情	2	6.3
4. 縁起	0	0
5. 何も配慮しなかった	4	12.5
6. なんとなく	0	0
【無回答】	2	6.3
計	32	100



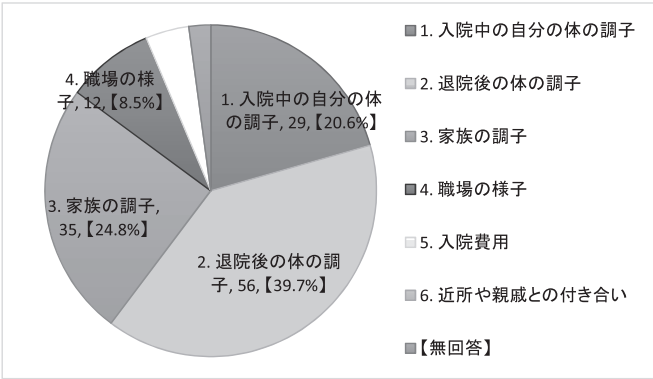
質問5：入院中に気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。-----

1. 入院中の自分の体の調子
2. 退院後の体の調子
3. 家族の調子
4. 職場の様子
5. 入院費用
6. 近所や親戚との付き合い

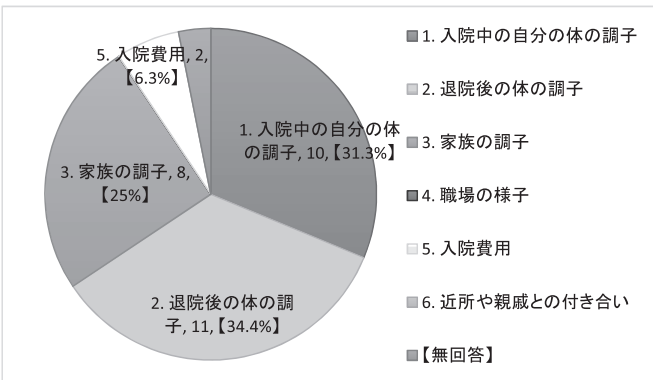
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. 入院中の自分の体の調子	51	23.3
2. 退院後の体の調子	91	41.6
3. 家族の調子	46	21
4. 職場の様子	15	6.8
5. 入院費用	10	4.6
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	6	2.7
計	219	100



〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. 入院中の自分の体の調子	29	20.6
2. 退院後の体の調子	56	39.7
3. 家族の調子	35	24.8
4. 職場の様子	12	8.5
5. 入院費用	6	4.3
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	3	2.1
計	141	100



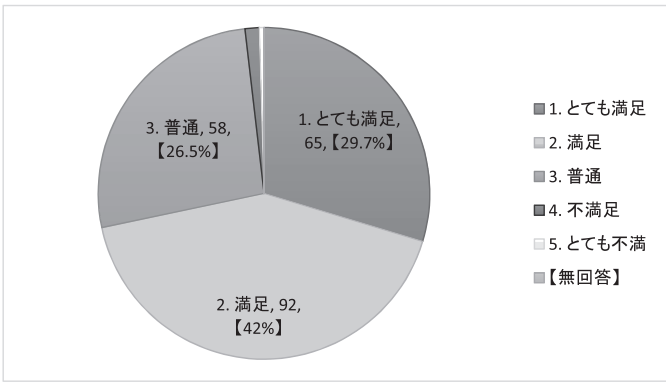
〈専業主婦〉		
	集計数	%
1. 入院中の自分の体の調子	10	31.3
2. 退院後の体の調子	11	34.4
3. 家族の調子	8	25
4. 職場の様子	0	0
5. 入院費用	2	6.3
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	1	3.1
計	32	100



質問6：入院生活はどうでしたか？一つ選んでください。-----

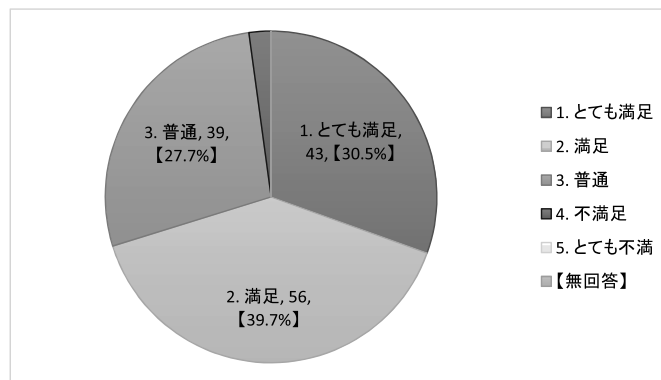
1. とても満足
2. 満足
3. 普通
4. 不満足
5. とても不満

〈全体人数〉		
	集計数	%
1. とても満足	65	29.7
2. 満足	92	42
3. 普通	58	26.5
4. 不満足	3	1.4
5. とても不満	1	0.5
【無回答】	0	0
計	219	100



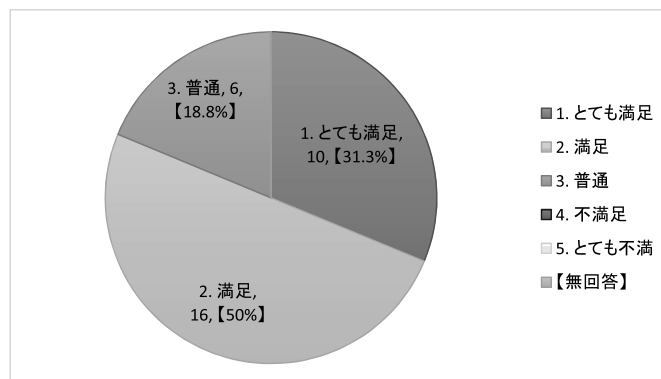
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. とても満足	43	30.5
2. 満足	56	39.7
3. 普通	39	27.7
4. 不満足	3	2.1
5. とても不満	0	0
【無回答】	0	0
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. とても満足	10	31.3
2. 満足	16	50
3. 普通	6	18.8
4. 不満足	0	0
5. とても不満	0	0
【無回答】	0	0
計	32	100

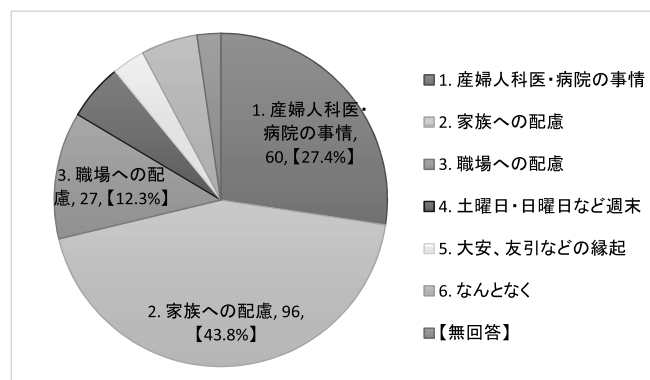


質問7：退院時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医・病院の事情 2. 家族への配慮 3. 職場への配慮 4. 土曜日・日曜日など週末 5. 大安、友引などの縁起
6. なんとなく

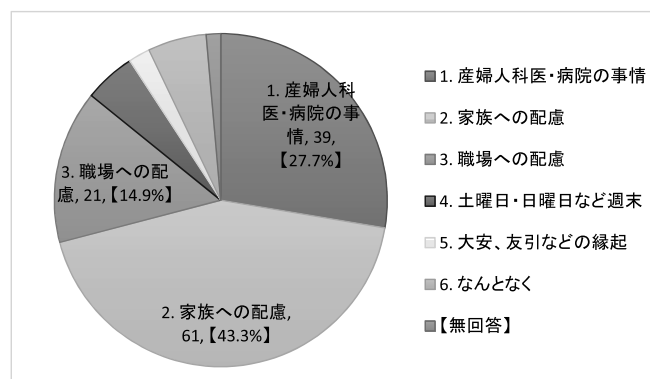
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	60	27.4
2. 家族への配慮	96	43.8
3. 職場への配慮	27	12.3
4. 土曜日・日曜日など週末	12	5.5
5. 大安、友引などの縁起	7	3.2
6. なんとなく	12	5.5
【無回答】	5	2.3
計	219	100



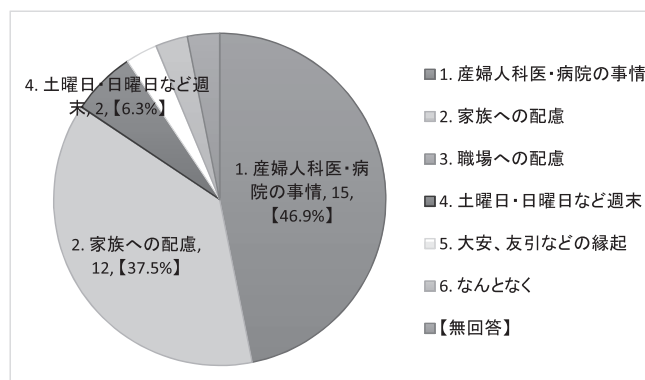
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	39	27.7
2. 家族への配慮	61	43.3
3. 職場への配慮	21	14.9
4. 土曜日・日曜日など週末	7	5
5. 大安、友引などの縁起	3	2.1
6. なんとなく	8	5.7
【無回答】	2	1.4
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 産婦人科医・病院の事情	15	46.9
2. 家族への配慮	12	37.5
3. 職場への配慮	0	0
4. 土曜日・日曜日など週末	2	6.3
5. 大安、友引などの縁起	1	3.1
6. なんとなく	1	3.1
【無回答】	1	3.1
計	32	100

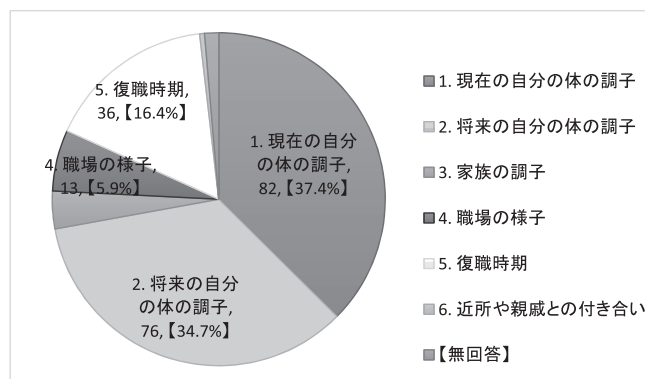


質問8：退院して気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 現在の自分の体の調子 2. 将来の自分の体の調子 3. 家族の調子 4. 職場の様子 5. 復職時期
6. 近所や親戚との付き合い

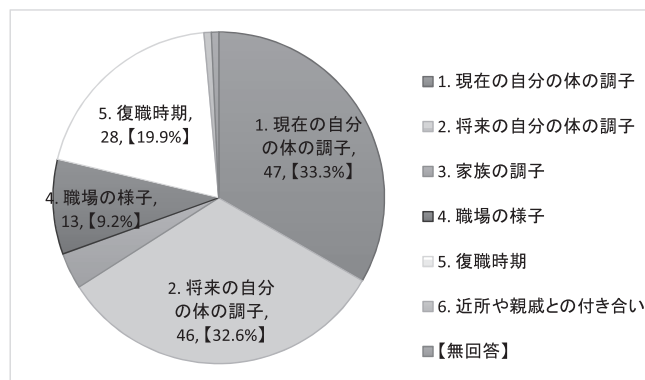
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 現在の自分の体の調子	82	37.4
2. 将来の自分の体の調子	76	34.7
3. 家族の調子	8	3.7
4. 職場の様子	13	5.9
5. 復職時期	36	16.4
6. 近所や親戚との付き合い	1	0.5
【無回答】	3	1.4
計	219	100



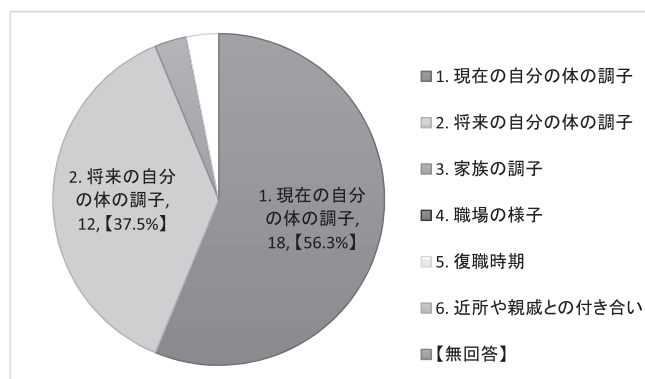
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 現在の自分の体の調子	47	33.3
2. 将来の自分の体の調子	46	32.6
3. 家族の調子	5	3.5
4. 職場の様子	13	9.2
5. 復職時期	28	19.9
6. 近所や親戚との付き合い	1	0.7
【無回答】	1	0.7
計	141	100



〈専業主婦〉

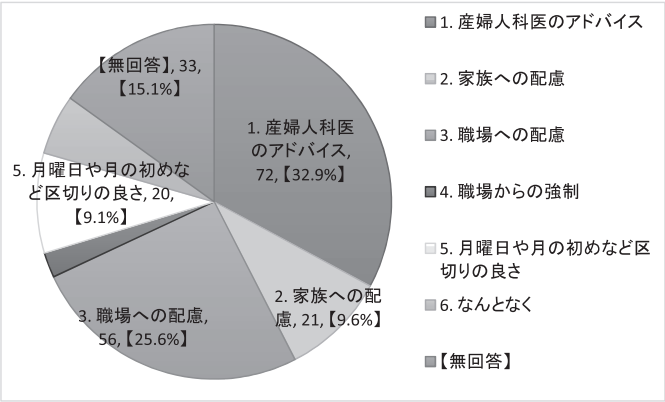
	集計数	%
1. 現在の自分の体の調子	18	56.3
2. 将来の自分の体の調子	12	37.5
3. 家族の調子	1	3.1
4. 職場の様子	0	0
5. 復職時期	1	3.1
6. 近所や親戚との付き合い	0	0
【無回答】	0	0
計	32	100



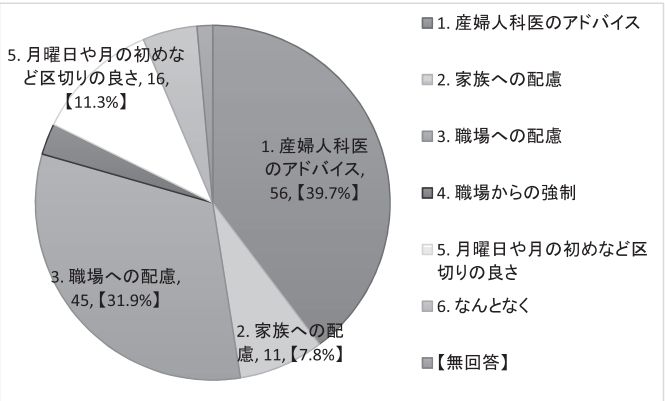
質問9：復職の時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。-----

1. 産婦人科医のアドバイス
2. 家族への配慮
3. 職場への配慮
4. 職場からの強制
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ
6. なんとなく

〈全体人数〉		
	集計数	%
1. 産婦人科医のアドバイス	72	32.9
2. 家族への配慮	21	9.6
3. 職場への配慮	56	25.6
4. 職場からの強制	5	2.3
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ	20	9.1
6. なんとなく	12	5.5
【無回答】	33	15.1
計	219	100



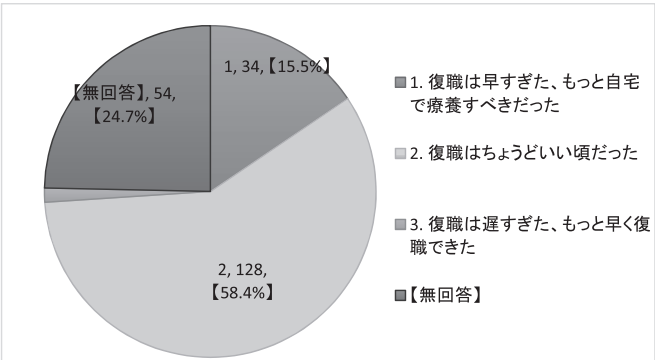
〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. 産婦人科医のアドバイス	56	39.7
2. 家族への配慮	11	7.8
3. 職場への配慮	45	31.9
4. 職場からの強制	4	2.8
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ	16	11.3
6. なんとなく	7	5
【無回答】	2	1.4
計	141	100



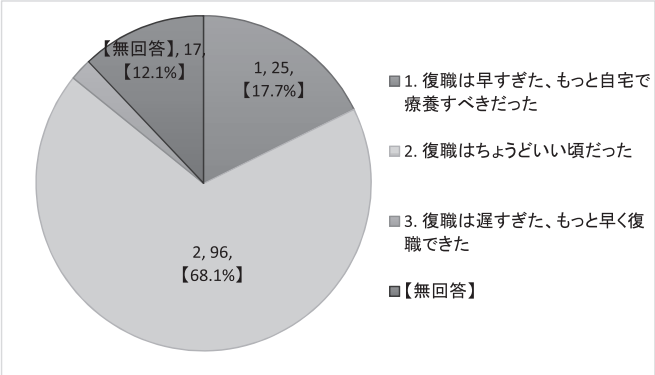
質問10：復職してみて、どうでしたか？一つ選んでください。-----

1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった
2. 復職はちょうどいい頃だった
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた

〈全体人数〉		
	集計数	%
1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった	34	15.5
2. 復職はちょうどいい頃だった	128	58.4
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた	3	1.4
【無回答】	54	24.7
計	219	100

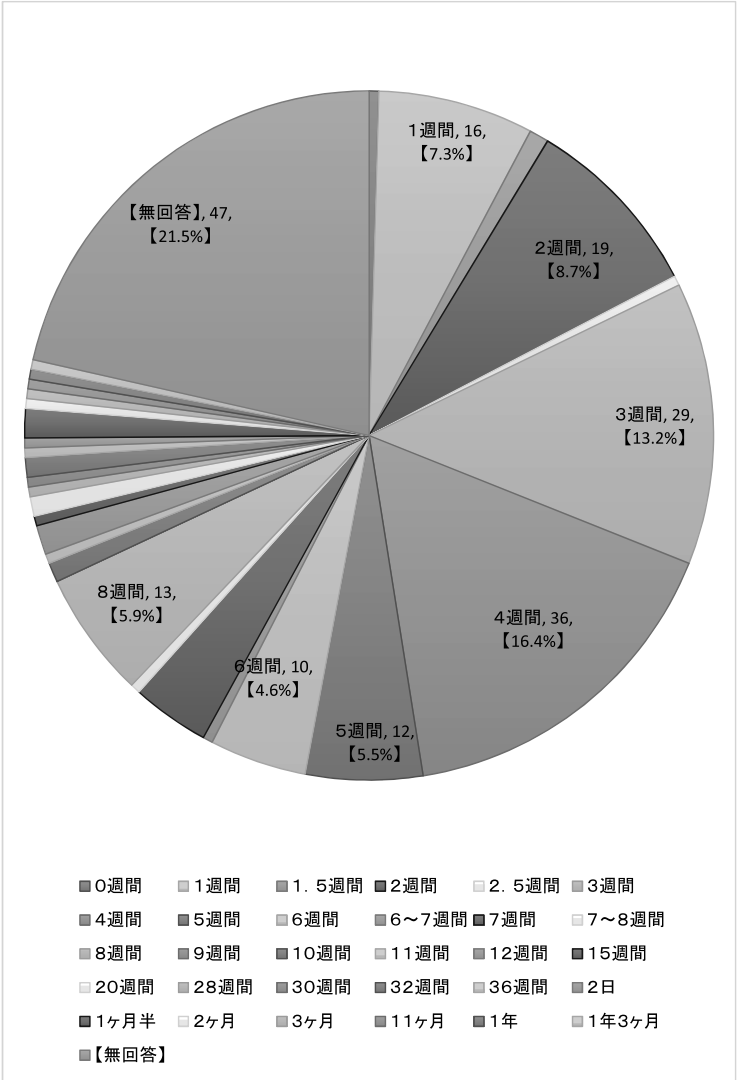


〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった	25	17.7
2. 復職はちょうどいい頃だった	96	68.1
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた	3	2.1
【無回答】	17	12.1
計	141	100



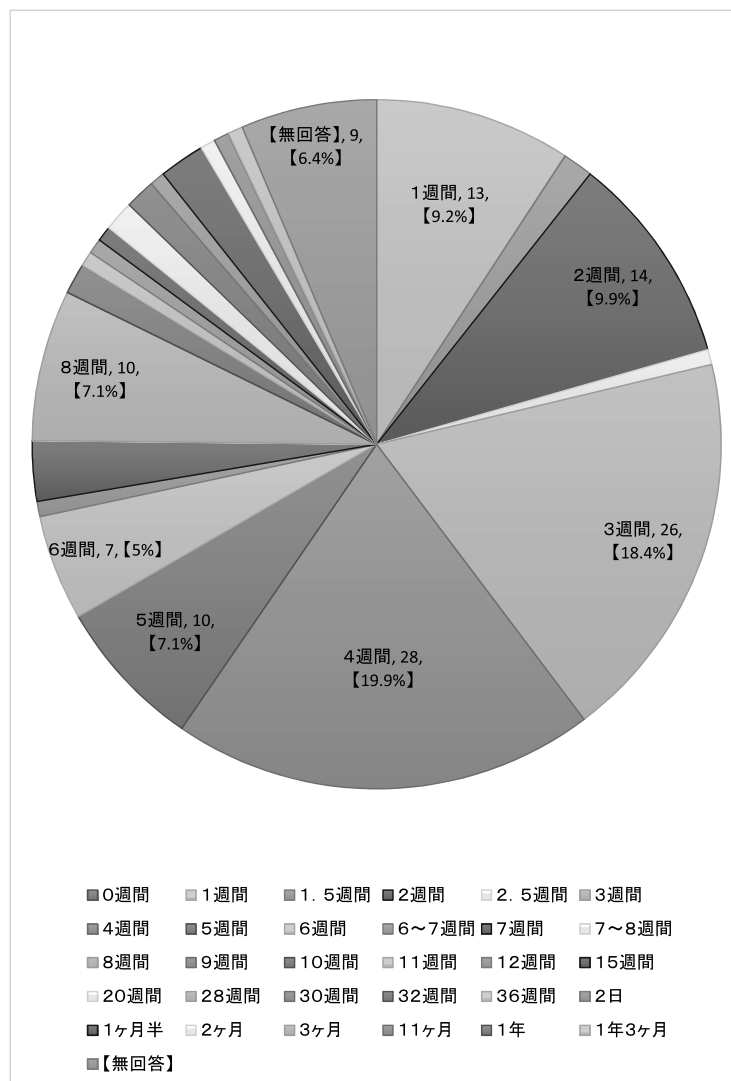
質問11：手術から復職までの期間をお教えください。----- 約 週間

〈全体人数〉		
	集計数	%
0 週間	1	0.5
1 週間	16	7.3
1. 5 週間	2	0.9
2 週間	19	8.7
2. 5 週間	1	0.5
3 週間	29	13.2
4 週間	36	16.4
5 週間	12	5.5
6 週間	10	4.6
6 ～ 7 週間	1	0.5
7 週間	8	3.7
7 ～ 8 週間	1	0.5
8 週間	13	5.9
9 週間	0	0
1 0 週間	2	0.9
1 1 週間	1	0.5
1 2 週間	3	1.4
1 5 週間	1	0.5
2 0 週間	2	0.9
2 8 週間	1	0.5
3 0 週間	1	0.5
3 2 週間	2	0.9
3 6 週間	1	0.5
2 日	1	0.5
1 ケ月半	3	1.4
2 ケ月	1	0.5
3 ケ月	1	0.5
1 1 ケ月	1	0.5
1 年	1	0.5
1 年 3 ケ月	1	0.5
【無回答】	47	21.5
計	219	100



〈働いている女性〉

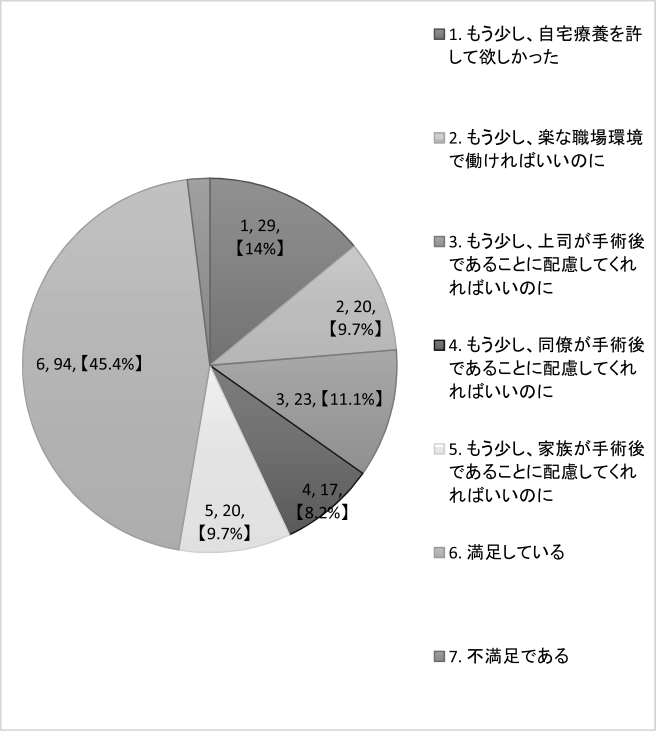
	集計数	%
0週間	0	0
1週間	13	9.2
1.5週間	2	1.4
2週間	14	9.9
2.5週間	1	0.7
3週間	26	18.4
4週間	28	19.9
5週間	10	7.1
6週間	7	5
6～7週間	1	0.7
7週間	4	2.8
7～8週間	0	0
8週間	10	7.1
9週間	0	0
10週間	2	1.4
11週間	1	0.7
12週間	1	0.7
15週間	1	0.7
20週間	2	1.4
28週間	0	0
30週間	0	0
32週間	2	1.4
36週間	0	0
2日	1	0.7
1ヶ月半	3	2.1
2ヶ月	1	0.7
3ヶ月	0	0
11ヶ月	1	0.7
1年	0	0
1年3ヶ月	1	0.7
【無回答】	9	6.4
計	141	100



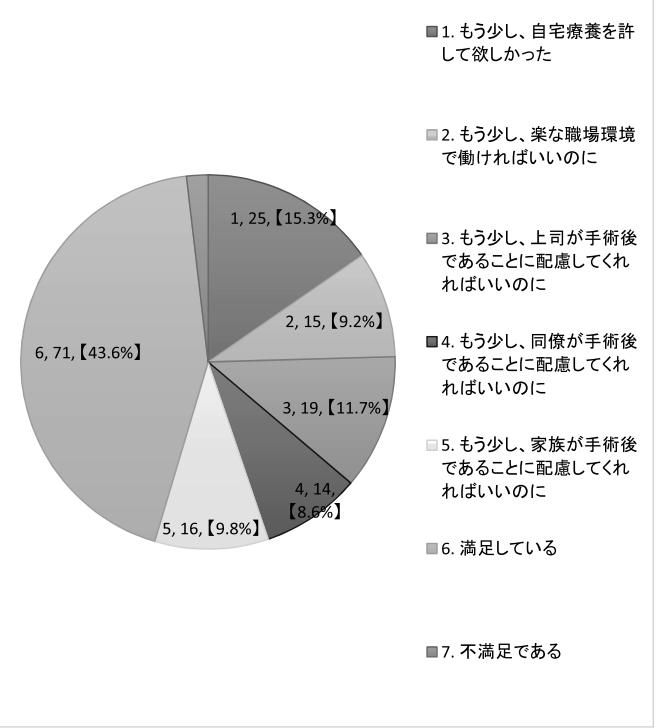
質問12：復職してみて、職場への要望があれば、お教えてください。お答えは幾つでも結構です。-----

1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに
6. 満足している
7. 不満足である

〈全体人数〉		
	集計数	%
1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった	29	14
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに	20	9.7
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに	23	11.1
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに	17	8.2
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに	20	9.7
6. 満足している	94	45.4
7. 不満足である	4	1.9
計	207	100



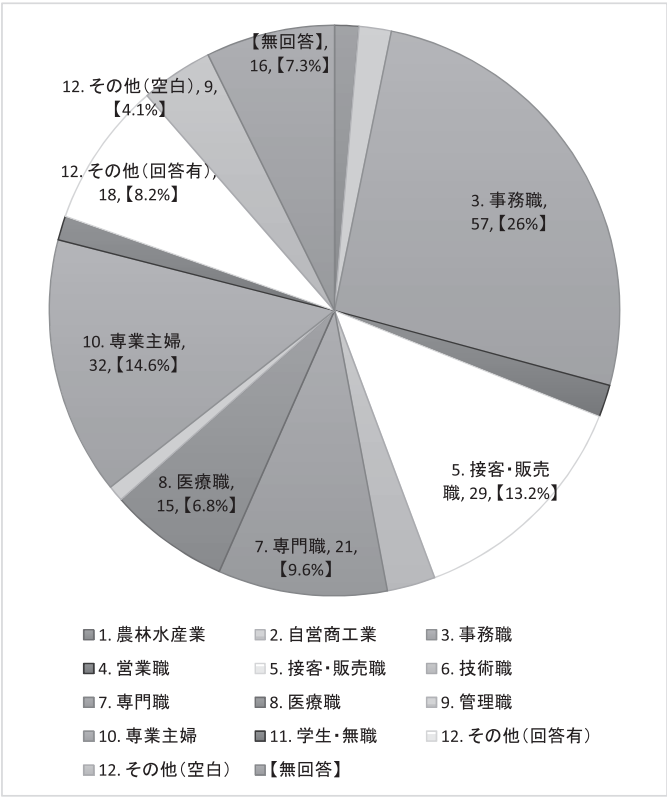
〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった	25	15.3
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに	15	9.2
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに	19	11.7
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに	14	8.6
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに	16	9.8
6. 満足している	71	43.6
7. 不満足である	3	1.8
計	163	100



質問13：あなたの職業について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 農林水産業
2. 自営商工業
3. 事務職
4. 営業職
5. 接客・販売職
6. 技術職
7. 専門職
8. 医療職
9. 管理職
10. 専業主婦
11. 学生・無職
12. その他（ ）

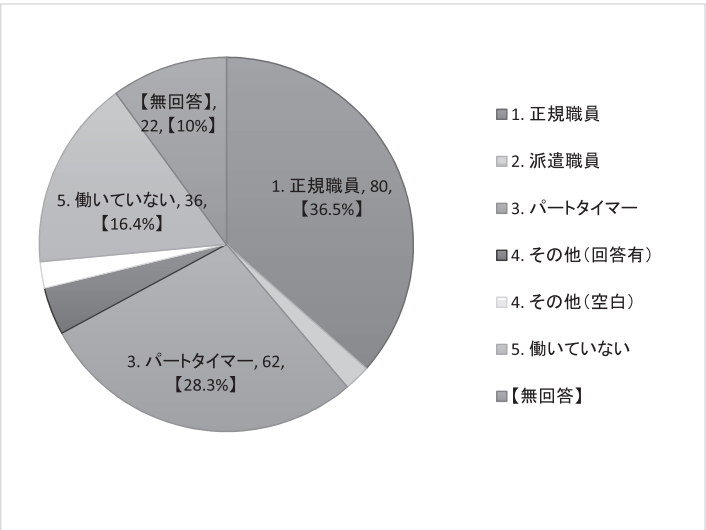
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. 農林水産業	3	1.4
2. 自営商工業	4	1.8
3. 事務職	57	26
4. 営業職	4	1.8
5. 接客・販売職	29	13.2
6. 技術職	6	2.7
7. 専門職	21	9.6
8. 医療職	15	6.8
9. 管理職	2	0.9
10. 専業主婦	32	14.6
11. 学生・無職	3	1.4
12. その他（回答有）	18	8.2
12. その他（空白）	9	4.1
【無回答】	16	7.3
計	219	100



質問14：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 正規職員
2. 派遣職員
3. パートタイマー
4. その他（ ）
5. 働いていない

〈全体人数〉		
	集計数	%
1. 正規職員	80	36.5
2. 派遣職員	5	2.3
3. パートタイマー	62	28.3
4. その他（回答有）	9	4.1
4. その他（空白）	5	2.3
5. 働いていない	36	16.4
【無回答】	22	10
計	219	100

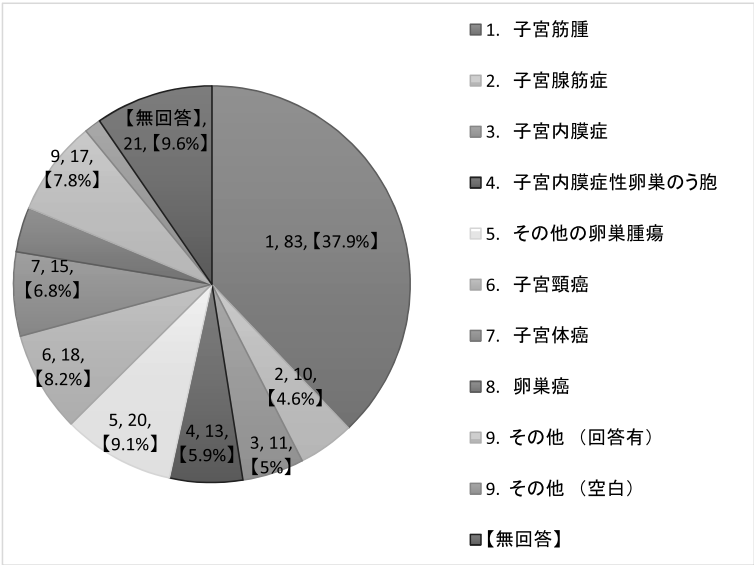


質問15：手術を受けた病気は何ですか？最も近い病態を一つ選んでください。-----

1. 子宮筋腫
2. 子宮腺筋症
3. 子宮内膜症
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞
5. その他の卵巣腫瘍
6. 子宮頸癌
7. 子宮体癌
8. 卵巣癌
9. その他（
- ）

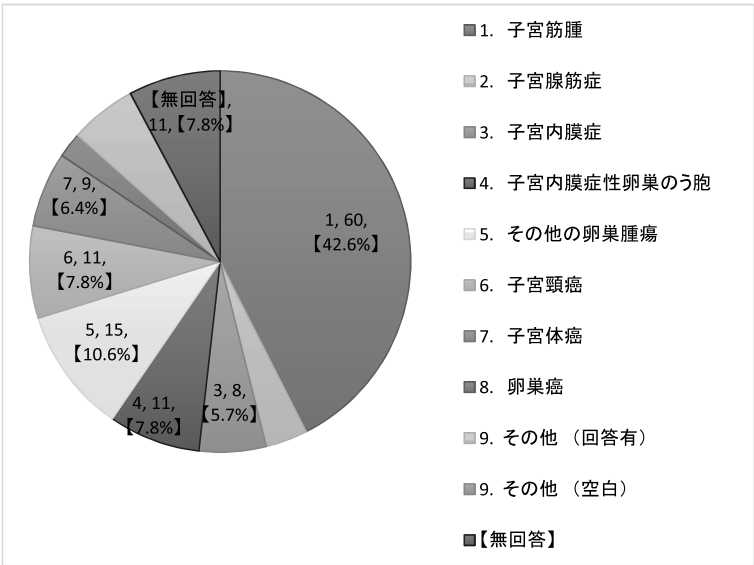
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 子宮筋腫	83	37.9
2. 子宮腺筋症	10	4.6
3. 子宮内膜症	11	5
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	13	5.9
5. その他の卵巣腫瘍	20	9.1
6. 子宮頸癌	18	8.2
7. 子宮体癌	15	6.8
8. 卵巣癌	8	3.7
9. その他（回答有）	17	7.8
9. その他（空白）	3	1.4
【無回答】	21	9.6
計	219	100



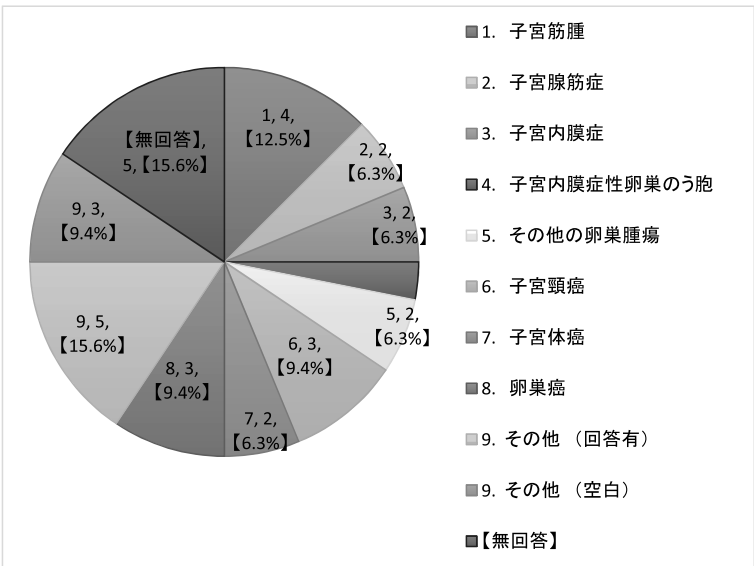
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 子宮筋腫	60	42.6
2. 子宮腺筋症	5	3.5
3. 子宮内膜症	8	5.7
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	11	7.8
5. その他の卵巣腫瘍	15	10.6
6. 子宮頸癌	11	7.8
7. 子宮体癌	9	6.4
8. 卵巣癌	3	2.1
9. その他（回答有）	8	5.7
9. その他（空白）	0	0
【無回答】	11	7.8
計	141	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 子宮筋腫	4	12.5
2. 子宮腺筋症	2	6.3
3. 子宮内膜症	2	6.3
4. 子宮内膜症性卵巣のう胞	1	3.1
5. その他の卵巣腫瘍	2	6.3
6. 子宮頸癌	3	9.4
7. 子宮体癌	2	6.3
8. 卵巣癌	3	9.4
9. その他（回答有）	5	15.6
9. その他（空白）	3	9.4
【無回答】	5	15.6
計	32	100.2

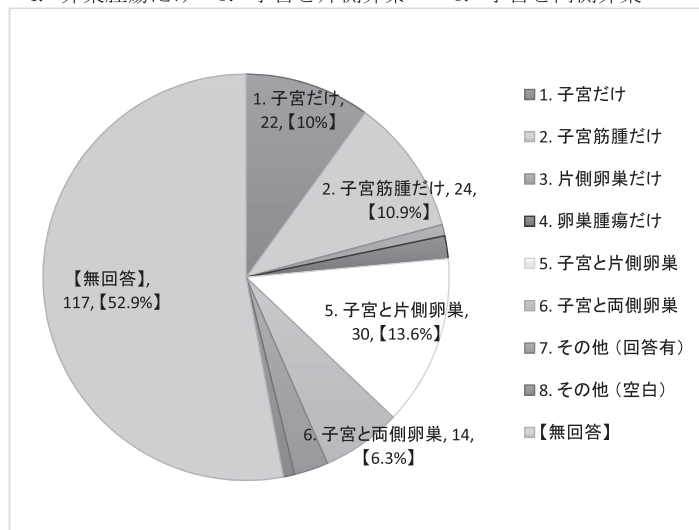


上記「1. 2. 3.」とお答えされた方へ

質問15-2：手術で摘出したのは？

1. 子宮だけ 2. 子宮筋腫だけ 3. 片側卵巣だけ 4. 卵巣腫瘍だけ 5. 子宮と片側卵巣 6. 子宮と両側卵巣
7. その他 ()

	集計数	%
1. 子宮だけ	22	10
2. 子宮筋腫だけ	24	10.9
3. 片側卵巣だけ	2	0.9
4. 卵巣腫瘍だけ	4	1.8
5. 子宮と片側卵巣	30	13.6
6. 子宮と両側卵巣	14	6.3
7. その他（回答有）	6	2.7
8. その他（空白）	2	0.9
【無回答】	117	52.9
計	221	100



質問16：これから手術を受ける働く女性に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

	集計数	%
回答有	78	35.6
【無回答】	141	64.4
計	219	100

質問17：これから働く女性を受け入れる病院に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

	集計数	%
回答有	49	22.4
【無回答】	170	77.6
計	219	100

③-B

「当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ」回収結果 (術後 産婦人科・婦人科)

					データ未入力→				
	病院名	コード	到着枚数	入力枚数		署名無し	同意書無	撤回書提出	入力不可枚数合計
1	釧路	C							
2	東北	E							
3	千葉	I							
4	東京	J	17	17		0	0	0	0
5	関東	K	29	29		0	0	0	0
6	横浜	L							
7	新潟	N	0	0		0	0	0	0
8	富山	O							
9	浜松	P							
10	中部	Q	74	74		0	0	0	0
11	大阪	S							
12	関西	T							
13	和歌山	V	0	0		0	0	0	0
14	山陰	W							
15	岡山	X	16	16		0	0	0	0
16	中国	Y	17	17		0	0	0	0
17	山口	Z							
18	香川	AA	7	7		0	0	0	0
19	愛媛	AB	54	51		1	1	1	3
20	九州	AC							
21	熊本	AF	12	12		0	0	0	0
	計		226	223		1	1	1	3

婦人科(2病院)

③-C

B.手術後に受診した患者様へのアンケート調査手順

1・アンケート調査の実施

※労災病院の産婦人科で婦人科手術を受け、退院後に術後の検診を受診された患者様が対象です。

IDを付与した封筒には質問用紙、同意書、同意撤回書が入っています。

こちらが用意した同意書、同意撤回書で宜しければ、そのまま封筒ごと配布して下さい。

一方、貴院で定められた同意書、同意撤回書をご使用される場合は、誠に申し訳ありませんが、差し替えてアンケート調査を行って下さい。

その際、必ず付与されているIDと同じIDの付与をお願い致します。

(1) アンケートの説明後、研究に同意された場合→同意書に署名

同意書の説明者欄に署名をして下さい。

同意撤回書は、それぞれの患者様に保管してもらって下さい。

将来、研究の同意撤回をされる方は、同意撤回書をアンケート提出した労災病院の産婦人科外来に提出して下さい。受付期間は、同意書の日付から1年間です。

アンケート回答後、同意書と一緒にして 封筒の封をして下さい。

(2) 研究に同意されない場合→アンケート回答不要

2・アンケートの回収

各労災病院で7月末を目途にアンケートを回収し、愛媛労災病院 研究事務局まで郵送して下さい。同封しております送付用の伝票（着払）で返送して下さい。伝票の「ご依頼主」欄に病院名の記入をお願い致します。

3・その他

※同意書の保管について

当初は「同意書を各病院で保管すること」としておりましたが、質問用紙と別々の保管では作業・管理が困難と思われる為、愛媛労災病院で質問用紙と同意書を共に保管する事と致しました。

※匿名性について

アンケート回収後、IDを付与した質問用紙と同意書は別々に保管し、アンケート単体では回答者が分からないように処理致します。

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
愛媛労災病院 厚生労働省労災疾病臨床研究事務局
Tel : 0897-33-6191 Fax : 0897-33-6169

【担当者】

医事課長 久保 近敏 ijikachou@ehimerosai.jp
事務担当員 大角 尚子

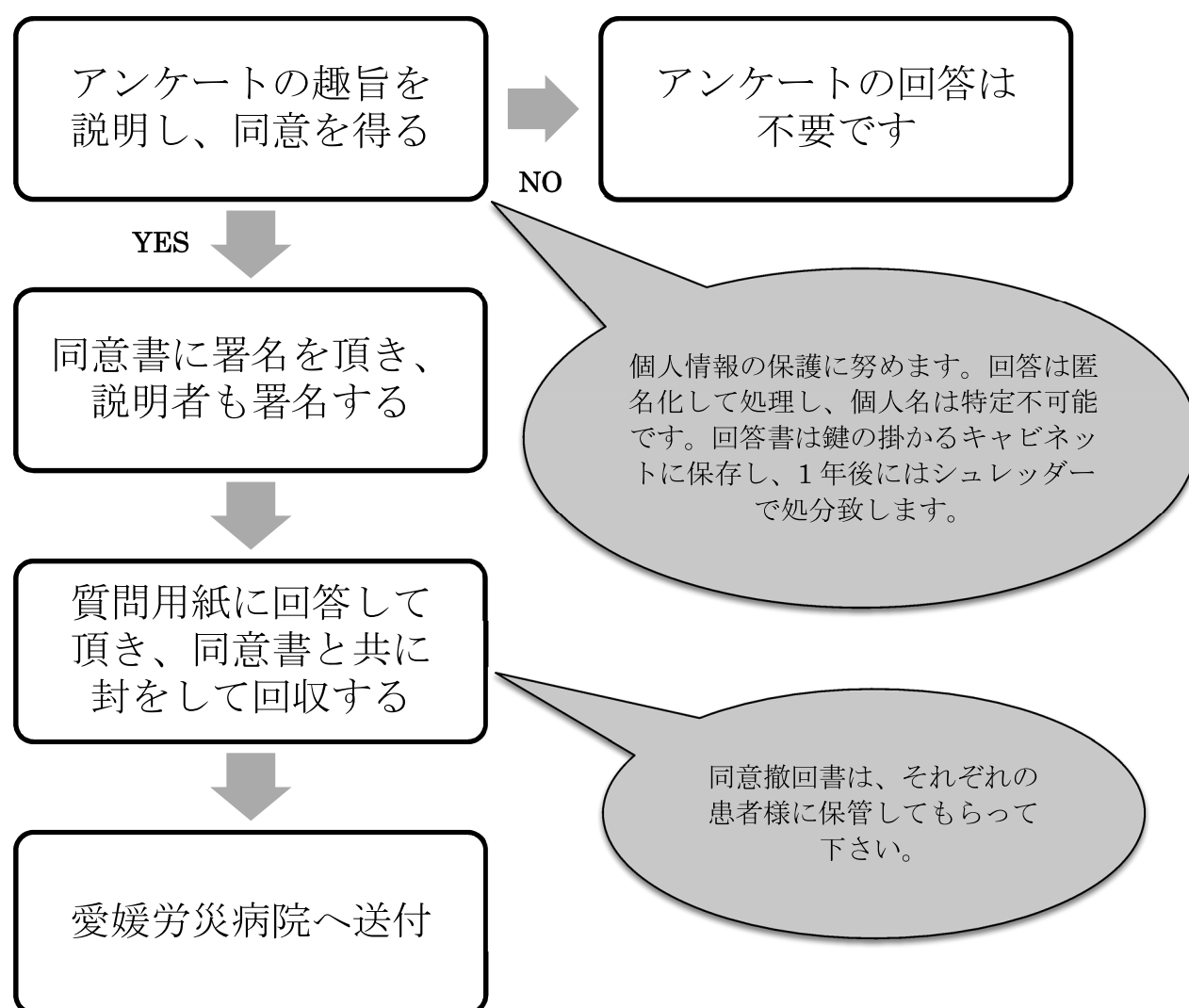
外来患者・手術後に受診した患者様へのアンケート調査手順

A. 【外来患者様】

産婦人科外来を受診され、子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害と診断された患者様が対象です。

B. 【手術後の外来患者様】

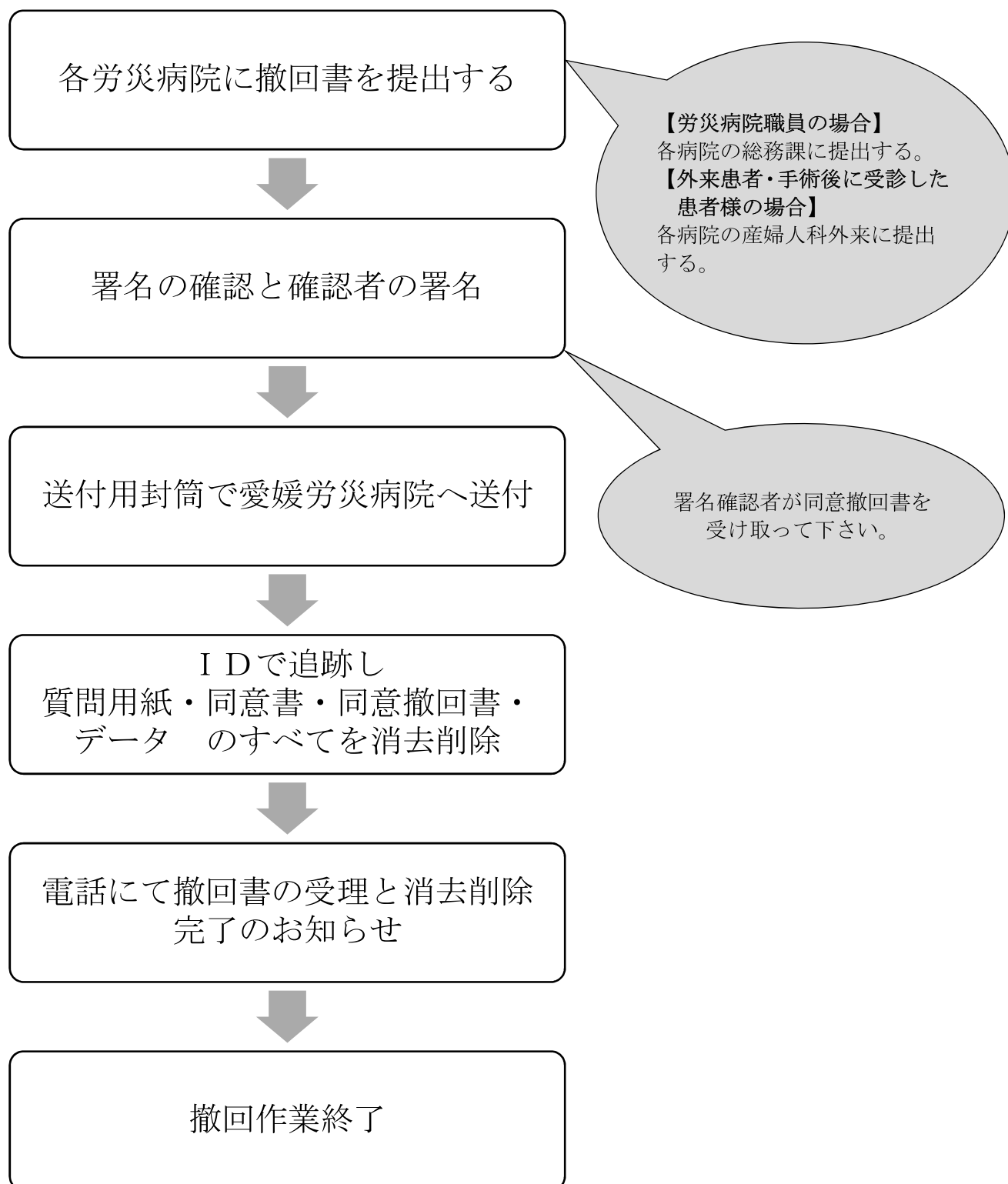
労災病院の産婦人科で婦人科手術を受け、退院後に術後の検診を受診された患者様が対象です。



③-D

同意の撤回手順

撤回受付期間は、同意書の日付から 1年間です。



③-E

当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の
両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）への
ご協力をお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの実例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態、病気かもしれないと自覚した時の状態、就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。
また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。データは匿名化し、アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意ですし、撤回も自由です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。また、申し入れにより何時でも貴方のデータの利用を中断することができます。どうぞ、ご安心ください。
なお、同意を撤回される場合は、同意撤回書をアンケートを提出した労災病院の産婦人科外来までお持ち下さい。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

本研究に参加するかしないかはご自身でご自由にお決め下さい。
本研究への参加の有無によって、治療行為に差が生じることはありません。

質問 1 : あなたの年齢をお教えてください。

----- 歳

質問 2 : 自分が病気ではないかと疑いながら、外来を受診するまでの期間はどのくらいでしたか？ -----

- | | | |
|--------------|-----------|---------|
| 1. 1 週 | 2. 2 週 | 3. 3 週 |
| 4. 1 ヶ月 | 5. 2 ヶ月 | 6. 3 ヶ月 |
| 7. 4 ヶ月 | 8. 5 ヶ月 | 9. 6 ヶ月 |
| 10. 7 ヶ月～1 年 | 11. 1 年以上 | |

質問 3 : 自分が病気ではないかと疑いながら、受診を躊躇った理由は何ですか？一つ選んでください。 -----

1. 病気だったらどうしようかと不安だった
2. そのうちに自然に治るだろうと期待していた
3. どの病院が良いかと医療機関を探していた
4. 家族に配慮して
5. 職場に配慮して
6. 病院にかかること自体が嫌だった
7. なんとなく受診する気になれなかった

質問 4 : 実際に入院する時に配慮したのは何でしたか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医・病院の事情
2. 家族の事情
3. 職場の事情
4. 縁起
5. 何も配慮しなかった
6. なんとなく

質問 5 : 入院中に気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 入院中の自分の体の調子
2. 退院後の体の調子
3. 家族の調子
4. 職場の様子
5. 入院費用
6. 近所や親戚との付き合い

質問 6 : 入院生活はどうでしたか？一つ選んでください。-----

1. とても満足
2. 満足
3. 普通
4. 不満足
5. とても不満

質問 7 : 退院時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医・病院の事情
2. 家族への配慮
3. 職場への配慮
4. 土曜日・日曜日など週末
5. 大安、友引などの縁起
6. なんとなく

質問 8 : 退院して気になったこと、心配したことは何ですか？一つ選んでください。

1. 現在の自分の体の調子
2. 将来の自分の体の調子
3. 家族の調子
4. 職場の様子
5. 復職時期
6. 近所や親戚との付き合い

質問 9 : 復職の時期を決めるのに配慮したのは何ですか？一つ選んでください。

1. 産婦人科医のアドバイス
2. 家族への配慮
3. 職場への配慮
4. 職場からの強制
5. 月曜日や月の初めなど区切りの良さ
6. なんとなく

質問 10 : 復職してみて、どうでしたか？一つ選んでください。-----

1. 復職は早すぎた、もっと自宅で療養すべきだった
2. 復職はちょうどいい頃だった
3. 復職は遅すぎた、もっと早く復職できた

質問 11 : 手術から復職までの期間をお教えてください。

約 週間

質問 12 : 復職してみて、職場への要望があれば、お教えてください。お答えは幾つでも結構です。-----

1. もう少し、自宅療養を許して欲しかった
2. もう少し、楽な職場環境で働ければいいのに
3. もう少し、上司が手術後であることに配慮してくれればいいのに
4. もう少し、同僚が手術後であることに配慮してくれればいいのに
5. もう少し、家族が手術後であることに配慮してくれればいいのに
6. 満足している
7. 不満足である

質問 13 : あなたの職業について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|----------|-----------|----------------------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営商工業 | 3. 事務職 |
| 4. 営業職 | 5. 接客・販売職 | 6. 技術職 |
| 7. 専門職 | 8. 医療職 | 9. 管理職 |
| 10. 専業主婦 | 11. 学生・無職 | 12. その他 () |

質問 14：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。 ---

- | | | |
|---------------------------------|-----------|------------|
| 1. 正規職員 | 2. 派遣職員 | 3. パートタイマー |
| 4. その他 () | 5. 働いていない | |

質問 15：手術を受けた病気は何ですか？最も近い病態を一つ選んでください。 -----

- | | | |
|----------------|-------------|---------------------------------|
| 1. 子宮筋腫 | 2. 子宮腺筋症 | 3. 子宮内膜症 |
| 4. 子宮内膜症性卵巣のう胞 | 5. その他の卵巣腫瘍 | 6. 子宮頸癌 |
| 7. 子宮体癌 | 8. 卵巣癌 | 9. その他 () |

上記「1. 2. 3.」とお答えされた方へ

質問 15-2：手術で摘出したのは？ -----

- | | | |
|---------------------------------|------------|------------|
| 1. 子宮だけ | 2. 子宮筋腫だけ | 3. 片側卵巣だけ |
| 4. 卵巣腫瘍だけ | 5. 子宮と片側卵巣 | 6. 子宮と両側卵巣 |
| 7. その他 () | | |

質問 16：これから手術を受ける働く女性に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

質問 17：これから働く女性を受け入れる病院に、何かアドバイスがあればご自由に記入してください。

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

同意書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
について説明を受け、目的、内容、協力への拒否権について理解しました。
よって、本研究への協力を同意いたします。

平成 年 月 日

ご本人(署名)

代諾者(署名)

【説明者】

平成 年 月 日

研究内容の説明者(署名)

同意撤回書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、標記研究内容と協力内容について説明を受け、本研究への協力について同意しましたが、これを撤回します。

ご本人(署名)

平成 年 月 日

確認者(署名)

平成 年 月 日

④一般女性へのアンケート調査

(職場や自治会の皆様、人間ドックを受診されている皆様へ)

一般婦人 2,353 名のうち、就労女性では「40 歳～49 歳」の 40 歳代が 31.5%を占め、次いで「50 歳～59 歳」の 50 歳代が 23.3%を占めていた。一方、専業主婦では「60 歳～69 歳」の 60 歳代が 39.9%であり、次いで 40 歳代が 18.4%であった。なお、就労女性の 70%が「正規職員」であり、「パートタイマー」が 20.3%であった。

「現在、不安や体調不良を自覚しているか」との問いに、就労女性の 15%が「腰痛」を訴え、9.8%が「更年期障害」を、9.6%が「月経痛、月経の量が多い」を、7.6%が「月経前に具合が悪い」を訴えていた。一方、専業主婦では 19.7%が「腰痛」を訴え、7.5%が「更年期障害」を、6.6%が「月経前に具合が悪い」を訴えていた。「月経痛、月経の量が多い」「月経と月経の間の痛み」「月経前に具合が悪い」「不正出血」を加えた月経関連症状の合計は就労女性では 21.6%であり、専業主婦では 11.9%と就労女性の約半分であった。なお、これといった訴えを自覚していない女性は、就労女性では 28.2%であり、専業主婦では 35.5%であった。自分が感じている不安や体の不調について、就労女性も、専業主婦も「周囲からよく理解されている」と感じていた。

もしも不正出血が 2、3 回続いた場合、就労女性では「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」が圧倒的に多く 50.5%であり、次いで「様子を見る」が 22.1%であった。一方、専業主婦では同様に 50%の女性が「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」と答え、次いで 20.2%が「産婦人科（総合病院）を受診する」と答えていた。もしも月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支えた場合、就労女性では 45.1%の女性が「様子を見る」と答え、次いで 25.4%の女性が「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」と答えていた。一方、専業主婦では 30.3%の女性が「様子を見る」と答え、次いで 27.2%の女性が「産婦人科（個人病院、開業医）を受診する」と答えていた。

痛みのために日常生活に支障をきたし、鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多くなると就労女性では 62.8%の女性が産婦人科を受診すると答え、一方、専業主婦でも 43%の女性が同様の答えであった。

この 1 か月間の健康状態は、就労女性では「とても良い」が 9.6%、「良い」が 56.1%であった。一方、専業主婦では「とても良い」が 8.3%、「良い」が 62.7%であった。「この 1 か月間に、体を使う日常活動が身体的な理由で妨げられたか」どうかの質問に対して、就労女性と専業主婦ともにほぼ同じような回答であった。また、「いつもの仕事をするのが身体的な理由で妨げられたか」どうかの質問に対しても、就労女性と専業主婦とも同じような回答であった。この 1 か月間の体の痛みに対しても、就労女性と専業主婦でほぼ同じような回答であった。「過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか」との問いに対して、就労女性では「非常に元気だった」が 5.1%、「かなり元気だった」が 34.2%であった。一方、専業主婦では「非常に元気だった」が 5.3%、「かなり元気だった」が 40.8%であった。つまり、専業主婦は就労女性よりも、かなり元気だったことが伺えた。「この 1 か月間に、心理的な問題でどれくらい悩まされたか」との回答は就労女性と専業主婦ともにほぼ同じようであった。「この 1 か月間に、日常行う活動が心理的な理由でどれくらい妨げられたか」との回答は就労女性と専業主婦ともほぼ同様であった。

④-A

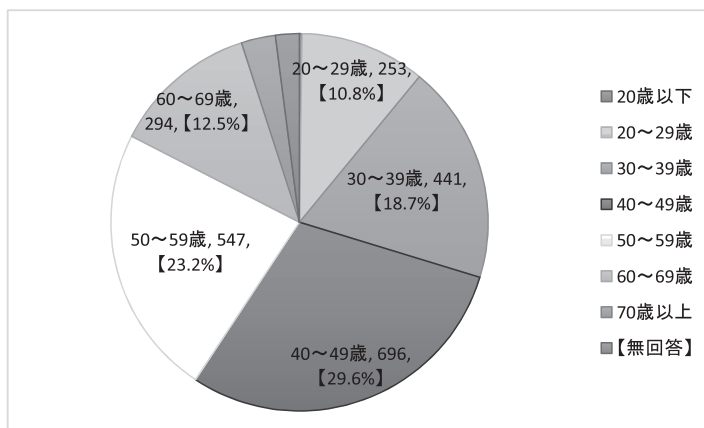
職場や自治会の皆様、人間ドックを受診されている皆様へ

集計総数 2,353

質問1：あなたの年齢をお教えてください。 _____ 歳

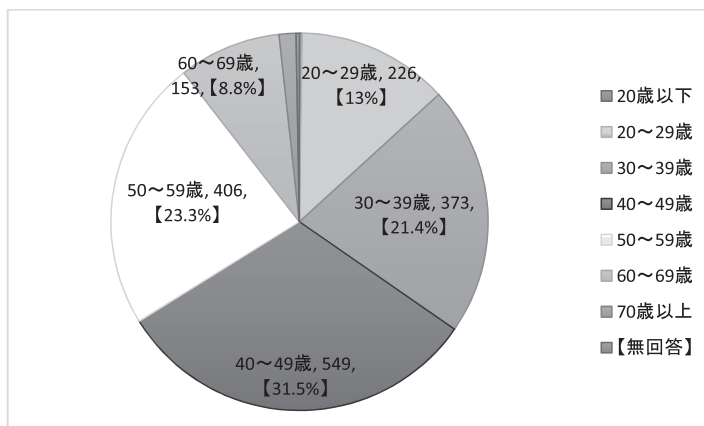
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	5	0.2
20～29歳	253	10.8
30～39歳	441	18.7
40～49歳	696	29.6
50～59歳	547	23.2
60～69歳	294	12.5
70歳以上	69	2.9
【無回答】	48	2
計	2,353	100



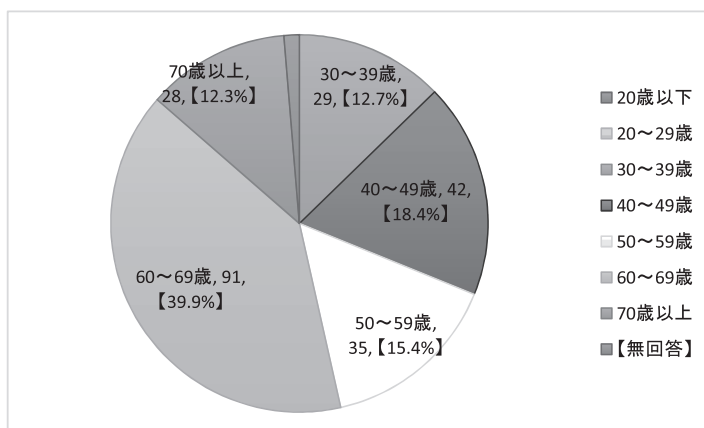
〈働いている女性〉

	集計数	%
20歳以下	4	0.2
20～29歳	226	13
30～39歳	373	21.4
40～49歳	549	31.5
50～59歳	406	23.3
60～69歳	153	8.8
70歳以上	25	1.4
【無回答】	5	0.3
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	29	12.7
40～49歳	42	18.4
50～59歳	35	15.4
60～69歳	91	39.9
70歳以上	28	12.3
【無回答】	3	1.3
計	228	100

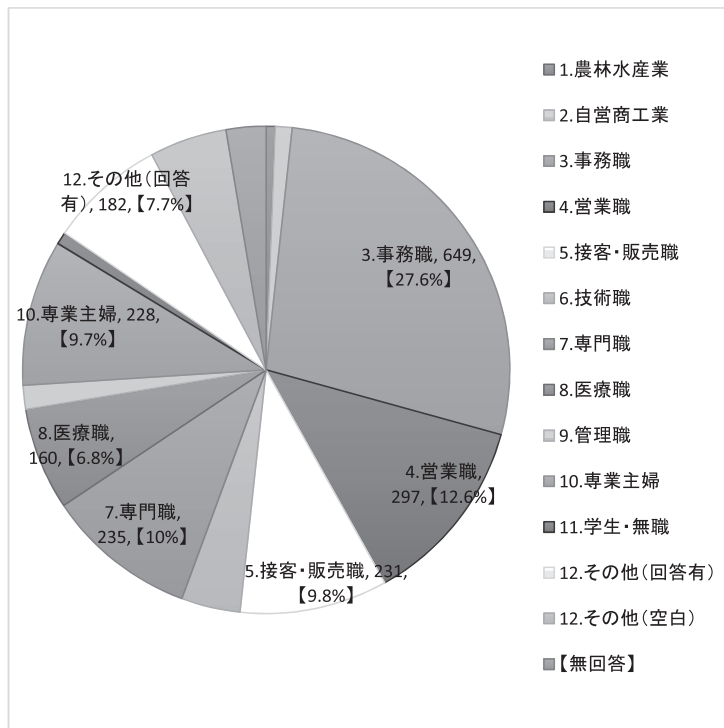


--

12. その他 ()

〈全体人数〉

	集計数	%
1. 農林水産業	14	0.6
2. 自営商工業	26	1.1
3. 事務職	649	27.6
4. 営業職	297	12.6
5. 接客・販売職	231	9.8
6. 技術職	92	3.9
7. 専門職	235	10
8. 医療職	160	6.8
9. 管理職	37	1.6
10. 専業主婦	228	9.7
11. 学生・無職	19	0.8
12. その他（回答有）	182	7.7
12. その他（空白）	121	5.1
【無回答】	62	2.6
計	2,353	100

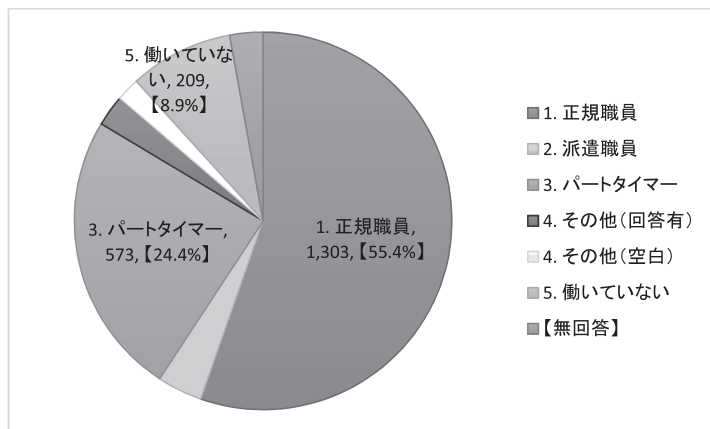


--

1. 正規職員 2. 派遣職員 3. パートタイマー 4. その他 () 5. 働いていない

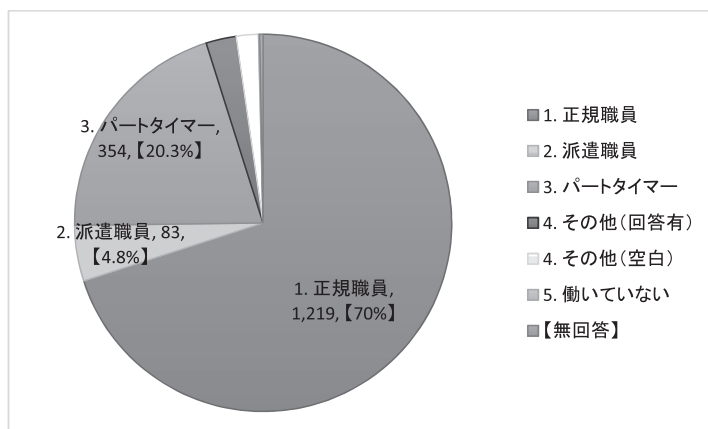
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 正規職員	1, 303	55. 4
2. 派遣職員	91	3. 9
3. パートタイマー	573	24. 4
4. その他（回答有）	63	2. 7
4. その他（空白）	47	2
5. 働いていない	209	8. 9
【無回答】	67	2. 8
計	2, 353	100



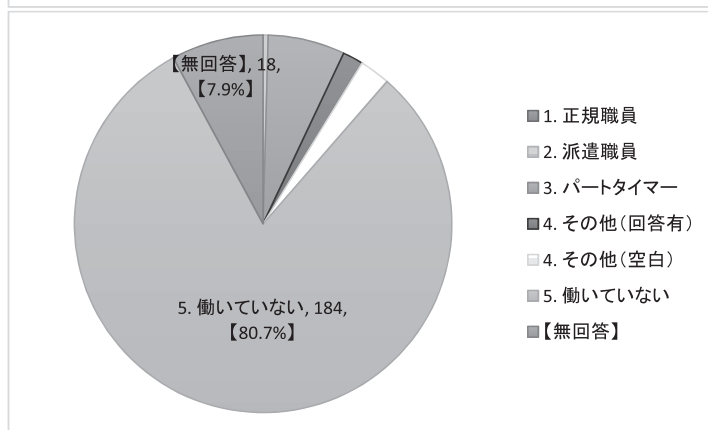
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 正規職員	1,219	70
2. 派遣職員	83	4.8
3. パートタイマー	354	20.3
4. その他（回答有）	45	2.6
4. その他（空白）	33	1.9
5. 働いていない	2	0.1
【無回答】	5	0.3
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 正規職員	0	0
2. 派遣職員	1	0.4
3. パートタイマー	15	6.6
4. その他（回答有）	4	1.8
4. その他（空白）	6	2.6
5. 働いていない	184	80.7
【無回答】	18	7.9
計	228	100

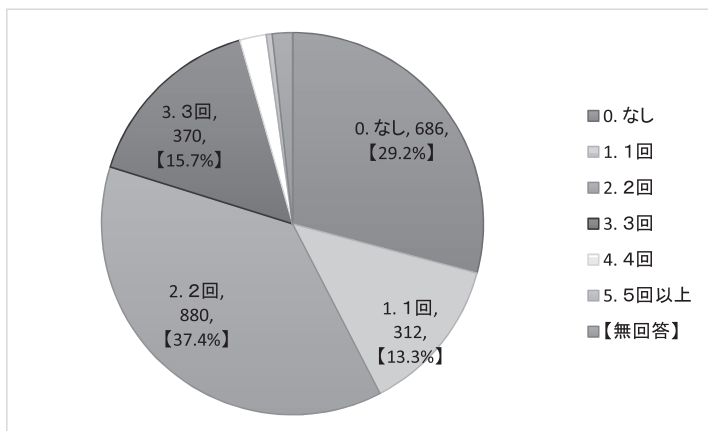


質問4：これまでに出産した回数は何回ですか？

0. なし 1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回以上

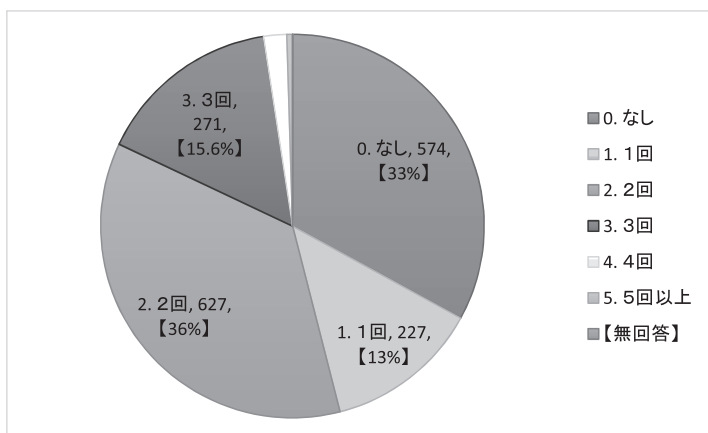
〈全体人数〉

	集計数	%
0. なし	686	29.2
1. 1回	312	13.3
2. 2回	880	37.4
3. 3回	370	15.7
4. 4回	53	2.3
5. 5回以上	12	0.5
【無回答】	40	1.7
計	2,353	100



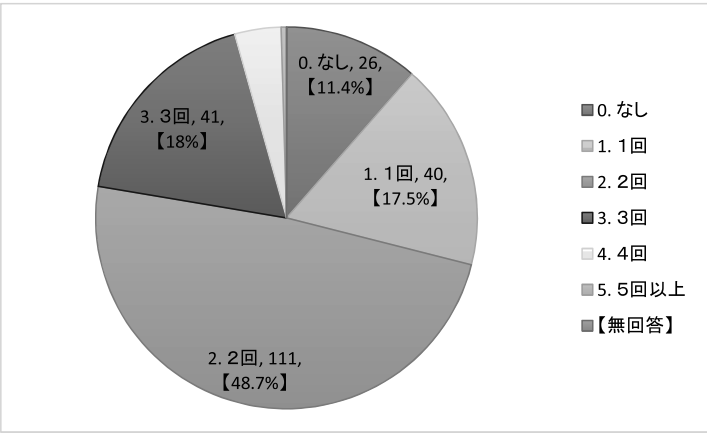
〈働いている女性〉

	集計数	%
0. なし	574	33
1. 1回	227	13
2. 2回	627	36
3. 3回	271	15.6
4. 4回	34	2
5. 5回以上	8	0.5
【無回答】	0	0
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
0. なし	26	11.4
1. 1回	40	17.5
2. 2回	111	48.7
3. 3回	41	18
4. 4回	9	3.9
5. 5回以上	1	0.4
【無回答】	0	0
計	228	100

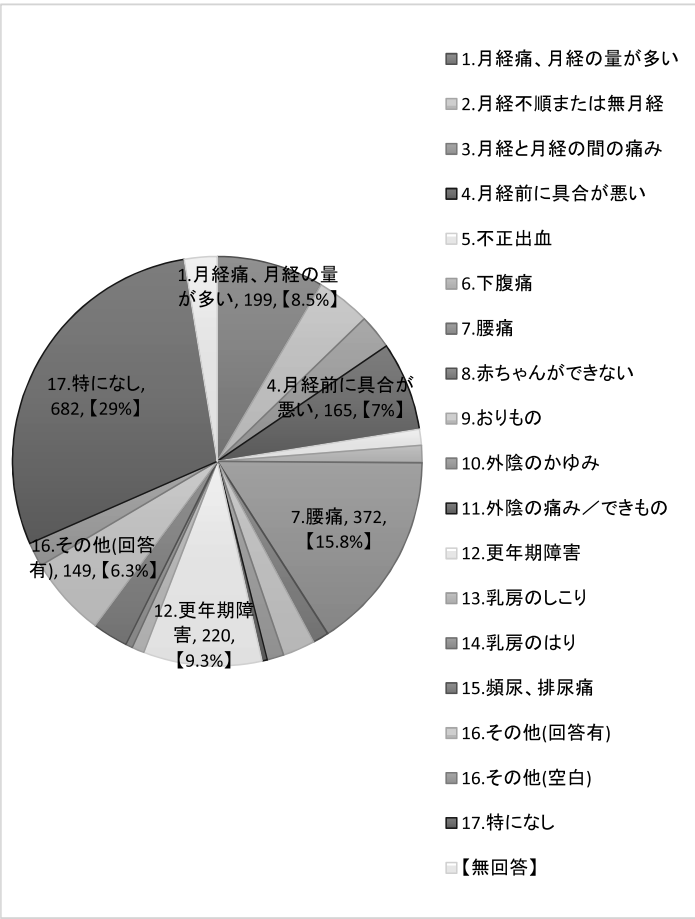


質問5：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んでください。

-
1. 月経痛、月経の量が多い 2. 月経不順または無月経 3. 月経と月経の間の痛み 4. 月経前に具合が悪い
5. 不正出血 6. 下腹痛 7. 腰痛 8. 赤ちゃんができない 9. おりもの 10. 外陰のかゆみ
11. 外陰の痛み／できもの 12. 更年期障害 13. 乳房のしこり 14. 乳房のはり 15. 頻尿、排尿痛
16. その他（ ） 17. 特になし

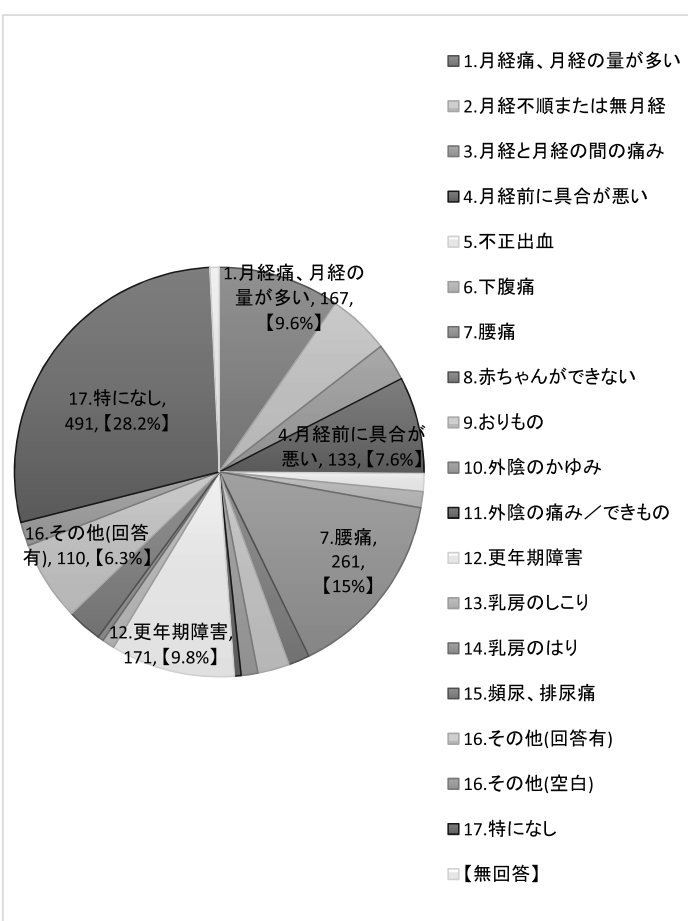
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	199	8.5
2. 月経不順または無月経	101	4.3
3. 月経と月経の間の痛み	64	2.7
4. 月経前に具合が悪い	165	7
5. 不正出血	30	1.3
6. 下腹痛	32	1.4
7. 腰痛	372	15.8
8. 赤ちゃんができない	30	1.3
9. おりもの	60	2.5
10. 外陰のかゆみ	31	1.3
11. 外陰の痛み／できもの	10	0.4
12. 更年期障害	220	9.3
13. 乳房のしこり	23	1
14. 乳房のはり	13	0.6
15. 頻尿、排尿痛	66	2.8
16. その他(回答有)	149	6.3
16. その他(空白)	45	1.9
17. 特になし	682	29
【無回答】	61	2.6
計	2,353	100



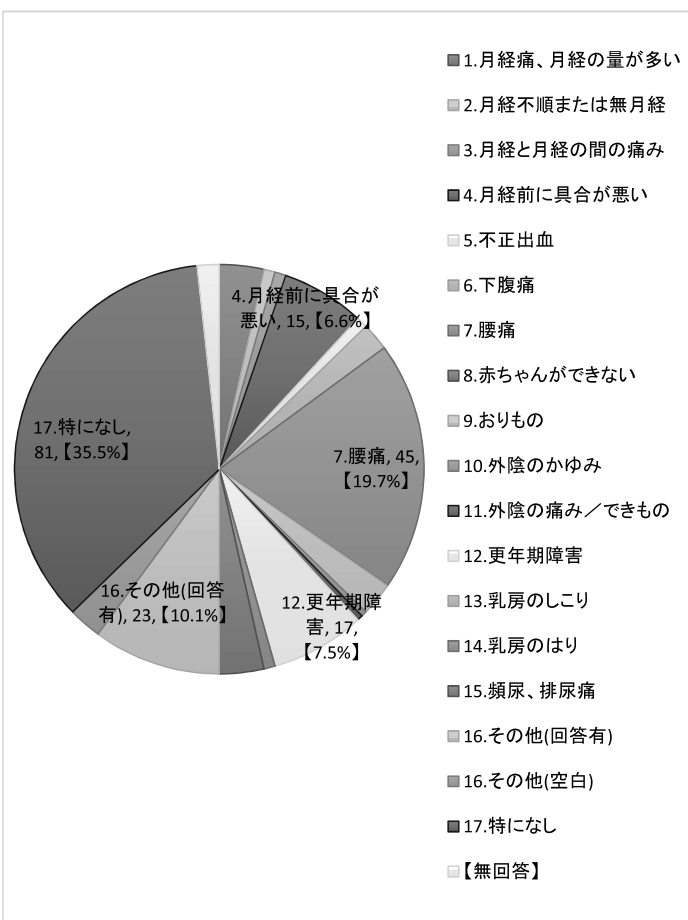
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	167	9.6
2. 月経不順または無月経	85	4.9
3. 月経と月経の間の痛み	52	3
4. 月経前に具合が悪い	133	7.6
5. 不正出血	25	1.4
6. 下腹痛	22	1.3
7. 腰痛	261	15
8. 赤ちゃんができない	29	1.7
9. おりもの	44	2.5
10. 外陰のかゆみ	23	1.3
11. 外陰の痛み／できもの	9	0.5
12. 更年期障害	171	9.8
13. 乳房のしこり	17	1
14. 乳房のはり	8	0.5
15. 頻尿、排尿痛	48	2.8
16. その他(回答有)	110	6.3
16. その他(空白)	33	1.9
17. 特になし	491	28.2
【無回答】	13	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 月経痛、月経の量が多い	8	3.5
2. 月経不順または無月経	2	0.9
3. 月経と月経の間の痛み	2	0.9
4. 月経前に具合が悪い	15	6.6
5. 不正出血	2	0.9
6. 下腹痛	5	2.2
7. 腰痛	45	19.7
8. 赤ちゃんができない	0	0
9. おりもの	6	2.6
10. 外陰のかゆみ	1	0.4
11. 外陰の痛み／できもの	1	0.4
12. 更年期障害	17	7.5
13. 乳房のしこり	0	0
14. 乳房のはり	2	0.9
15. 頻尿、排尿痛	8	3.5
16. その他(回答有)	23	10.1
16. その他(空白)	6	2.6
17. 特になし	81	35.5
【無回答】	4	1.8
計	228	100

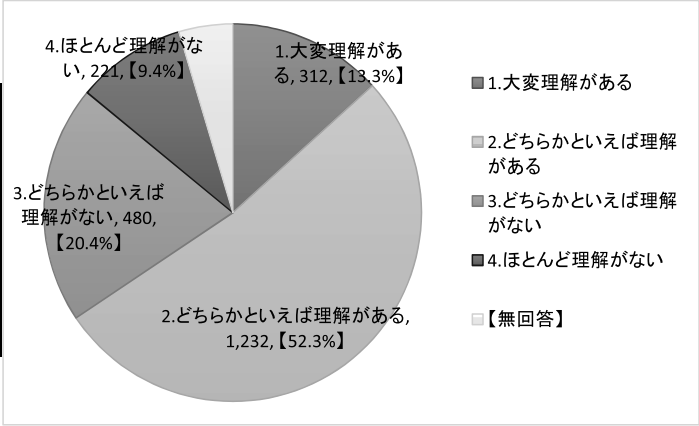


質問6：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？――

1. 大変理解がある 2. どちらかといえば理解がある 3. どちらかといえば理解がない
4. ほとんど理解がない

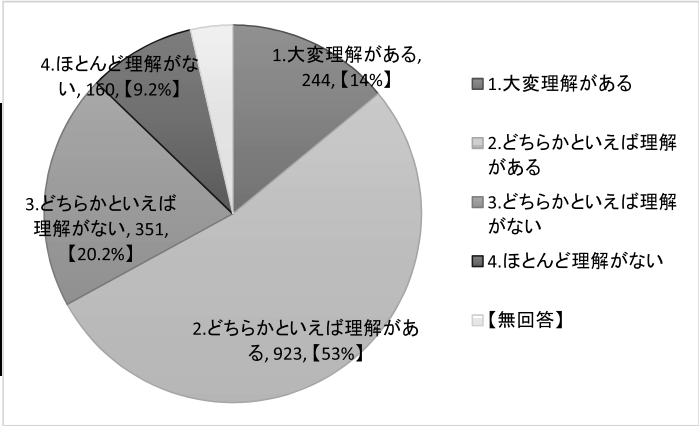
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	312	13. 3
2. どちらかといえば理解がある	1, 232	52. 3
3. どちらかといえば理解がない	480	20. 4
4. ほとんど理解がない	221	9. 4
【無回答】	109	4. 6
計	2, 354	100



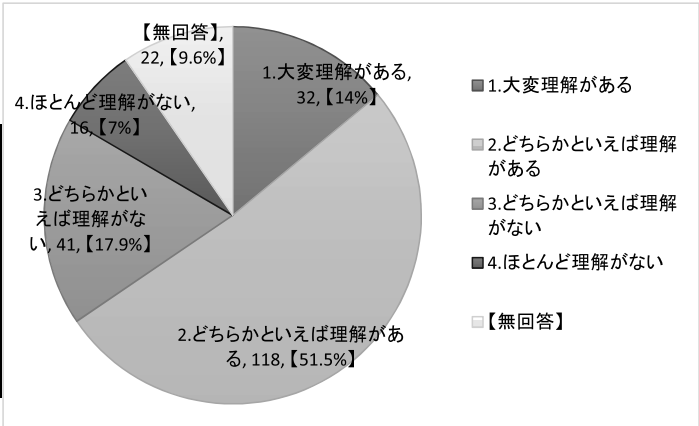
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	244	14
2. どちらかといえば理解がある	923	53
3. どちらかといえば理解がない	351	20. 2
4. ほとんど理解がない	160	9. 2
【無回答】	63	3. 6
計	1, 741	100



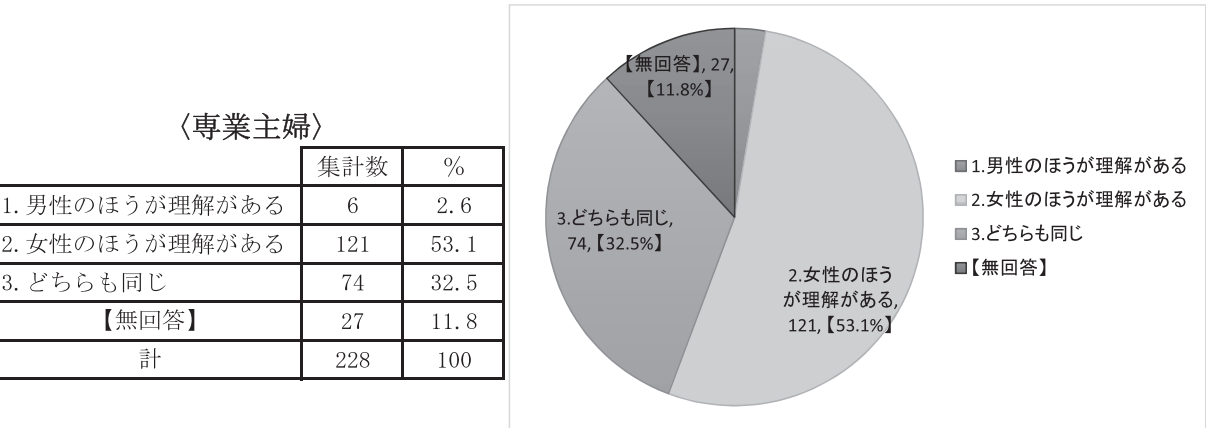
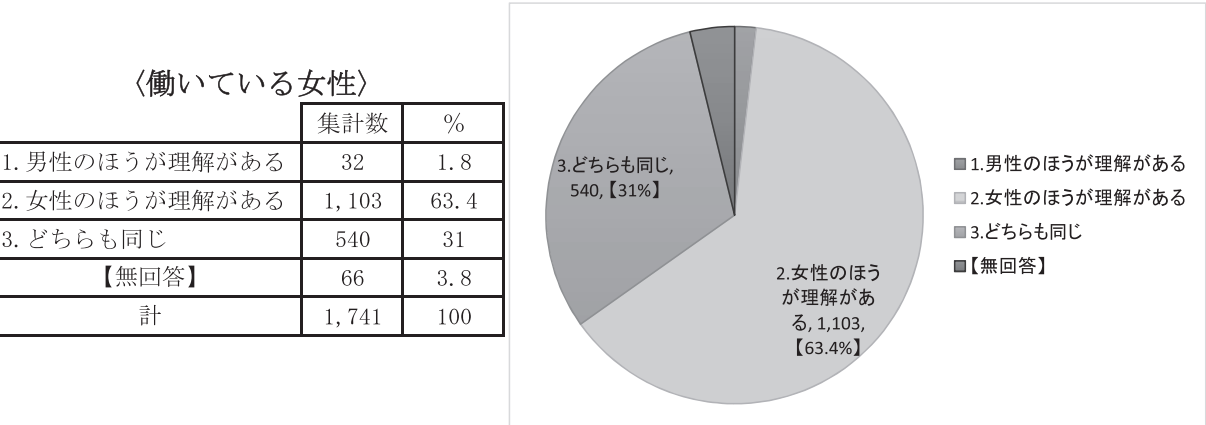
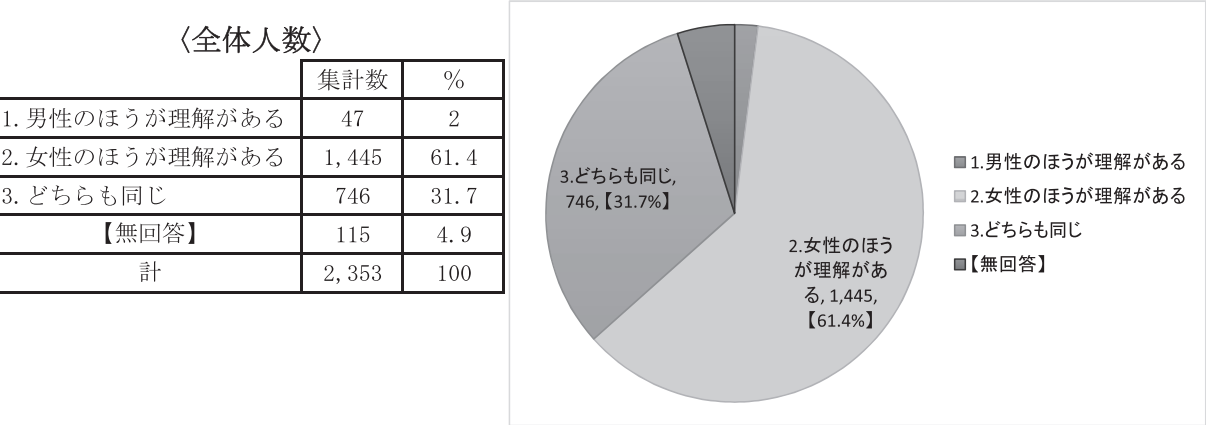
〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 大変理解がある	32	14
2. どちらかといえば理解がある	118	51. 5
3. どちらかといえば理解がない	41	17. 9
4. ほとんど理解がない	16	7
【無回答】	22	9. 6
計	229	100



質問7：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性と女性のいずれから、より理解されていると思いますか？

1. 男性のほうを理解がある
2. 女性のほうを理解がある
3. どちらも同じ



質問8：もしもあなたが次の(a)～(e)のような症状を初めて経験したと仮定して、あなたならどうしますか？それぞれ以下の1～7 中から選んでください。

(a) 不正出血が2～3 回続いた-----

(b) 冷えがひどい-----

(c) 外陰のかゆみがある-----

(d) 赤ちゃんが1年以上できない-----

(e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える-----

1. 様子をみる

2. 薬局で薬をもとめる

3. 産婦人科（個人病院・開業医）を受診する

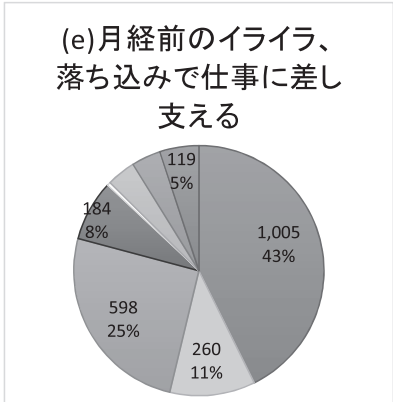
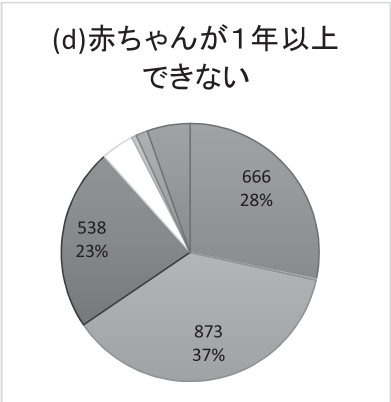
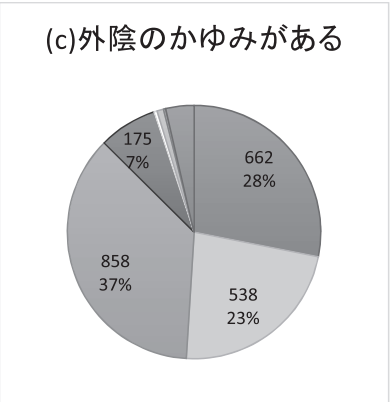
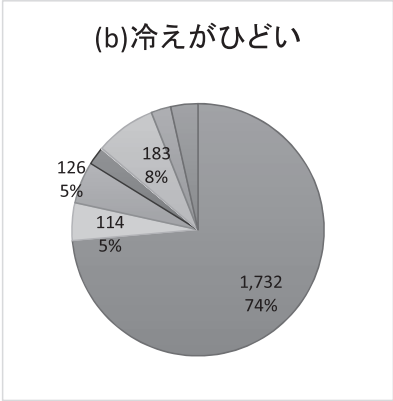
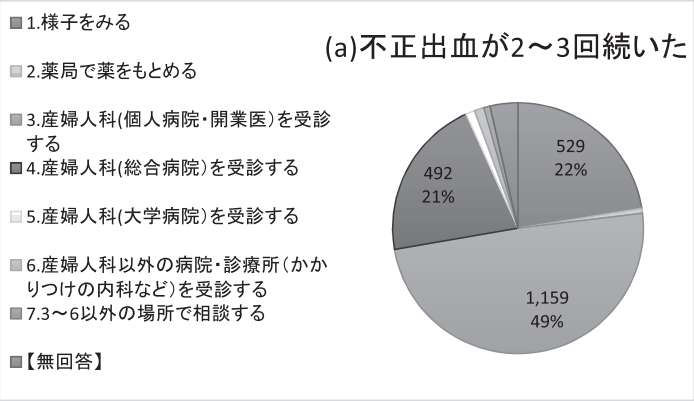
4. 産婦人科（総合病院）を受診する

5. 産婦人科（大学病院）を受診する

6. 産婦人科以外の病院・診療所（かかりつけの内科など）を受診する

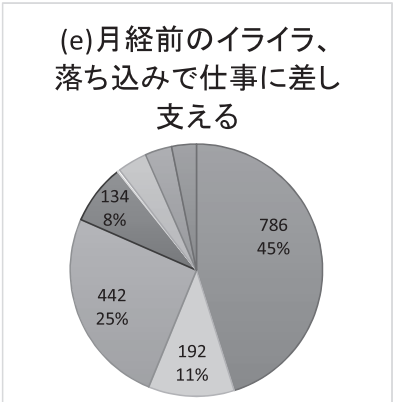
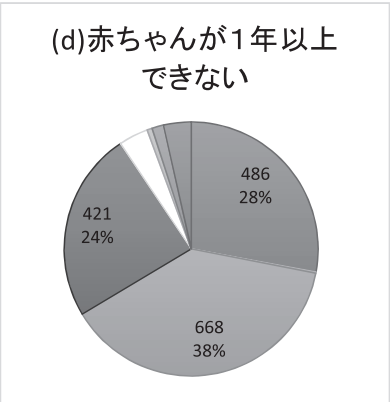
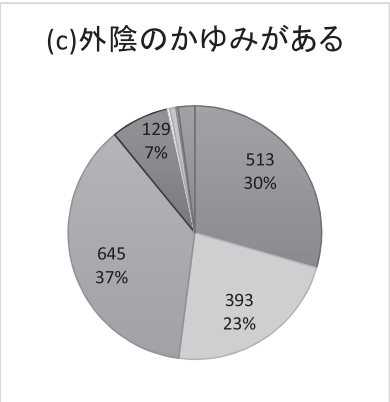
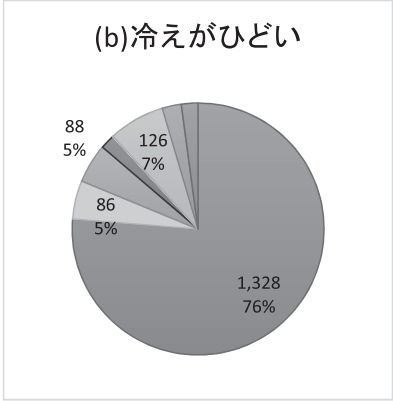
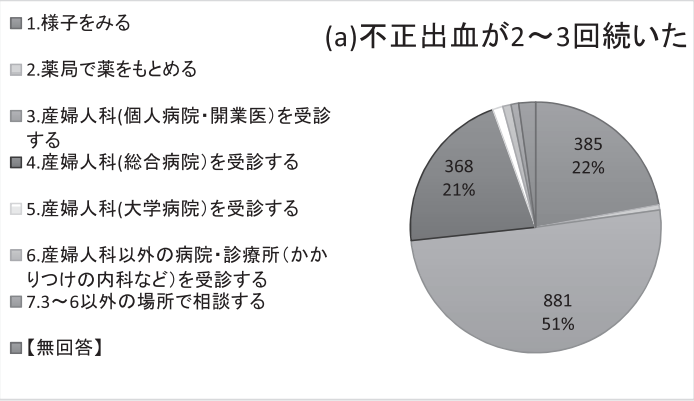
7. 3～6以外の場所で相談する

〈全体人数〉					
	(a) 不正出血が 2～3 回続いた	(b) 冷えがひどい	(c) 外陰のかゆみがある	(d) 赤ちゃんが 1 年以上できない	(e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子をみる	529	1,732	662	666	1,005
%	22.5	73.6	28.1	28. 3	42. 7
2.薬局で薬をもとめる	15	114	538	4	260
%	0. 6	4. 8	22. 9	0. 2	11
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	1, 159	126	858	873	598
%	49. 2	5. 4	36. 4	37. 1	25. 4
4.産婦人科(総合病院)を受診する	492	54	175	538	184
%	20. 9	2. 3	7. 4	22. 8	7. 8
5.産婦人科(大学病院)を受診する	28	2	10	98	11
%	1. 2	0. 1	0. 4	4. 2	0. 5
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	29	183	20	14	88
%	1. 2	7. 8	0. 8	0. 6	3. 7
7.3～6以外の場所で相談する	19	60	6	35	89
%	0. 8	2. 5	0. 3	1. 5	3. 8
【無回答】	85	82	85	127	119
%	3. 6	3. 5	3. 6	5. 4	5. 1
計	2, 356	2, 353	2, 354	2, 355	2, 354



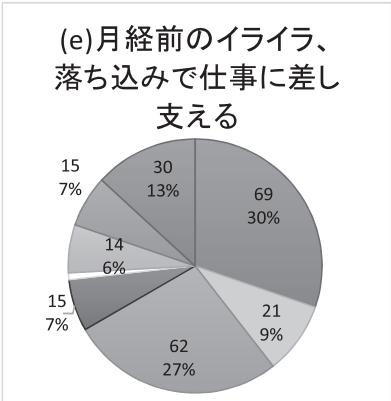
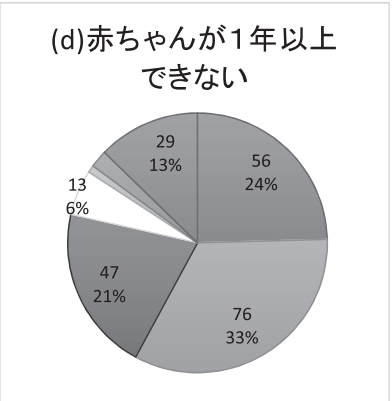
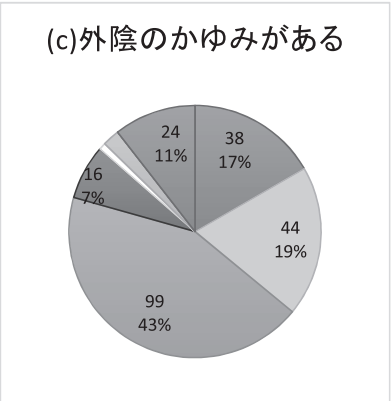
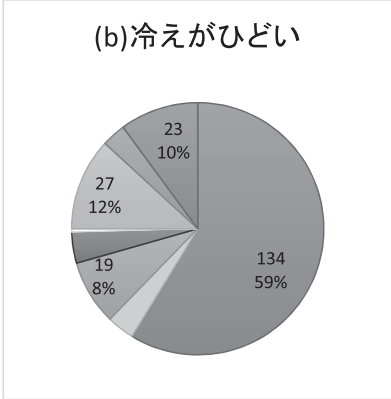
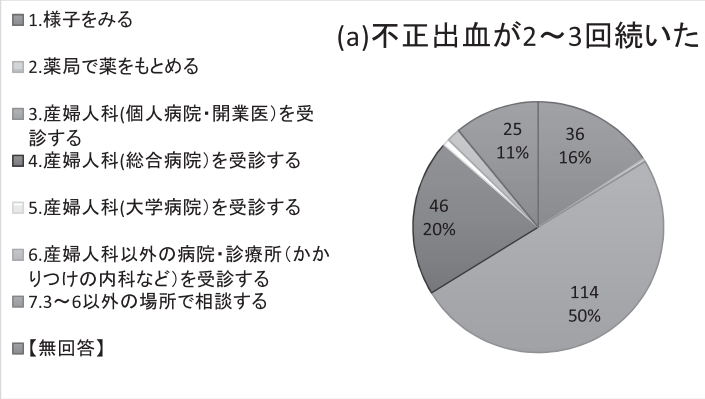
〈働いている女性〉

	(a)不正出血が2～3回続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上できない	(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子をみる	385	1,328	513	486	786
%	22.1	76.3	29.5	27.9	45.1
2.薬局で薬をもとめる	12	86	393	3	192
%	0.7	4.9	22.6	0.2	11
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	881	88	645	668	442
%	50.5	5.1	37	38.3	25.4
4.産婦人科(総合病院)を受診する	368	32	129	421	134
%	21.1	1.8	7.4	24.2	7.7
5.産婦人科(大学病院)を受診する	23	1	6	66	6
%	1.3	0.1	0.3	3.8	0.3
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	19	126	13	11	66
%	1.1	7.2	0.7	0.6	3.8
7.3～6以外の場所で相談する	17	43	5	26	60
%	1	2.5	0.3	1.5	3.4
【無回答】	38	37	37	61	55
%	2.2	2.1	2.1	3.5	3.2
計	1,743	1,741	1,741	1,742	1,741



〈専業主婦〉

	(a)不正出血が2～3回続いた	(b)冷えがひどい	(c)外陰のかゆみがある	(d)赤ちゃんが1年以上できない	(e)月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える
1.様子を見る	36	134	38	56	69
%	15.8	58.8	16.7	24.6	30.3
2.薬局で薬をもとめる	1	8	44	0	21
%	0.4	3.5	19.3	0	9.2
3.産婦人科(個人病院・開業医)を受診する	114	19	99	76	62
%	50	8.3	43.4	33.3	27.2
4.産婦人科(総合病院)を受診する	46	9	16	47	15
%	20.2	3.9	7	20.6	6.6
5.産婦人科(大学病院)を受診する	2	1	2	13	2
%	0.9	0.4	0.9	5.7	0.9
6.産婦人科以外の病院・診療所(かかりつけの内科など)を受診する	4	27	5	2	14
%	1.8	11.8	2.2	0.9	6.1
7.3～6以外の場所で相談する	0	7	0	5	15
%	0	3.1	0	2.2	6.6
【無回答】	25	23	24	29	30
%	11	10.1	10.5	12.7	13.2
計	228	228	228	228	228

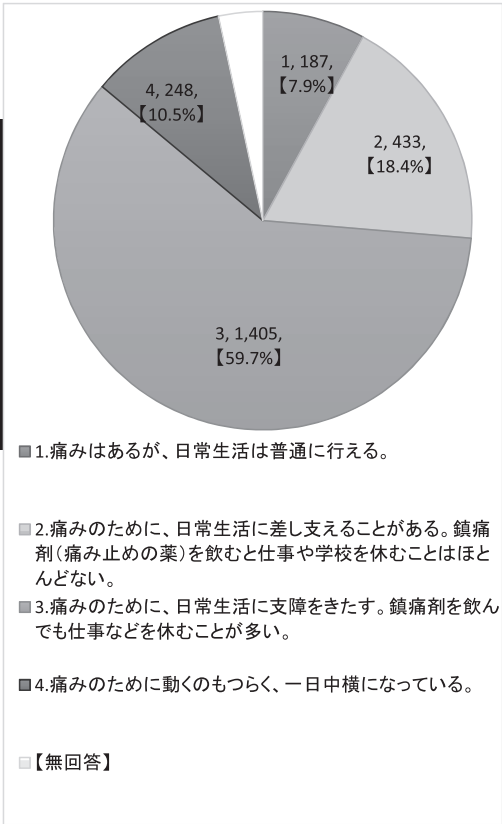


質問9：もしもあなたに月経時の痛み(下腹部痛、腰痛など)があると仮定して、次の1～4のうち、どれくらいの状態を経験したら、産婦人科を受診しようと思いますか？
最も近い状態を一つ選んでください。

1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。

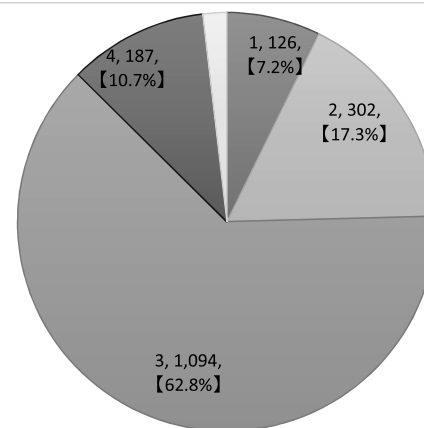
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	187	7.9
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	433	18.4
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	1,405	59.7
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	248	10.5
【無回答】	80	3.4
計	2,353	100



〈働いている女性〉

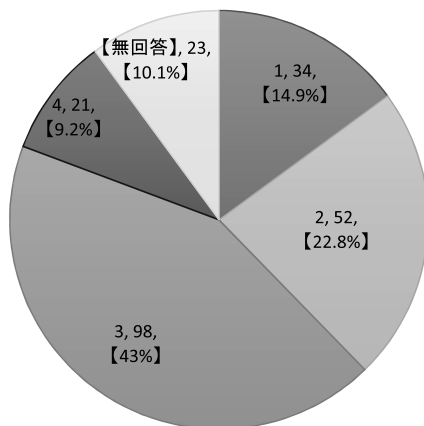
	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	126	7.2
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	302	17.3
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	1,094	62.8
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	187	10.7
【無回答】	32	1.8
計	1,741	100



- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
- 4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

〈専業主婦〉

	集計数	%
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	34	14.9
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。	52	22.8
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。	98	43
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。	21	9.2
【無回答】	23	10.1
計	228	100



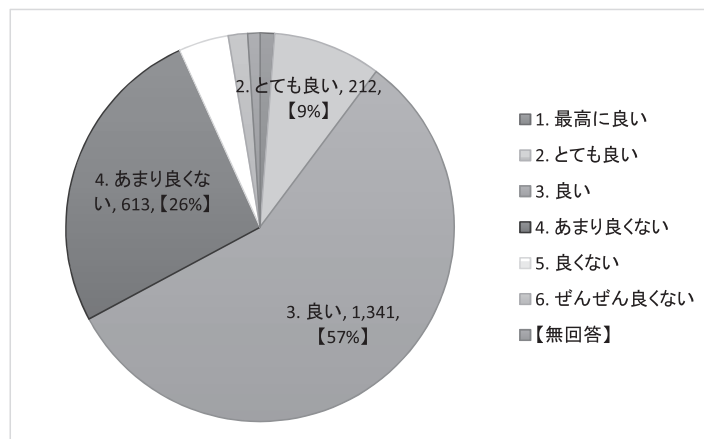
- 1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
- 2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
- 3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
- 4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。
- 【無回答】

質問10：全体的にみて、過去1か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？ -----

1. 最高に良い 2. とても良い 3. 良い 4. あまり良くない 5. 良くない 6. ぜんぜん良くない

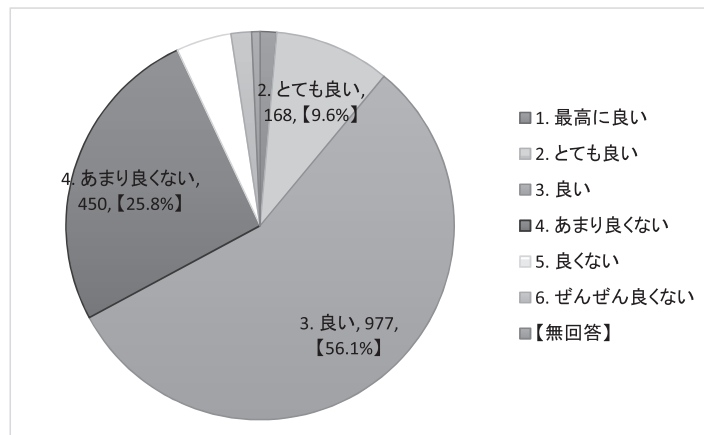
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 最高に良い	28	1.2
2. とても良い	212	9
3. 良い	1,341	57
4. あまり良くない	613	26
5. 良くない	98	4.2
6. ぜんぜん良くない	38	1.6
【無回答】	24	1
計	2,354	100



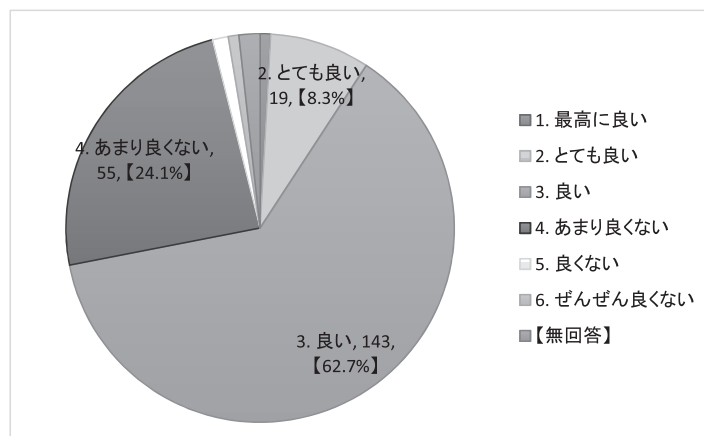
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 最高に良い	24	1.4
2. とても良い	168	9.6
3. 良い	977	56.1
4. あまり良くない	450	25.8
5. 良くない	80	4.6
6. ぜんぜん良くない	30	1.7
【無回答】	12	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉

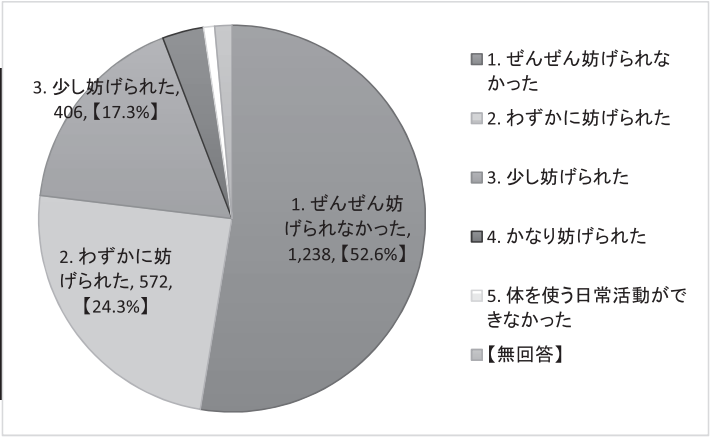
	集計数	%
1. 最高に良い	2	0.9
2. とても良い	19	8.3
3. 良い	143	62.7
4. あまり良くない	55	24.1
5. 良くない	3	1.3
6. ぜんぜん良くない	2	0.9
【無回答】	4	1.8
計	228	100



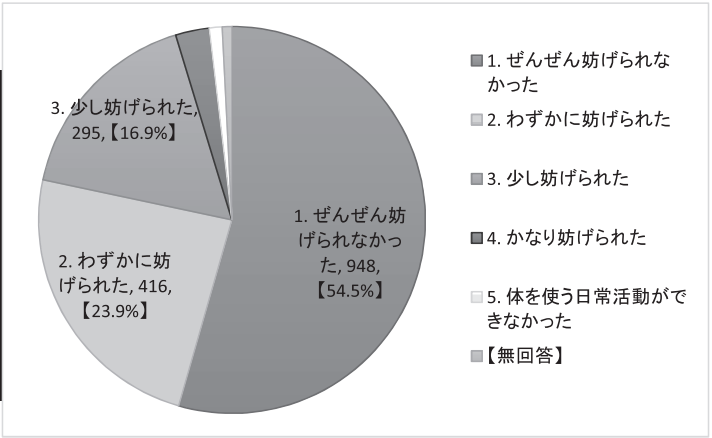
質問11：過去1か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった
2. わずかに妨げられた
3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた
5. 体を使う日常活動ができなかった

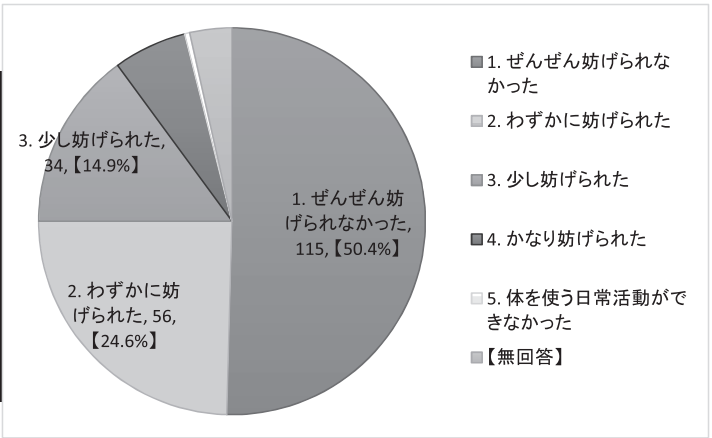
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1,238	52.6
2. わずかに妨げられた	572	24.3
3. 少し妨げられた	406	17.3
4. かなり妨げられた	81	3.4
5. 体を使う日常活動ができなかった	22	0.9
【無回答】	34	1.4
計	2,353	100



〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	948	54.5
2. わずかに妨げられた	416	23.9
3. 少し妨げられた	295	16.9
4. かなり妨げられた	49	2.8
5. 体を使う日常活動ができなかった	19	1.1
【無回答】	14	0.8
計	1,741	100



〈専業主婦〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	115	50.4
2. わずかに妨げられた	56	24.6
3. 少し妨げられた	34	14.9
4. かなり妨げられた	14	6.1
5. 体を使う日常活動ができなかった	1	0.4
【無回答】	8	3.5
計	228	100



質問12：過去1か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった

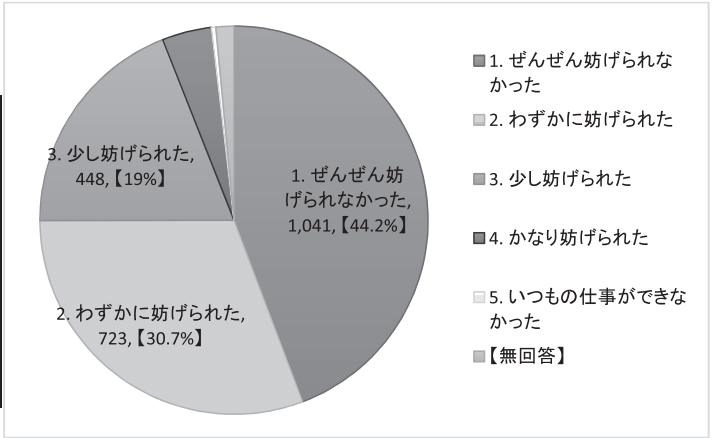
2. わずかに妨げられた

3. 少し妨げられた

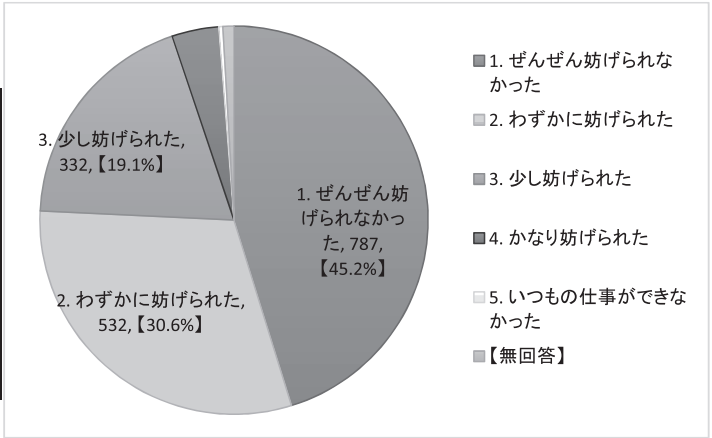
4. かなり妨げられた

5. いつもの仕事ができなかった

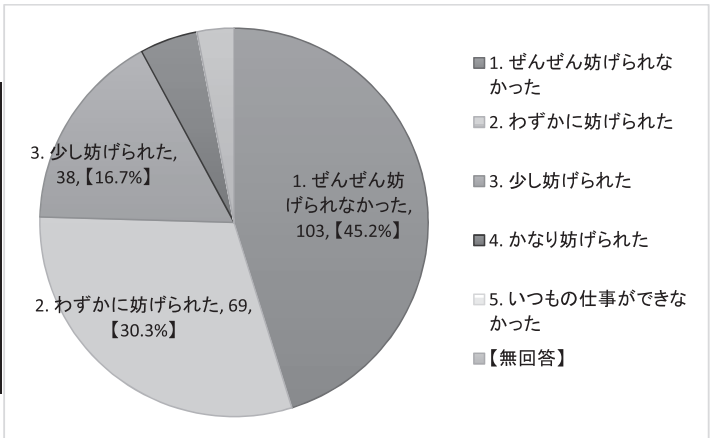
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1,041	44.2
2. わずかに妨げられた	723	30.7
3. 少し妨げられた	448	19
4. かなり妨げられた	97	4.1
5. いつもの仕事ができなかった	9	0.4
【無回答】	35	1.5
計	2,353	100



〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	787	45.2
2. わずかに妨げられた	532	30.6
3. 少し妨げられた	332	19.1
4. かなり妨げられた	68	3.9
5. いつもの仕事ができなかった	6	0.3
【無回答】	16	0.9
計	1,741	100



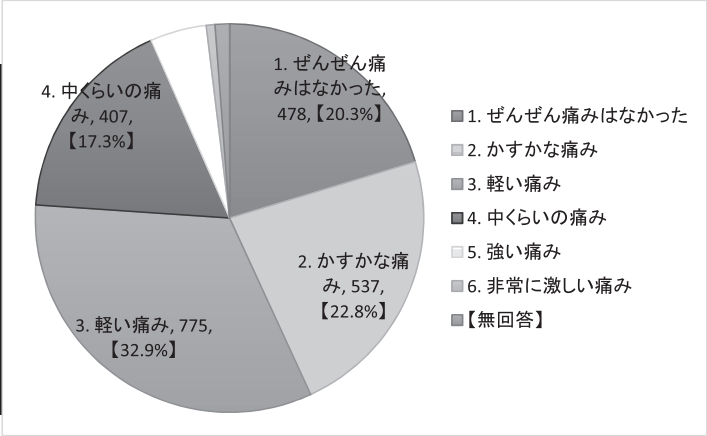
〈専業主婦〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	103	45.2
2. わずかに妨げられた	69	30.3
3. 少し妨げられた	38	16.7
4. かなり妨げられた	11	4.8
5. いつもの仕事ができなかった	0	0
【無回答】	7	3.1
計	228	100



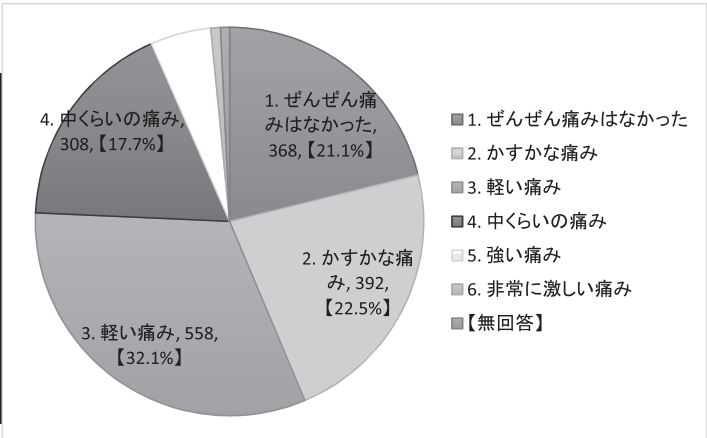
質問13：過去1か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？

1. ぜんぜん痛みはなかった
2. かすかな痛み
3. 軽い痛み
4. 中くらいの痛み
5. 強い痛み
6. 非常に激しい痛み

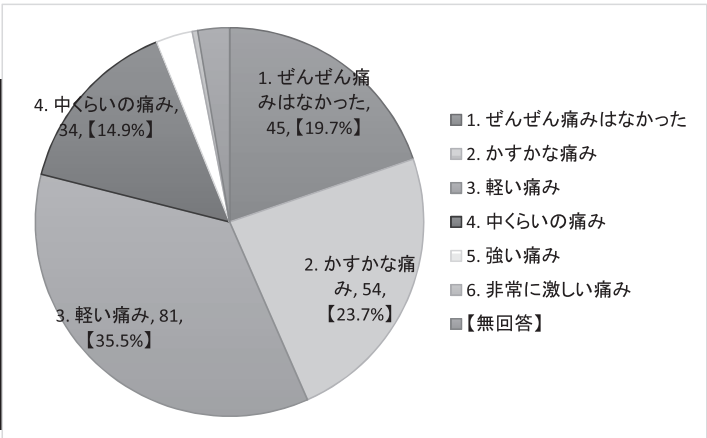
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	478	20.3
2. かすかな痛み	537	22.8
3. 軽い痛み	775	32.9
4. 中くらいの痛み	407	17.3
5. 強い痛み	111	4.7
6. 非常に激しい痛み	17	0.7
【無回答】	28	1.2
計	2,353	100



〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	368	21.1
2. かすかな痛み	392	22.5
3. 軽い痛み	558	32.1
4. 中くらいの痛み	308	17.7
5. 強い痛み	88	5.1
6. 非常に激しい痛み	14	0.8
【無回答】	13	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん痛みはなかった	45	19.7
2. かすかな痛み	54	23.7
3. 軽い痛み	81	35.5
4. 中くらいの痛み	34	14.9
5. 強い痛み	7	3.1
6. 非常に激しい痛み	1	0.4
【無回答】	6	2.6
計	228	100

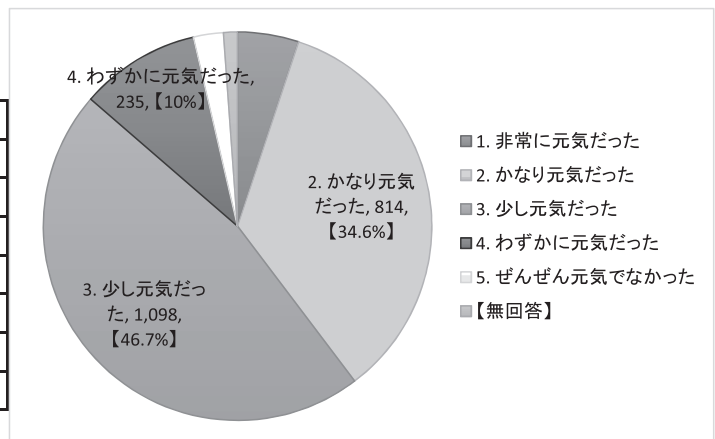


質問14：過去1か月間、どのくらい元気でしたか？

1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった 3. 少し元気だった 4. わずかに元気だった
5. ぜんぜん元気でなかった

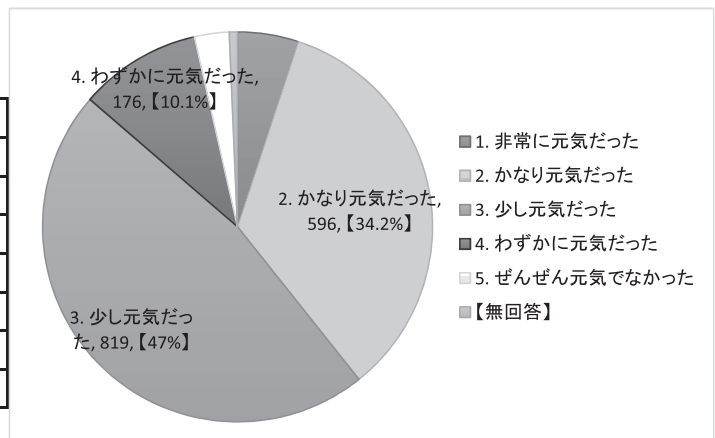
〈全体人数〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	120	5.1
2. かなり元気だった	814	34.6
3. 少し元気だった	1,098	46.7
4. わずかに元気だった	235	10
5. ぜんぜん元気でなかった	59	2.5
【無回答】	27	1.1
計	2,353	100



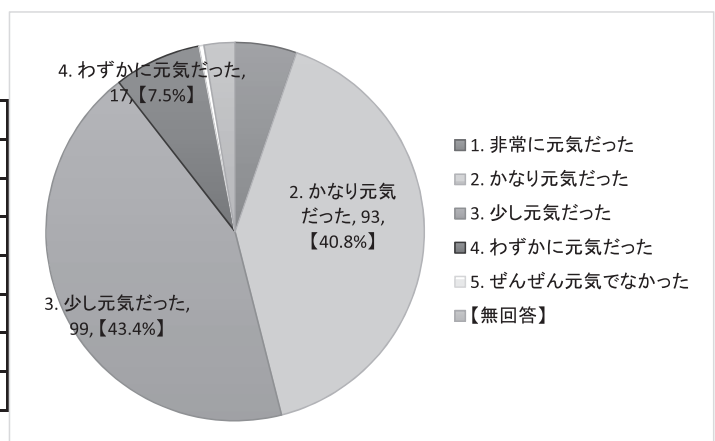
〈働いている女性〉

	集計数	%
1. 非常に元気だった	88	5.1
2. かなり元気だった	596	34.2
3. 少し元気だった	819	47
4. わずかに元気だった	176	10.1
5. ぜんぜん元気でなかった	50	2.9
【無回答】	12	0.7
計	1,741	100



〈専業主婦〉

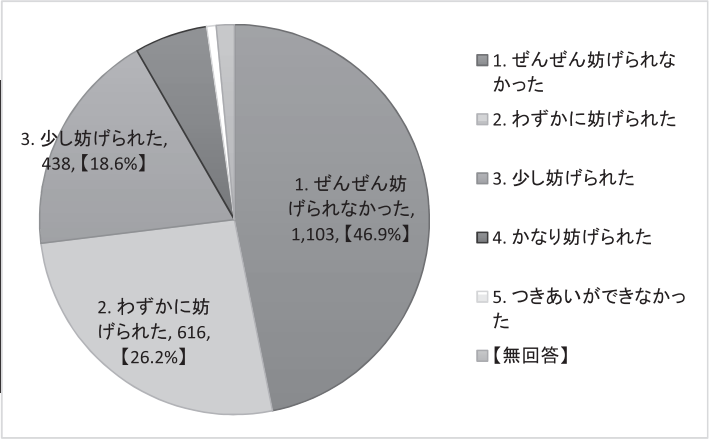
	集計数	%
1. 非常に元気だった	12	5.3
2. かなり元気だった	93	40.8
3. 少し元気だった	99	43.4
4. わずかに元気だった	17	7.5
5. ぜんぜん元気でなかった	1	0.4
【無回答】	6	2.6
計	228	100



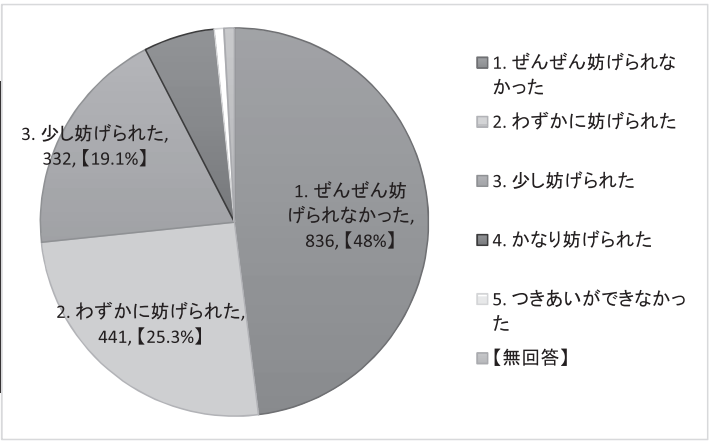
質問15：過去1か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

1. ぜんぜん妨げられなかった
2. わずかに妨げられた
3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた
5. つきあいができなかった

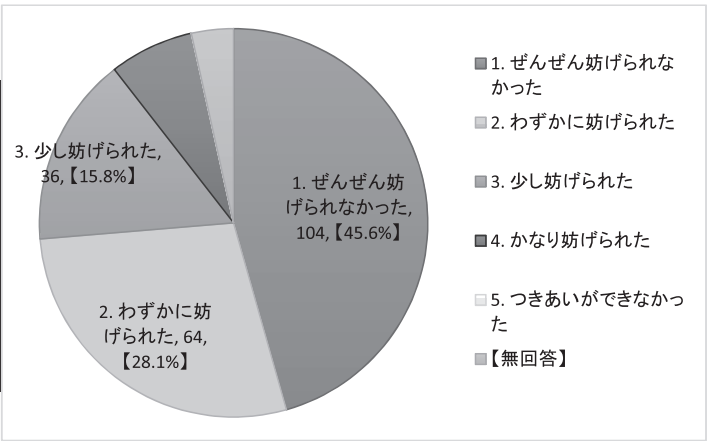
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	1, 103	46. 9
2. わずかに妨げられた	616	26. 2
3. 少し妨げられた	438	18. 6
4. かなり妨げられた	142	6
5. つきあいができなかった	19	0. 8
【無回答】	35	1. 5
計	2, 353	100



〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	836	48
2. わずかに妨げられた	441	25. 3
3. 少し妨げられた	332	19. 1
4. かなり妨げられた	103	5. 9
5. つきあいができなかった	14	0. 8
【無回答】	15	0. 9
計	1, 741	100



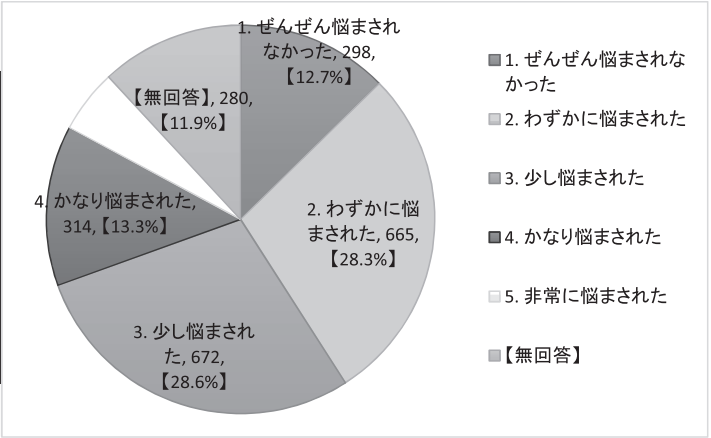
〈専業主婦〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん妨げられなかった	104	45. 6
2. わずかに妨げられた	64	28. 1
3. 少し妨げられた	36	15. 8
4. かなり妨げられた	16	7
5. つきあいができなかった	0	0
【無回答】	8	3. 5
計	228	100



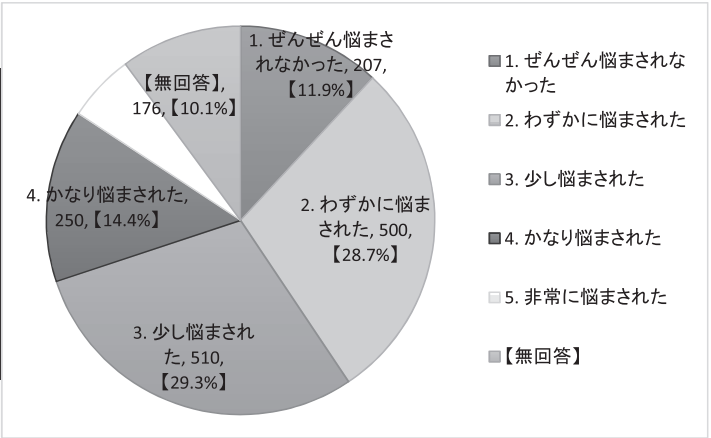
質問16：過去1か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか？

1. ぜんぜん悩まされなかった
2. わずかに悩まされた
3. 少し悩まされた
4. かなり悩まされた
5. 非常に悩まされた

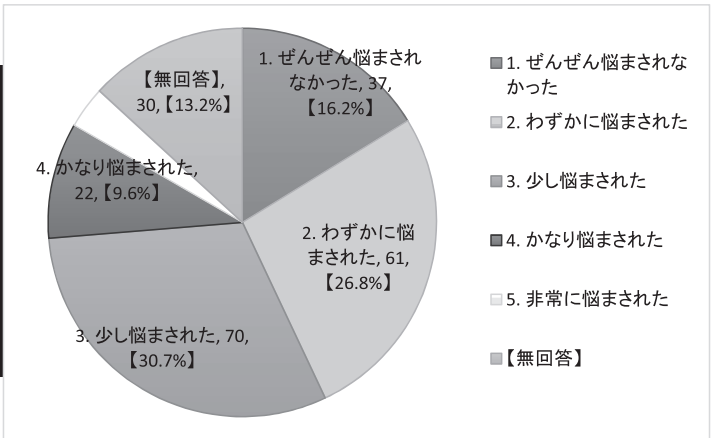
〈全体人数〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	298	12. 7
2. わずかに悩まされた	665	28. 3
3. 少し悩まされた	672	28. 6
4. かなり悩まされた	314	13. 3
5. 非常に悩まされた	124	5. 3
【無回答】	280	11. 9
計	2, 353	100



〈働いている女性〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	207	11. 9
2. わずかに悩まされた	500	28. 7
3. 少し悩まされた	510	29. 3
4. かなり悩まされた	250	14. 4
5. 非常に悩まされた	98	5. 6
【無回答】	176	10. 1
計	1, 741	100



〈専業主婦〉		
	集計数	%
1. ぜんぜん悩まされなかった	37	16. 2
2. わずかに悩まされた	61	26. 8
3. 少し悩まされた	70	30. 7
4. かなり悩まされた	22	9. 6
5. 非常に悩まされた	8	3. 5
【無回答】	30	13. 2
計	228	100



- 〈全体人数〉

A pie chart illustrating the distribution of responses for 'Q2: How much did the activities hinder your daily life?'. The chart is divided into five segments, each representing a different level of hindrance. The segments are labeled with their respective counts and percentages. A legend on the right side of the chart provides a key for the segments.

Response Category	Count	Percentage
1. ぜんぜん妨げられなかった	666	28.3%
2. わずかに妨げられた	701	29.8%
3. 少し妨げられた	524	22.3%
4. かなり妨げられた	169	7.2%
【無回答】	285	12.1%

集計数	%
-----	---

A pie chart showing the distribution of responses for 'Q2: How much did the daily activities of the person with dementia change?'. The chart is divided into six segments, each labeled with a number and a description. A legend on the right side of the chart provides a key for the segments.

Response Category	Count	Percentage
1. ぜんぜん妨げられなかった	494	28.4%
2. わずかに妨げられた	526	30.2%
3. 少し妨げられた	406	23.3%
4. かなり妨げられた	131	7.5%
5. 日常行う活動ができなかった	177	10.2%
【無回答】	177	10.2%

集計数	%
-----	---

回答	人数	割合
1. ぜんぜん妨げられなかった	67	29.4%
2. わずかに妨げられた	73	32%
3. 少し妨げられた	44	19.3%
4. かなり妨げられた	32	14%
5. 日常行う活動ができなかった	32	14%
【無回答】	32	14%

④-B

「職場や自治会の皆様、人間ドックを受診されている皆様へ」回収結果

【全国労災病院 人間ドック】

	病院名	入力日	入力枚数
1	北海道中央	10/11	12
2	釧路		
3	青森	11/15	1
4	東北	10/7	25
5	秋田		
6	福島		
7	鹿島	10/7	31
8	千葉	10/11	9
9	東京	10/4	44
10	関東	8/19	58
11	横浜	9/13	59
12	燕	10/19	53
13	新潟	1/6	10
14	富山		
15	浜松	10/5	31
16	中部		
17	旭	10/19	45
18	大阪	8/18	60
19	関西		
20	神戸		
21	和歌山	12/7	27
22	山陰		
23	岡山		
24	中国	7/25	60
25	山口	12/7	16
26	香川	10/26	24
27	愛媛	8/2	199
28	九州		
29	門司メディ	12/8	12
30	長崎	11/2	39
31	熊本	12/7	53
	計		868

【企業・関係者】

入力日	入力枚数
6/30	98
7/6	71
7/25	170
7/28	148
7/29	34
8/4	7
8/8	265
8/9	176
8/12	54
8/22	11
8/25	93
9/7	48
9/23	31
9/26	24
10/3	10
10/3	16
10/4	32
10/5	22
10/5	14
10/5	25
10/5	42
10/11	67
10/21	27
計	1,485

入力枚数合計

2,353

④-C

人間ドックを受診されている女性の皆様への アンケート調査手順

アンケート配布



アンケート回収



愛媛労災病院へ送付

1・アンケート調査の実施

人間ドックを受診されている女性を対象です。

◎アンケートの説明後、協力を承諾頂けた場合→
アンケート配布。

回答後、それぞれ封筒の封をして下さい。

◎承諾頂けない場合→アンケート配布不要

2・アンケートの回収

各労災病院で9月末を目途にアンケートを回収し、10月上旬頃に愛媛労災病院 研究事務局まで郵送して下さい。同封しております送付用の伝票(着払)で返送して下さい。伝票の「ご依頼主」欄に病院名の記入をお願い致します。

3・その他

◎同意書・同意撤回書について

こちらのアンケート調査に関しては同意書・同意撤回書はございません。

アンケート調査に御理解頂き、アンケートに回答・提出をして頂くことにより同意を得たものと致します。

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
愛媛労災病院 厚生労働省労災疾病臨床研究事務局
Tel : 0897-33-6191 Fax : 0897-33-6169

【担当者】

医事課長	久保 近敏	ijikachou@ehimerosai.jp
事務担当員	大角 尚子	

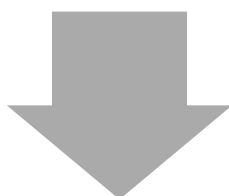
一般女性(職場や自治会)の皆様へのアンケート調査手順

アンケート配布

1・アンケート調査の実施

◎アンケートの配布。
アンケート調査への協力は自由意志です。

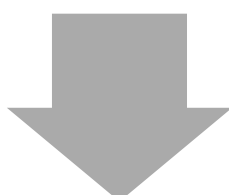
回答後、それぞれ封筒の封をして下さい。



アンケート回収

2・アンケートの回収

9月末を目途に回収期限を設け、10月上旬頃に
愛媛労災病院 研究事務局まで郵送して下さい。
同封しております送付用の伝票(着払)で返送して下さい。



愛媛労災病院へ送付

3・その他

御不明な点がございましたら 下記まで御連絡
下さいますよう、よろしくお願い致します。

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
愛媛労災病院 厚生労働省労災疾病臨床研究事務局
Tel : 0897-33-6191 Fax : 0897-33-6169

【担当者】

医事課長 久保 近敏 ijikachou@ehimerosai.jp
事務担当員 大角 尚子

④-D

職場や自治会の皆様、人間ドックを 受診されている皆様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の
両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）への
ご協力をお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの実例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態や就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。
また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。たとえ、研究に参加されなくても、いかなる不利益もございません。どうぞ、ご安心ください。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013 年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は 6828 億円、そのうち 72%（約 4916 億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

質問 1：あなたの年齢をお教えてください。

----- 歳

質問 2：あなたの職業について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|----------|-----------|----------------------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営商工業 | 3. 事務職 |
| 4. 営業職 | 5. 接客・販売職 | 6. 技術職 |
| 7. 専門職 | 8. 医療職 | 9. 管理職 |
| 10. 専業主婦 | 11. 学生・無職 | 12. その他 () |

質問 3：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|---------------------------------|-----------|------------|
| 1. 正規職員 | 2. 派遣職員 | 3. パートタイマー |
| 4. その他 () | 5. 働いていない | |

質問 4：これまでに出産した回数は何回ですか？-----

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 0. なし | 1. 1 回 | 2. 2 回 |
| 3. 3 回 | 4. 4 回 | 5. 5 回以上 |

質問 5：現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| 1. 月経痛、月経の量が多い | 2. 月経不順または無月経 |
| 3. 月経と月経の間の痛み | 4. 月経前に具合が悪い |
| 5. 不正出血 | 6. 下腹痛 |
| 7. 腰痛 | 8. 赤ちゃんができない |
| 9. おりもの | 10. 外陰のかゆみ |
| 11. 外陰の痛み／できもの | 12. 更年期障害 |
| 13. 乳房のしこり | 14. 乳房のはり |
| 15. 頻尿、排尿痛 | 16. その他 () |
| 17. 特になし | |

質問 6: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか? ----- ☐

1. 大変理解がある
2. どちらかといえば理解がある
3. どちらかといえば理解がない
4. ほとんど理解がない

質問 7: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性と女性のいずれから、より理解されていると思いますか? ----- ☐

1. 男性のほうが理解がある
2. 女性のほうが理解がある
3. どちらも同じ

質問 8: もしもあなたが次の(a)～(e)のような症状を初めて経験したと仮定して、あなたならどうしますか? それぞれ以下の1～7 中から選んでください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| (a) 不正出血が2～3 回続いた----- | ☐ |
| (b) 冷えがひどい----- | ☐ |
| (c) 外陰のかゆみがある----- | ☐ |
| (d) 赤ちゃんが1 年以上できない----- | ☐ |
| (e) 月経前のイライラ、落ち込みで仕事に差し支える----- | ☐ |

1. 様子を見る
2. 薬局で薬をもとめる
3. 産婦人科（個人病院・開業医）を受診する
4. 産婦人科（総合病院）を受診する
5. 産婦人科（大学病院）を受診する
6. 産婦人科以外の病院・診療所（かかりつけの内科など）を受診する
7. 3～6 以外の場所で相談する

質問 9: もしもあなたに月経時の痛み(下腹部痛、腰痛など)があると仮定して、次の1～4のうち、どれくらいの状態を経験したら、産婦人科を受診しようと思いますか? 最も近い状態を一つ選んでください。 ----- ☐

1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと仕事や学校を休むことはほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたす。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休むことが多い。
4. 痛みのために動くのもつらく、一日中横になっている。

質問 10：全体的にみて、過去 1 か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？-----

- | | | |
|------------|----------|-------------|
| 1. 最高に良い | 2. とても良い | 3. 良い |
| 4. あまり良くない | 5. 良くない | 6. ぜんぜん良くない |

質問 11：過去 1 か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|--------------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. 体を使う日常活動ができなかった | |

質問 12：過去 1 か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|------------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. いつもの仕事ができなかった | |

質問 13：過去 1 か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？-----

- | | | |
|----------------|-----------|-------------|
| 1. ぜんぜん痛みはなかった | 2. かすかな痛み | 3. 軽い痛み |
| 4. 中くらいの痛み | 5. 強い痛み | 6. 非常に激しい痛み |

質問 14：過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか？-----

- | | | |
|--------------|----------------|------------|
| 1. 非常に元気だった | 2. かなり元気だった | 3. 少し元気だった |
| 4. わずかに元気だった | 5. ぜんぜん元気でなかった | |

質問 15：過去 1 か月間に、家族や友人との普段のつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|----------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. つきあいができなかった | |

質問 16：過去 1 か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか？-----

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| 1. ぜんぜん悩まされなかった | 2. わずかに悩まされた | 3. 少し悩まされた |
| 4. かなり悩まされた | 5. 非常に悩まされた | |

質問 17：過去 1 か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？-----

- | | | |
|-----------------|------------------|------------|
| 1. ぜんぜん妨げられなかった | 2. わずかに妨げられた | 3. 少し妨げられた |
| 4. かなり妨げられた | 5. 日常行う活動ができなかった | |

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

⑤中間管理職、衛生管理スタッフへのアンケート調査
(企業の中間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ)

中間管理職のうち、「50歳～59歳」の50歳代が47.3%であり、「40歳～49歳」の40歳代が33.7%であった。一方、一般職の産業衛生管理スタッフは「40歳～49歳」の40歳代が34.5%であり、次いで「30歳～39歳」の30歳代が27.4%であった。中間管理職の77.4%が「男性」であり、中間管理職の48.4%が「衛生管理スタッフ」であった。一般職の23.8%が「男性」であり、一般職の69.1%は「衛生管理スタッフ」であった。

中間管理職の64.1%が月経痛を知っていたが、ほぼ半数が過多月経を知らず、頻発月経も月経困難症も月経前症候群も知らなかった。一方、一般職ではほとんどが過多月経や頻発月経など月経関連症状を知っていた。中間管理職がよく知っている疾患は高血圧、メタボリック症候群、胃がんであり、知らない病気はチョコレートとう胞、子宮体がん、卵巣嚢腫であった。一般職がよく知っている疾患は高血圧、大腸がん、メタボリック症候群であり、知らない疾患はチョコレートとう胞、卵巣嚢腫、子宮内膜症であった。

「月経痛など月経に関連した症状で、休暇を請求されたことがあるか」との問いに男性の中間管理職は47%が「ない」と答え、31.7%が「わからない・知らない」と答えた。一方、女性の中間管理職の54.3%が「ない」と答え、32.8%が「ある」と答えていた。「あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で治療を受けている女性がいるか」との問いに、男性の中間管理職では61.2%が「わからない・知らない」と答え、28.5%が「いない」と答えた。一方、女性の中間管理職では41.8%が「いる」、34.1%が「わからない・知らない」と答え、男性の中間管理職と女性の中間管理職では回答の出現率に有意の差を認めた。また、「あなたの職場で、更年期障害で治療を受けている女性がいるか」との問いに、男性の中間管理職では64.9%が「わからない・知らない」と答え、29.8%が「いない」と答えた。一方、女性の中間管理職では44%が「わからない・知らない」と答え、31.5%が「いない」と答えた。子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などで婦人科外来を受診している女性に「何か配慮をしているか」との問いに対して、男性の中間管理職では65.6%は「わからない・知らない」と答え、20.6%が「していない」と答えた。一方、女性の中間管理職では34.9%が「していない」と答え、33.6%が「わからない・知らない」と答えた。子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に「何か配慮をしているか」との問いに対して、男性の中間管理職では63.9%が「わからない・知らない」と答え、20.2%が「していない」と答えた。一方、女性の中間管理職では35.8%が「わからない・知らない」と答え、34.5%が「している」と答えた。「病気で1ヶ月間休職が必要と報告された時、考慮するもっとも重要な因子は何か」との問いに対して、男性の中間管理職では40%が「代替りの人材の手配」、30%が「これまで処理していた仕事量」と答えた。一方、女性の中間管理職では38.7%が「代替りの人材の手配」、34%が「これまで処理していた仕事量」と答えた。なお、一般職では32.3%が「これまで処理していた仕事量」と答え、25.9%は「代替りの人材の手配」と答えた。

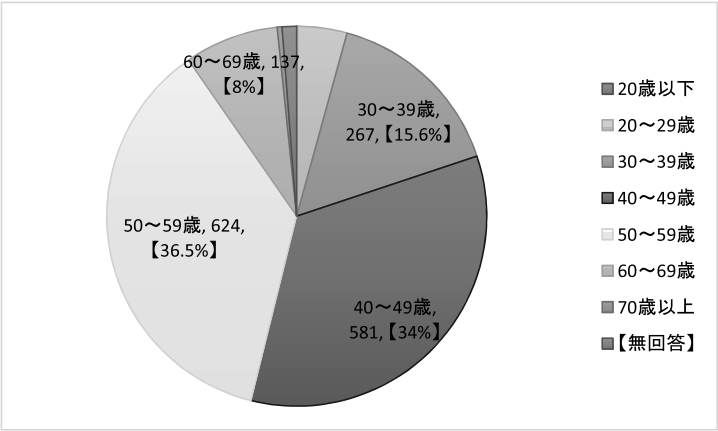
⑤-A 企業の中間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ

集計総数 1,710

質問1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

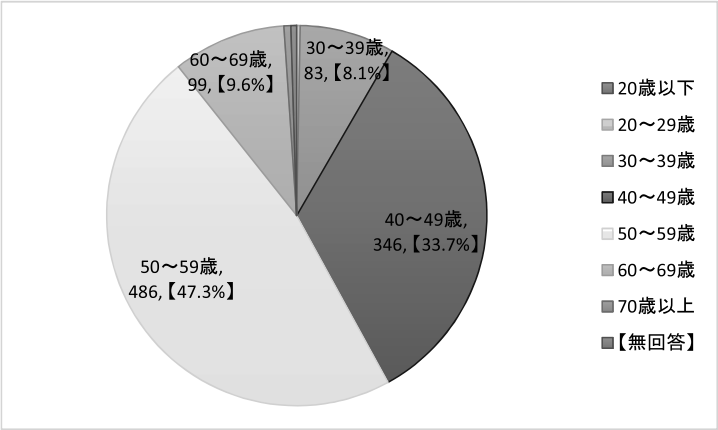
〈全体人数〉

	集計数	%
20歳以下	1	0.1
20～29歳	72	4.2
30～39歳	267	15.6
40～49歳	581	34
50～59歳	624	36.5
60～69歳	137	8
70歳以上	7	0.4
【無回答】	21	1.2
計	1,710	100



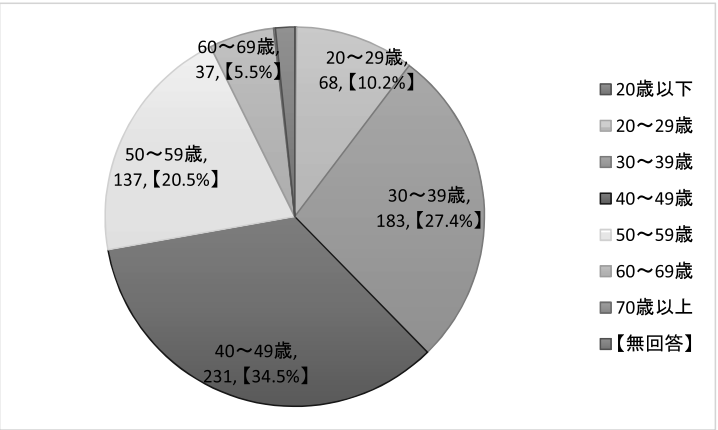
〈中間管理職〉

	集計数	%
20歳以下	0	0
20～29歳	3	0.3
30～39歳	83	8.1
40～49歳	346	33.7
50～59歳	486	47.3
60～69歳	99	9.6
70歳以上	6	0.6
【無回答】	5	0.5
計	1,028	100



〈一般職〉

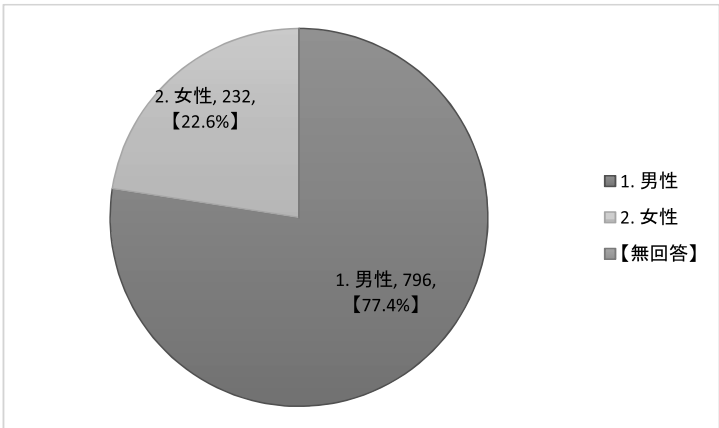
	集計数	%
20歳以下	1	0.1
20～29歳	68	10.2
30～39歳	183	27.4
40～49歳	231	34.5
50～59歳	137	20.5
60～69歳	37	5.5
70歳以上	1	0.1
【無回答】	11	1.6
計	669	100



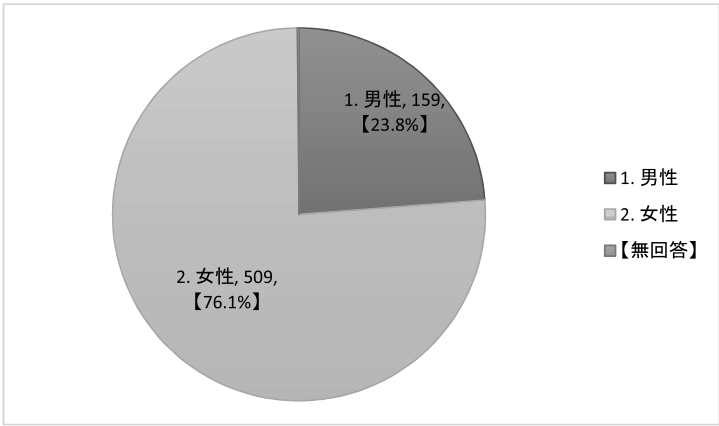
質問2：あなたの性別について教えてください。-----

1. 男性 2. 女性

〈中間管理職〉		
	集計数	%
1. 男性	796	77.4
2. 女性	232	22.6
【無回答】	0	0
計	1,028	100



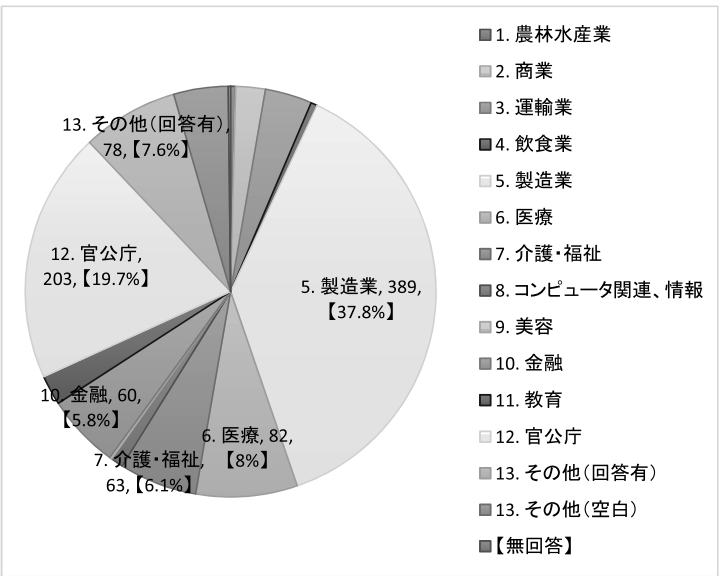
〈一般職〉		
	集計数	%
1. 男性	159	23.8
2. 女性	509	76.1
【無回答】	1	0.1
計	669	100



質問3：あなたの会社について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

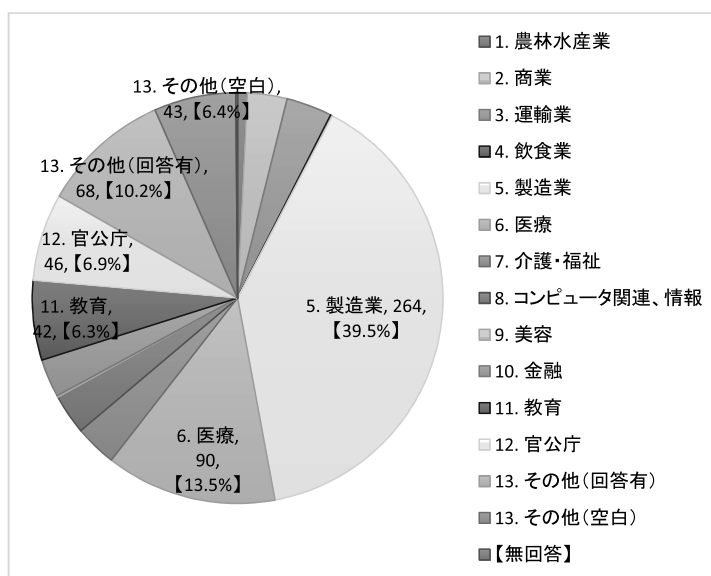
1. 農林水産業 2. 商業 3. 運輸業 4. 飲食業 5. 製造業 6. 医療 7. 介護・福祉 8. コンピュータ関連、情報
9. 美容 10. 金融 11. 教育 12. 官公庁 13. その他（ ）

〈中間管理職〉		
	集計数	%
1. 農林水産業	4	0.4
2. 商業	24	2.3
3. 運輸業	38	3.7
4. 飲食業	5	0.5
5. 製造業	389	37.8
6. 医療	82	8
7. 介護・福祉	63	6.1
8. コンピュータ関連、情報	10	1
9. 美容	2	0.2
10. 金融	60	5.8
11. 教育	24	2.3
12. 官公庁	203	19.7
13. その他（回答有）	78	7.6
13. その他（空白）	44	4.3
【無回答】	2	0.2
計	1,028	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 農林水産業	5	0.7
2. 商業	21	3.1
3. 運輸業	24	3.6
4. 飲食業	1	0.1
5. 製造業	264	39.5
6. 医療	90	13.5
7. 介護・福祉	22	3.3
8. コンピュータ関連、情報	21	3.1
9. 美容	1	0.1
10. 金融	20	3
11. 教育	42	6.3
12. 官公庁	46	6.9
13. その他（回答有）	68	10.2
13. その他（空白）	43	6.4
【無回答】	1	0.1
計	669	100

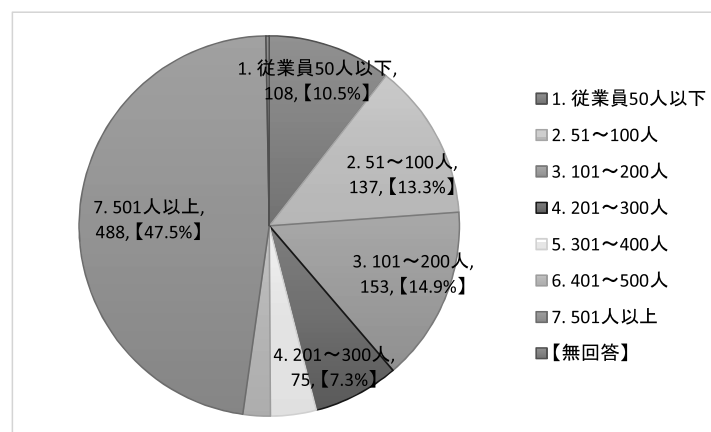


質問4：あなたの会社の規模について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 従業員50人以下 2. 51～100人 3. 101～200人 4. 201～300人 5. 301～400人 6. 401～500人
7. 501人以上

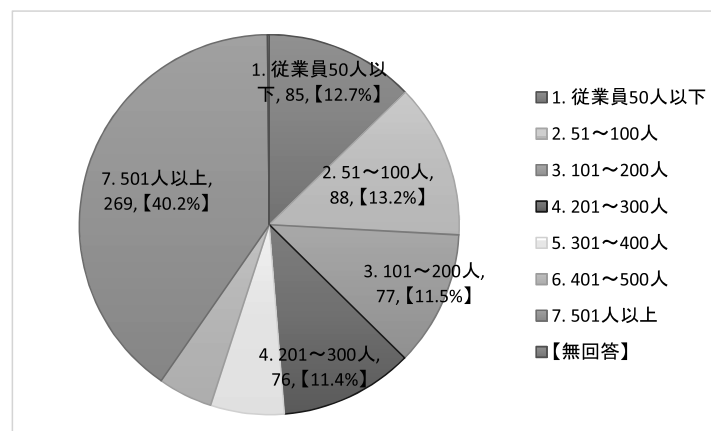
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 従業員50人以下	108	10.5
2. 51～100人	137	13.3
3. 101～200人	153	14.9
4. 201～300人	75	7.3
5. 301～400人	40	3.9
6. 401～500人	24	2.3
7. 501人以上	488	47.5
【無回答】	3	0.3
計	1,028	100



〈一般職〉

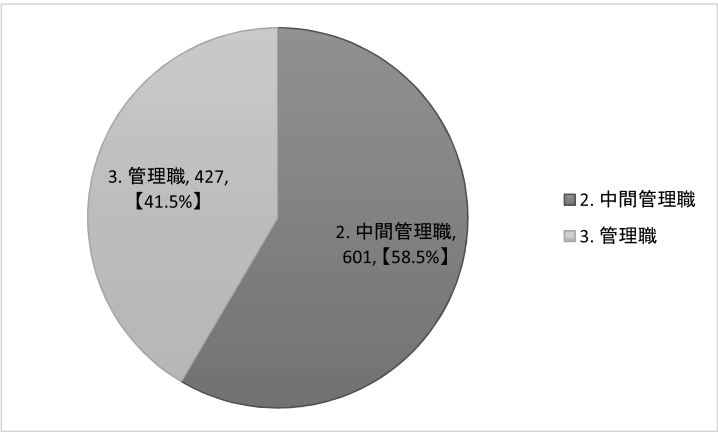
	集計数	%
1. 従業員50人以下	85	12.7
2. 51～100人	88	13.2
3. 101～200人	77	11.5
4. 201～300人	76	11.4
5. 301～400人	42	6.3
6. 401～500人	31	4.6
7. 501人以上	269	40.2
【無回答】	1	0.1
計	669	100



質問5：あなたの職位について最もあてはまるものを1つ選んでください。-----

1. 一般職 2. 中間管理職 3. 管理職

〈中間管理職〉		
	集計数	%
1. 一般職		
2. 中間管理職	601	58.5
3. 管理職	427	41.5
【無回答】		
計	1,028	100

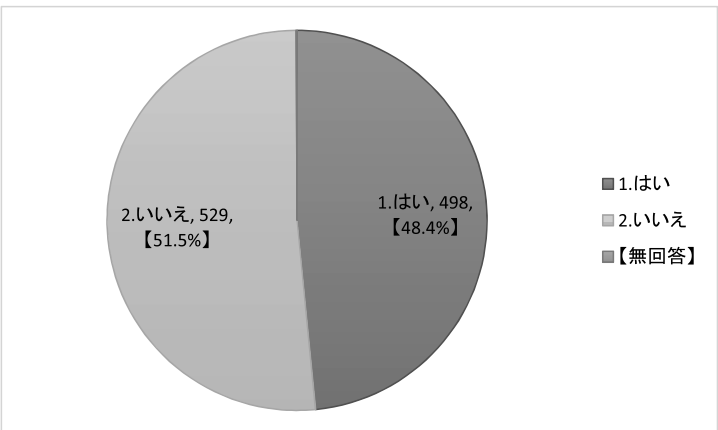


〈一般職〉		
	集計数	%
1. 一般職	669	100
2. 中間管理職		
3. 管理職		
【無回答】		
計	669	100

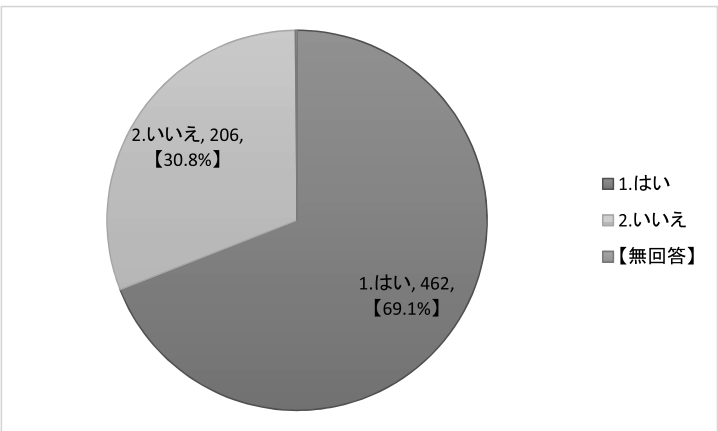
質問6：あなたは衛生管理スタッフですか？-----

1. はい 2. いいえ

〈中間管理職〉		
	集計数	%
1. はい	498	48.4
2. いいえ	529	51.5
【無回答】	1	0.1
計	1,028	100



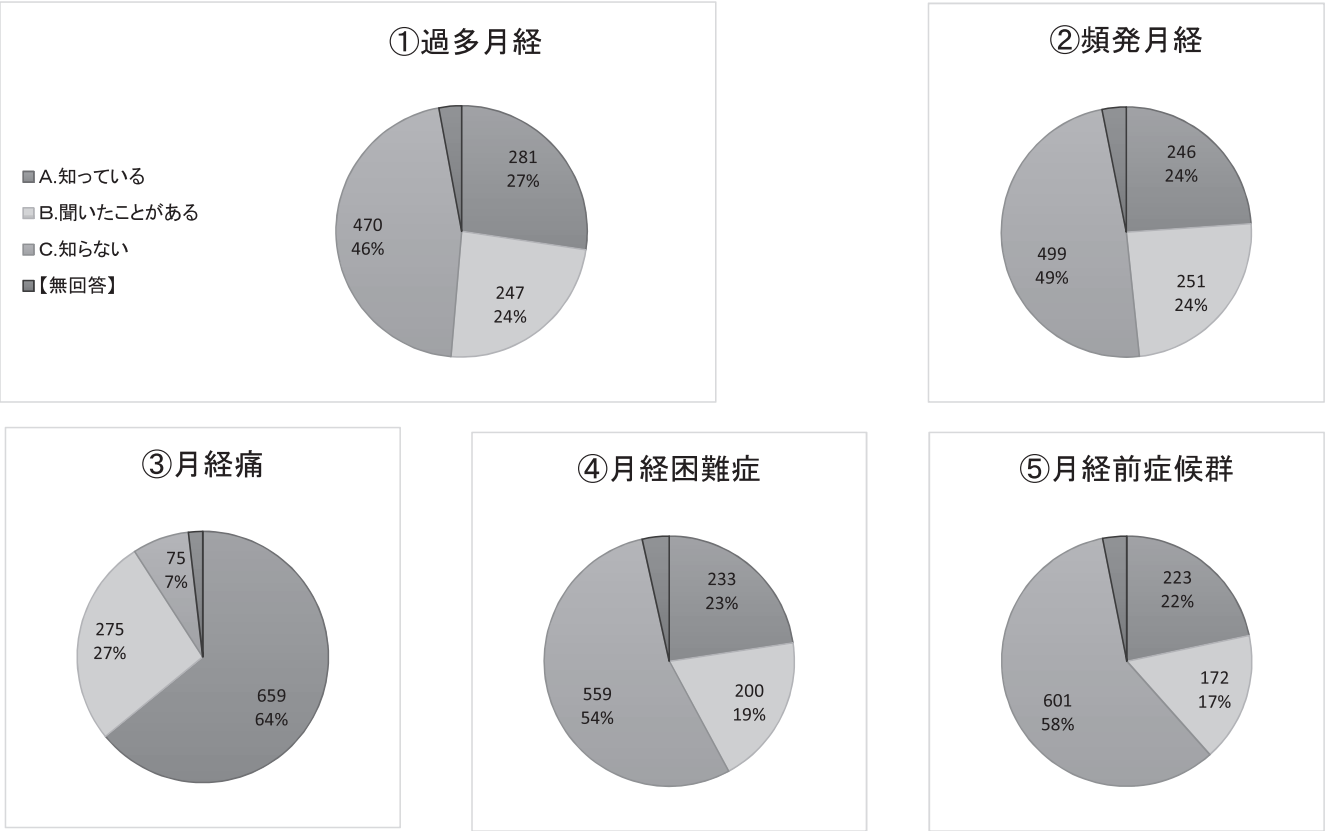
〈一般職〉		
	集計数	%
1. はい	462	69.1
2. いいえ	206	30.8
【無回答】	1	0.1
計	669	100



質問7：月経に関連した症状で、知っている項目を教えてください。

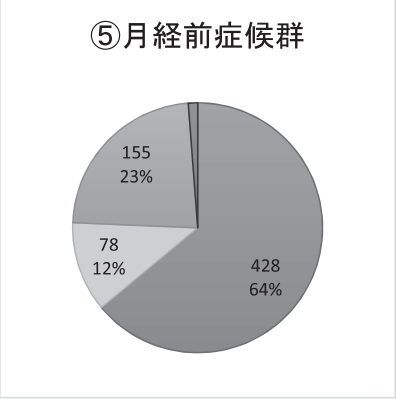
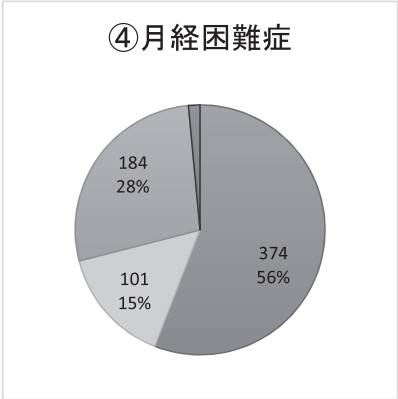
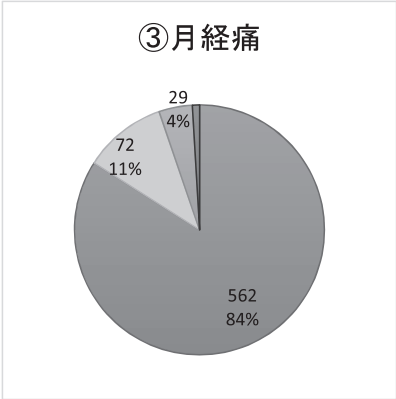
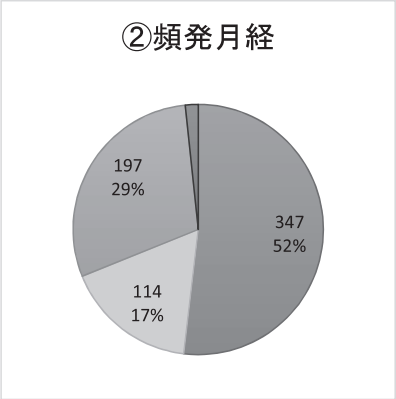
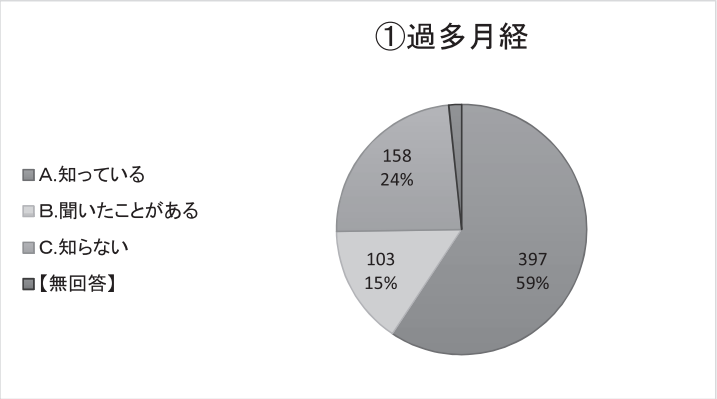
〈中間管理職〉

	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%		
① 過多月経	281	27.3	247	24	470	45.7	30	2.9	1,028	100
② 頻発月経	246	23.9	251	24.4	499	48.5	32	3.1	1,028	100
③ 月経痛	659	64.1	275	26.8	75	7.3	19	1.8	1,028	100
④ 月経困難症	233	22.7	200	19.5	559	54.4	36	3.5	1,028	100
⑤ 月経前症候群	223	21.7	172	16.7	601	58.5	32	3.1	1,028	100



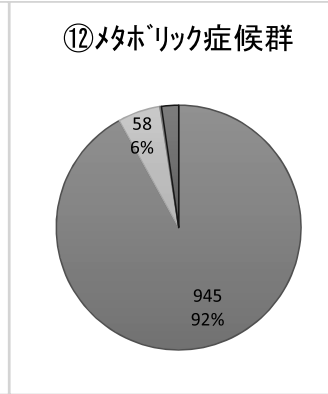
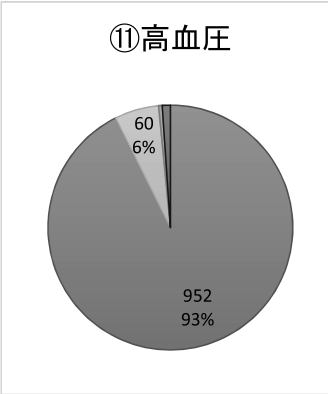
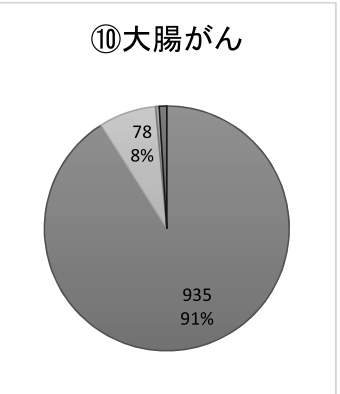
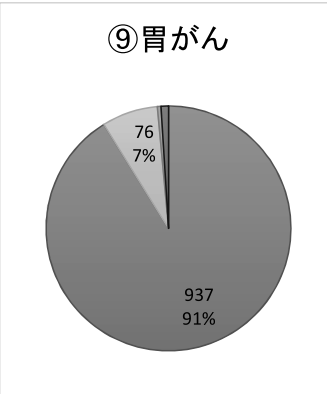
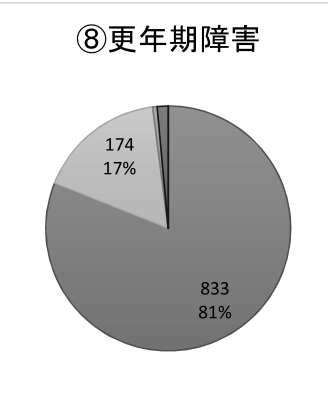
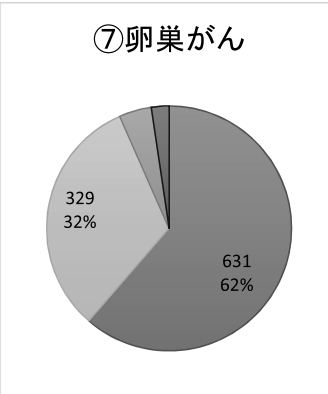
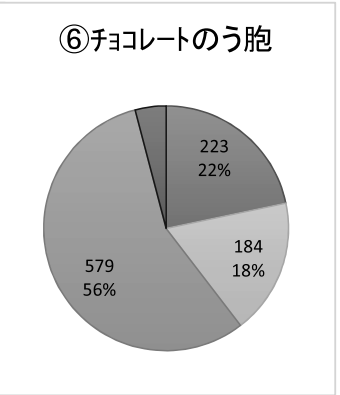
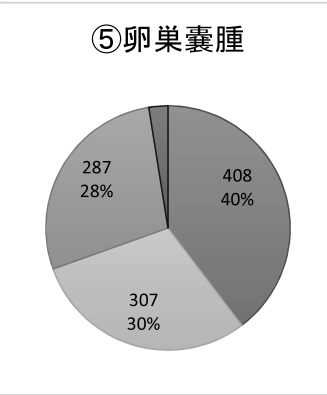
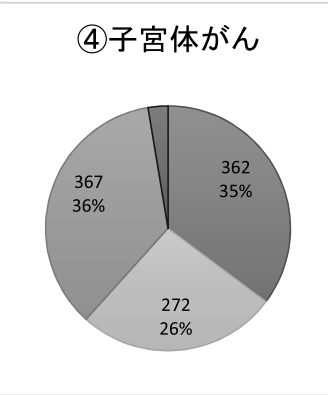
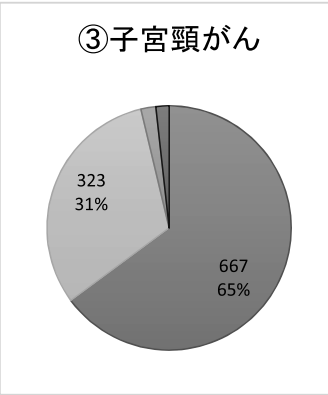
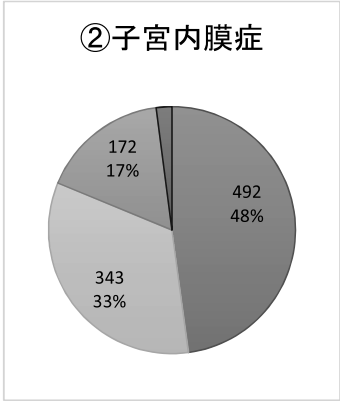
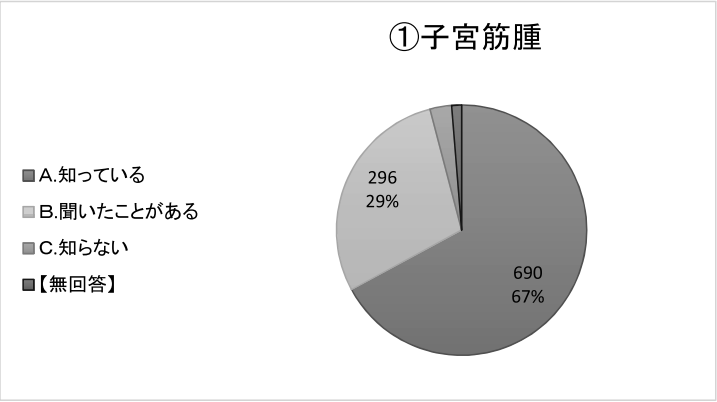
〈一般職〉

	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	一般職	%	一般職	%	一般職	%	一般職	%		
① 過多月経	397	59.3	103	15.4	158	23.6	11	1.6	669	100
② 頻発月経	347	51.9	114	17	197	29.4	11	1.6	669	100
③ 月経痛	562	84	72	10.8	29	4.3	6	0.9	669	100
④ 月経困難症	374	55.9	101	15.1	184	27.5	10	1.5	669	100
⑤ 月経前症候群	428	64	78	11.7	155	23.2	8	1.2	669	100



質問8：次の疾患について、知っている項目を教えてください。

〈中間管理職〉										
	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%	中間管理職・管理職	%		
① 子宮筋腫	690	67.1	296	28.8	29	2.8	13	1.3	1,028	100
② 子宮内膜症	492	47.9	343	33.4	172	16.7	21	2	1,028	100
③ 子宮頸がん	667	64.9	323	31.4	20	1.9	18	1.8	1,028	100
④ 子宮体がん	362	35.2	272	26.5	367	35.7	27	2.6	1,028	100
⑤ 卵巣嚢腫	408	39.7	307	29.9	287	27.9	26	2.5	1,028	100
⑥ チョコレートのう胞	223	21.7	184	17.9	579	56.3	42	4.1	1,028	100
⑦ 卵巣がん	631	61.4	329	32	44	4.3	24	2.3	1,028	100
⑧ 更年期障害	833	81	174	16.9	6	0.6	15	1.5	1,028	100
⑨ 胃がん	937	91.1	76	7.4	5	0.5	10	1	1,028	100
⑩ 大腸がん	935	91	78	7.6	5	0.5	10	1	1,028	100
⑪ 高血圧	952	92.6	60	5.8	5	0.5	11	1.1	1,028	100
⑫ メタボリック症候群	945	91.9	58	5.6	2	0.2	23	2.2	1,028	100

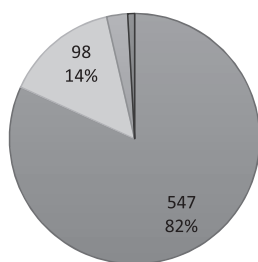


〈一般職〉

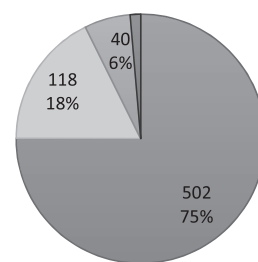
	A. 知っている		B. 聞いたことがある		C. 知らない		【無回答】		計	%
	一般職	%	一般職	%	一般職	%	一般職	%		
① 子宮筋腫	547	81.8	98	14.6	18	2.7	6	0.9	669	100
② 子宮内膜症	502	75	118	17.6	40	6	9	1.3	669	100
③ 子宮頸がん	548	81.9	105	15.7	11	1.6	5	0.7	669	100
④ 子宮体がん	455	68	94	14.1	114	17	6	0.9	669	100
⑤ 卵巣嚢腫	437	65.3	124	18.5	93	13.9	15	2.2	669	100
⑥ チョコレートのう胞	344	51.4	131	19.6	176	26.3	18	2.7	669	100
⑦ 卵巣がん	537	80.3	105	15.7	17	2.5	10	1.5	669	100
⑧ 更年期障害	600	89.7	60	9	2	0.3	7	1	669	100
⑨ 胃がん	622	93	42	6.3	0	0	5	0.7	669	100
⑩ 大腸がん	624	93.3	39	5.8	0	0	6	0.9	669	100
⑪ 高血圧	629	94	33	4.9	0	0	7	1	669	100
⑫ メタボリック症候群	616	92.1	31	4.6	0	0	22	3.3	669	100

①子宮筋腫

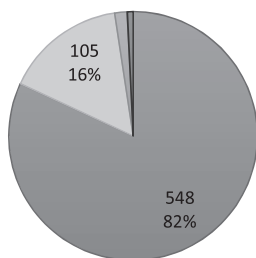
■ A.知っている
■ B.聞いたことがある
■ C.知らない
■ 【無回答】



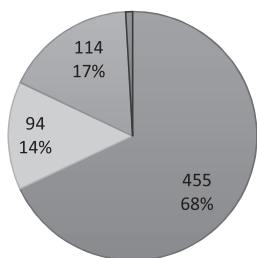
②子宮内膜症



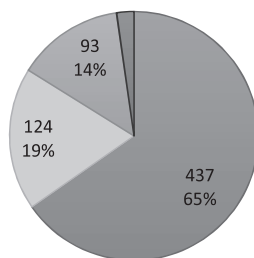
③子宮頸がん



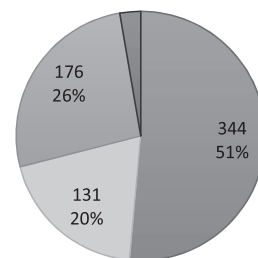
④子宮体がん



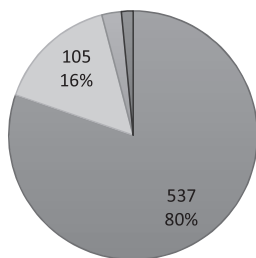
⑤卵巣嚢胞



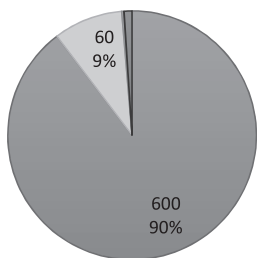
⑥チョコレートのう胞



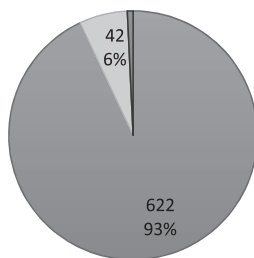
⑦卵巣がん



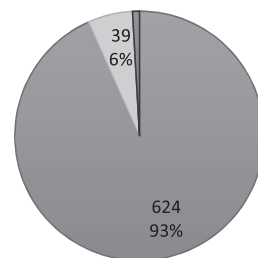
⑧更年期障害

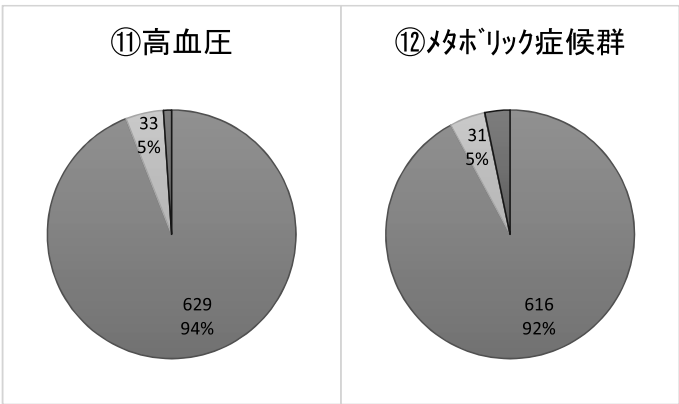


⑨胃がん



⑩大腸がん



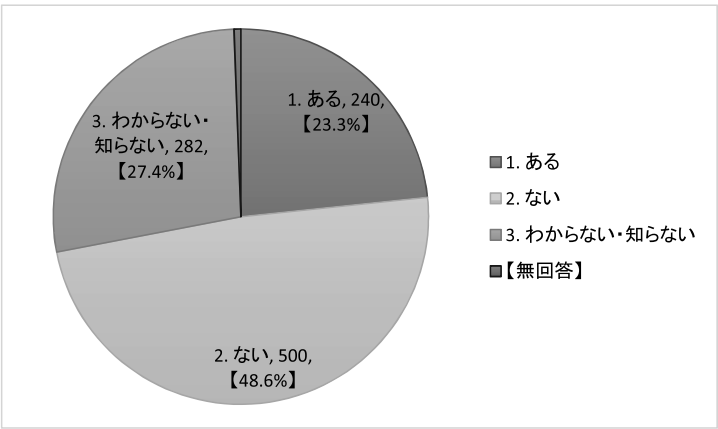


質問9：あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で、休暇を請求されたことがありますか？-----

1. ある 2. ない 3. わからない・知らない

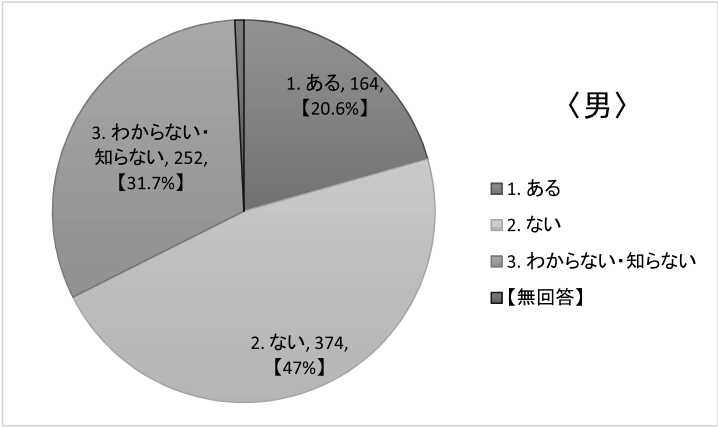
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. ある	240	23.3
2. ない	500	48.6
3. わからない・知らない	282	27.4
【無回答】	6	0.6
計	1,028	100



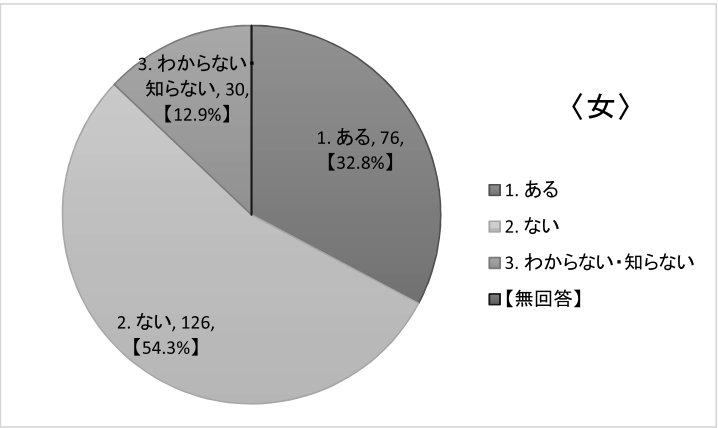
〈中間管理職一男〉

	集計数	%
1. ある	164	20.6
2. ない	374	47
3. わからない・知らない	252	31.7
【無回答】	6	0.8
計	796	100



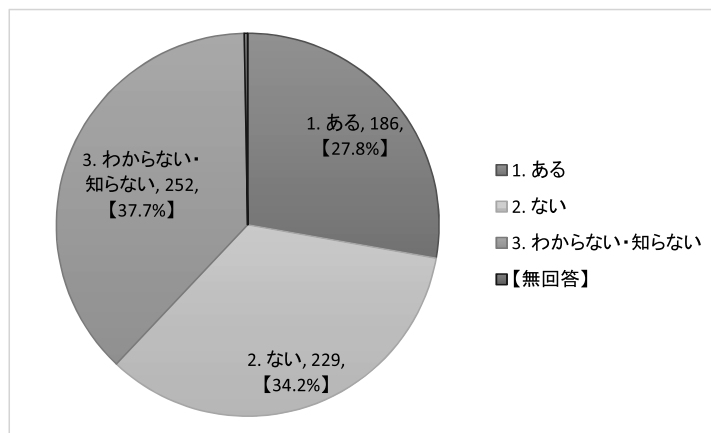
〈中間管理職一女〉

	集計数	%
1. ある	76	32.8
2. ない	126	54.3
3. わからない・知らない	30	12.9
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. ある	186	27.8
2. ない	229	34.2
3. わからない・知らない	252	37.7
【無回答】	2	0.3
計	669	100

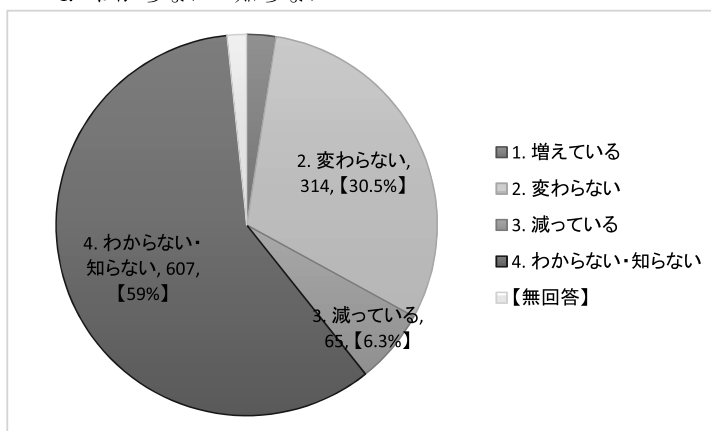


質問10：あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で休暇を請求される女性の数が？-----

1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている 4. わからない・知らない

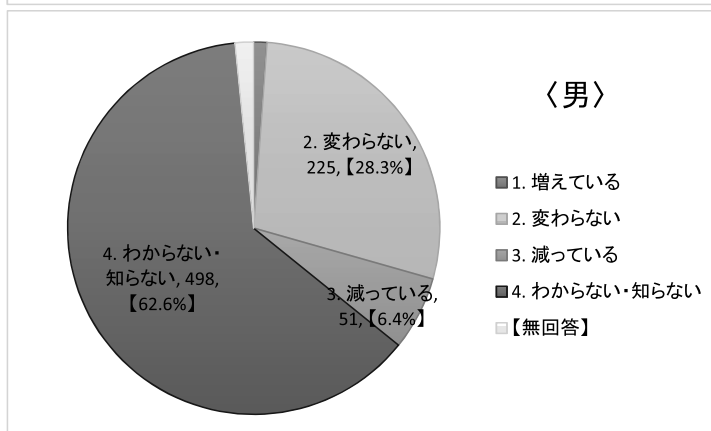
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 増えている	25	2.4
2. 変わらない	314	30.5
3. 減っている	65	6.3
4. わからない・知らない	607	59
【無回答】	17	1.7
計	1,028	100



〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. 増えている	9	1.1
2. 変わらない	225	28.3
3. 減っている	51	6.4
4. わからない・知らない	498	62.6
【無回答】	13	1.6
計	796	100

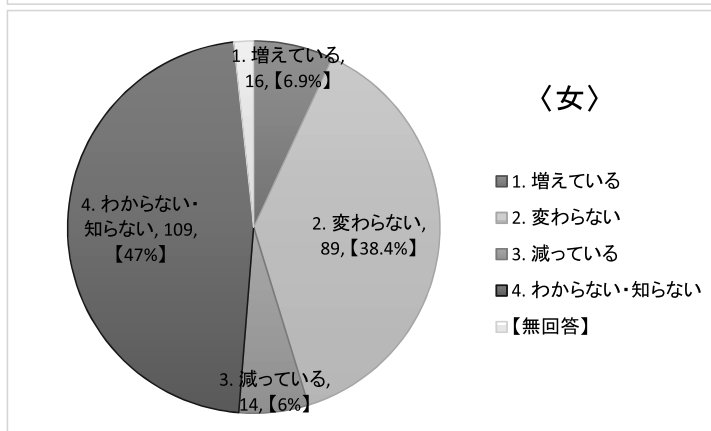


〈男〉

- 1. 増えている
■ 2. 変わらない
■ 3. 減っている
■ 4. わからない・知らない
■ 【無回答】

〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. 増えている	16	6.9
2. 変わらない	89	38.4
3. 減っている	14	6
4. わからない・知らない	109	47
【無回答】	4	1.7
計	232	100

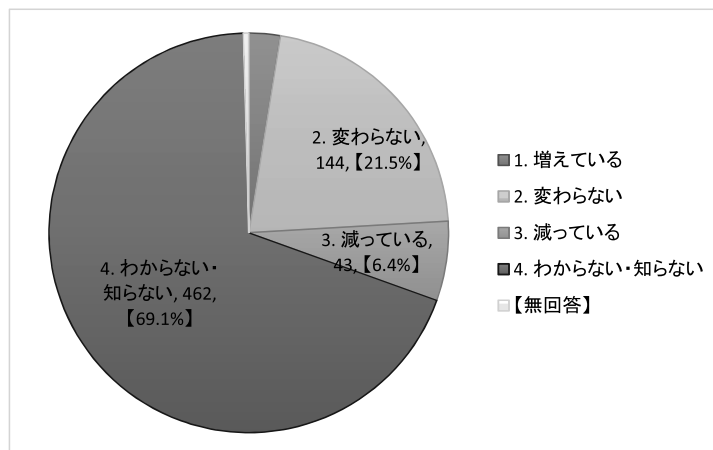


〈女〉

- 1. 増えている
■ 2. 変わらない
■ 3. 減っている
■ 4. わからない・知らない
■ 【無回答】

〈一般職〉

	集計数	%
1. 増えている	17	2.5
2. 変わらない	144	21.5
3. 減っている	43	6.4
4. わからない・知らない	462	69.1
【無回答】	3	0.4
計	669	100

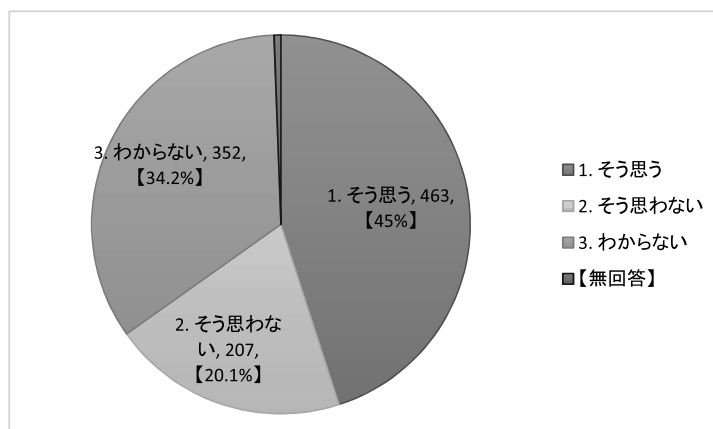


質問11：あなたの職場は、月経痛など月経に関連した症状で休暇が取りやすい職場ですか？-----

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

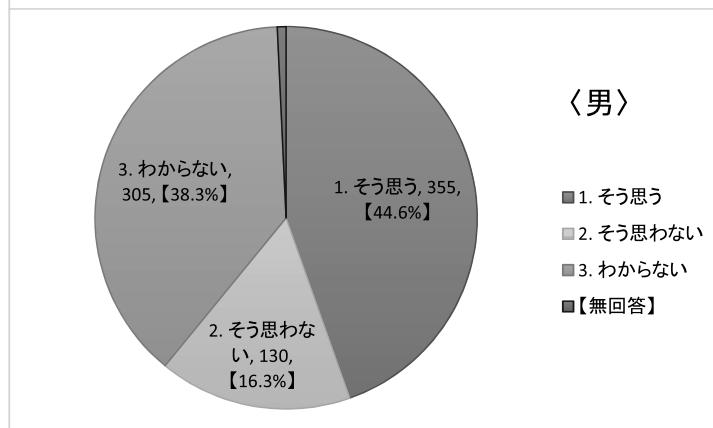
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. そう思う	463	45
2. そう思わない	207	20.1
3. わからない	352	34.2
【無回答】	6	0.6
計	1,028	100



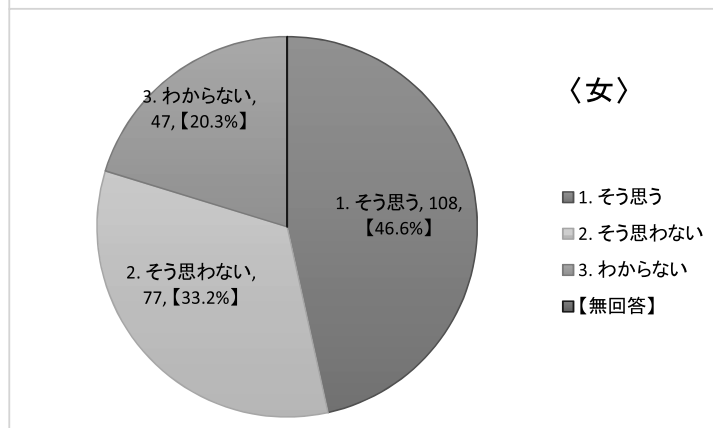
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. そう思う	355	44.6
2. そう思わない	130	16.3
3. わからない	305	38.3
【無回答】	6	0.8
計	796	100



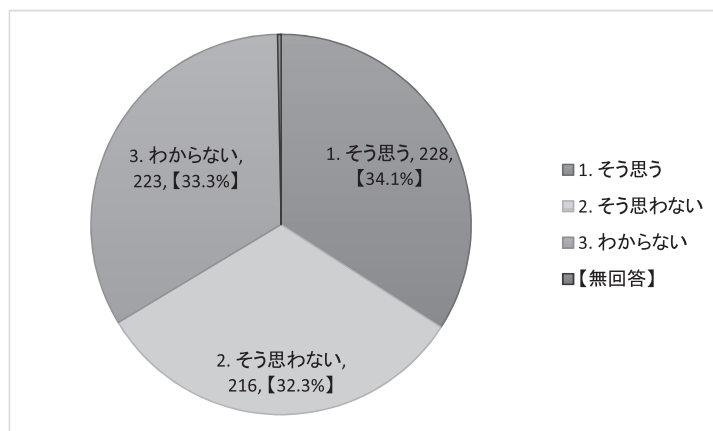
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. そう思う	108	46.6
2. そう思わない	77	33.2
3. わからない	47	20.3
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. そう思う	228	34.1
2. そう思わない	216	32.3
3. わからない	223	33.3
【無回答】	2	0.3
計	669	100

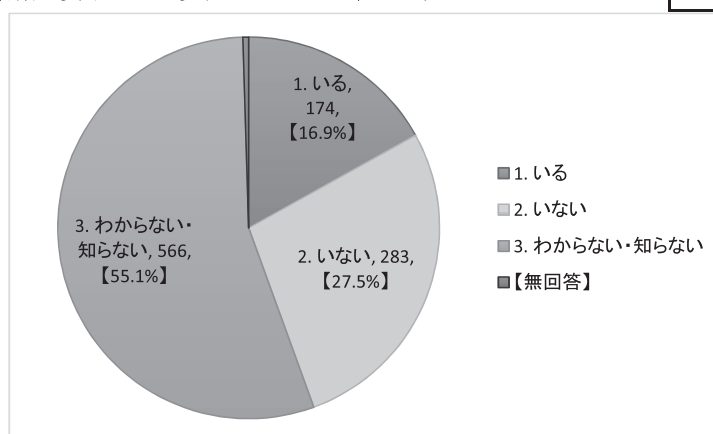


質問12：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？-----

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

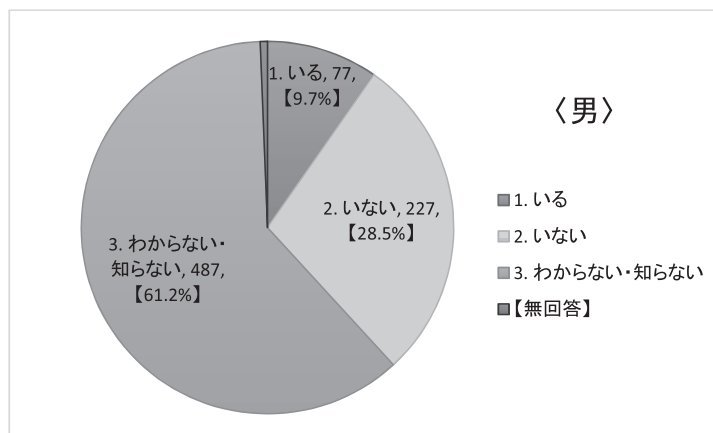
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. いる	174	16.9
2. いない	283	27.5
3. わからない・知らない	566	55.1
【無回答】	5	0.5
計	1,028	100



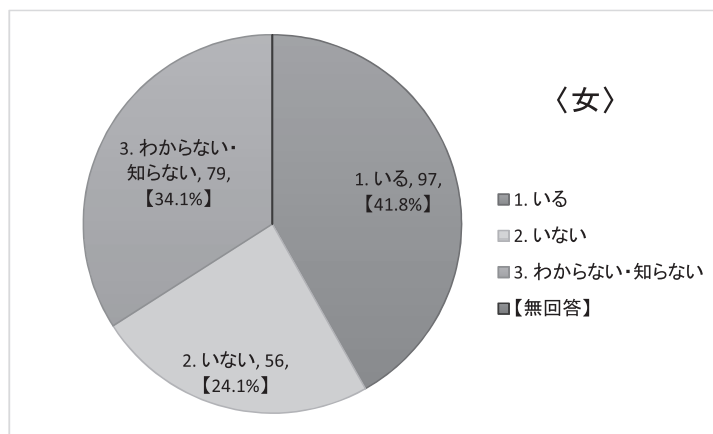
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. いる	77	9.7
2. いない	227	28.5
3. わからない・知らない	487	61.2
【無回答】	5	0.6
計	796	100



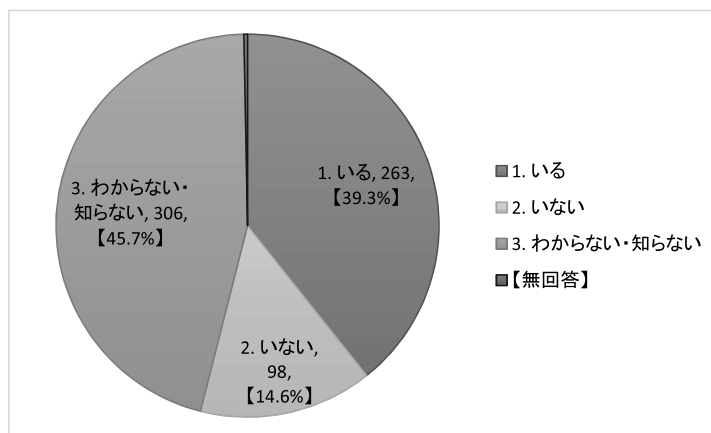
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. いる	97	41.8
2. いない	56	24.1
3. わからない・知らない	79	34.1
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. いる	263	39.3
2. いない	98	14.6
3. わからない・知らない	306	45.7
【無回答】	2	0.3
計	669	100

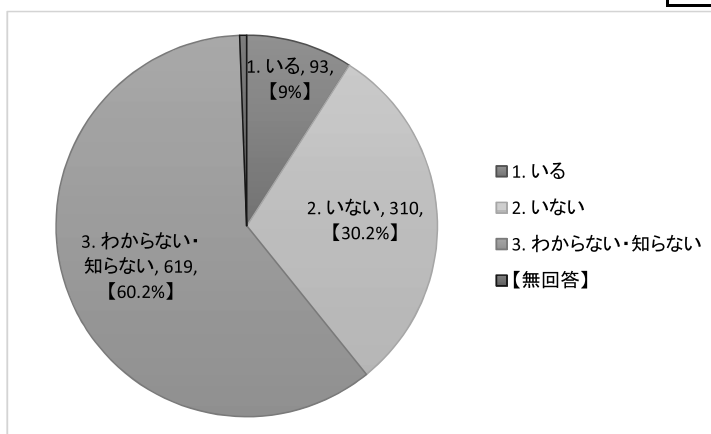


質問13：あなたの職場で、更年期障害で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？-----

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

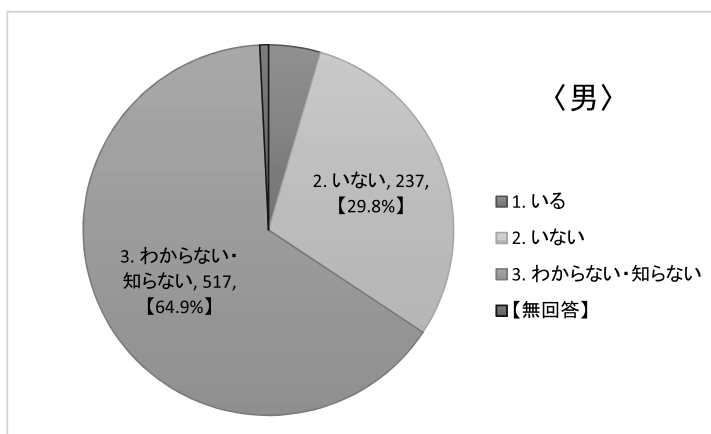
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. いる	93	9
2. いない	310	30.2
3. わからない・知らない	619	60.2
【無回答】	6	0.6
計	1,028	100



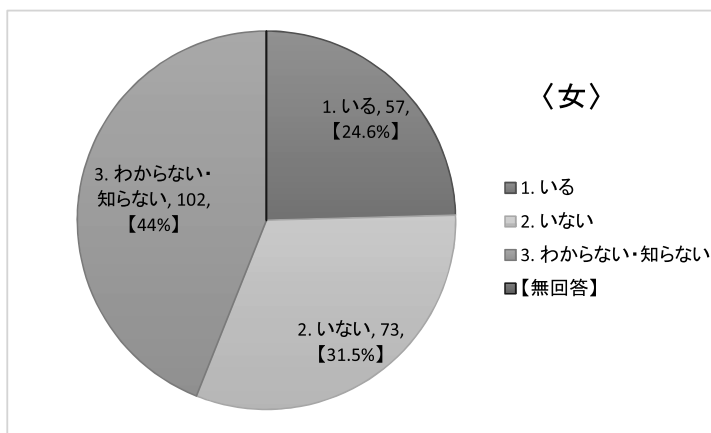
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. いる	36	4.5
2. いない	237	29.8
3. わからない・知らない	517	64.9
【無回答】	6	0.8
計	796	100



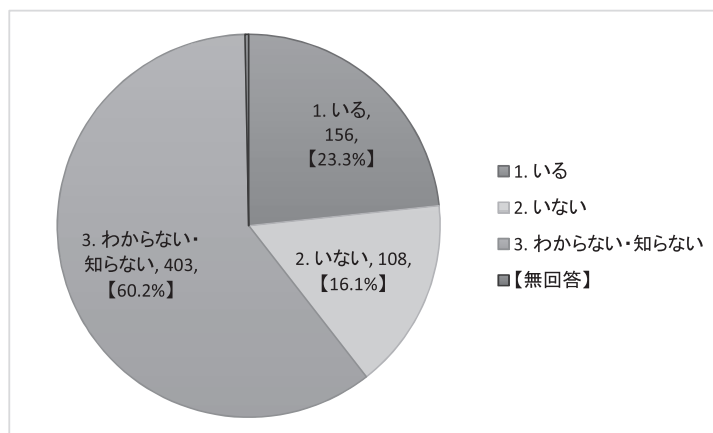
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. いる	57	24.6
2. いない	73	31.5
3. わからない・知らない	102	44
【無回答】	0	0
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. いる	156	23.3
2. いない	108	16.1
3. わからない・知らない	403	60.2
【無回答】	2	0.3
計	669	100

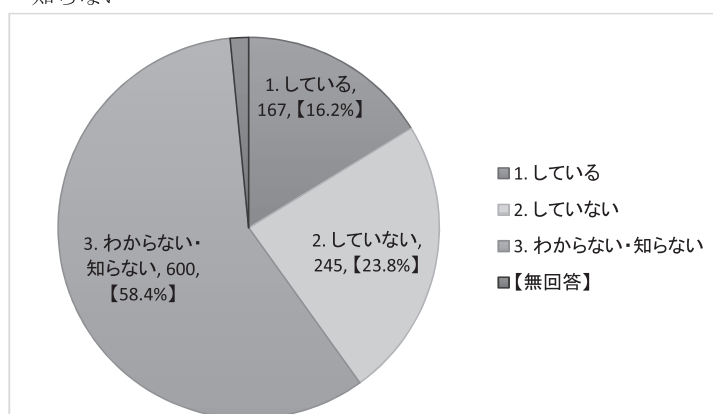


質問14：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などで婦人科外来を受診されている女性に、何か配慮をしていらっしゃいますか？

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

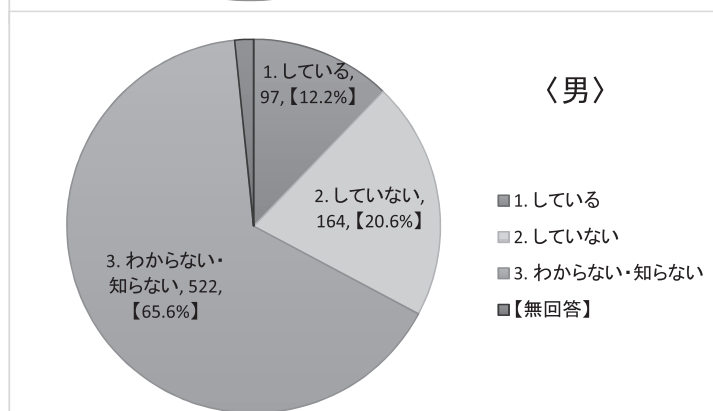
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. している	167	16.2
2. していない	245	23.8
3. わからない・知らない	600	58.4
【無回答】	16	1.6
計	1,028	100



〈中間管理職—男〉

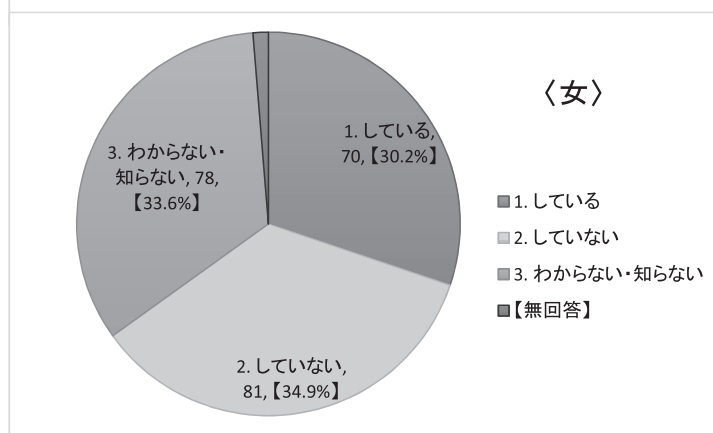
	集計数	%
1. している	97	12.2
2. していない	164	20.6
3. わからない・知らない	522	65.6
【無回答】	13	1.6
計	796	100



〈男〉

〈中間管理職—女〉

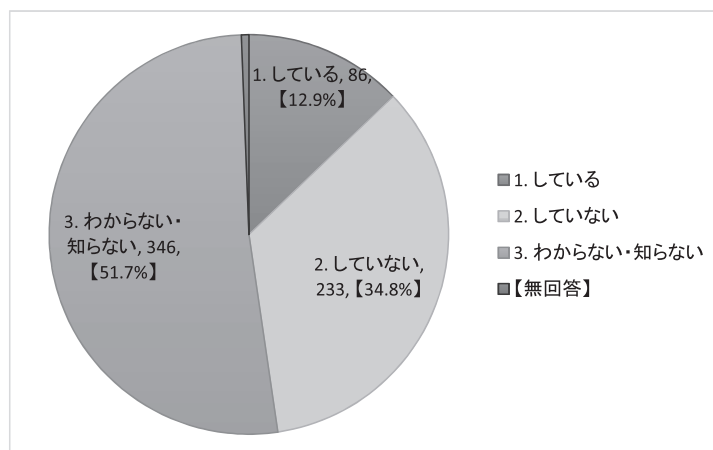
	集計数	%
1. している	70	30.2
2. していない	81	34.9
3. わからない・知らない	78	33.6
【無回答】	3	1.3
計	232	100



〈女〉

〈一般職〉

	集計数	%
1. している	86	12.9
2. していない	233	34.8
3. わからない・知らない	346	51.7
【無回答】	4	0.6
計	669	100

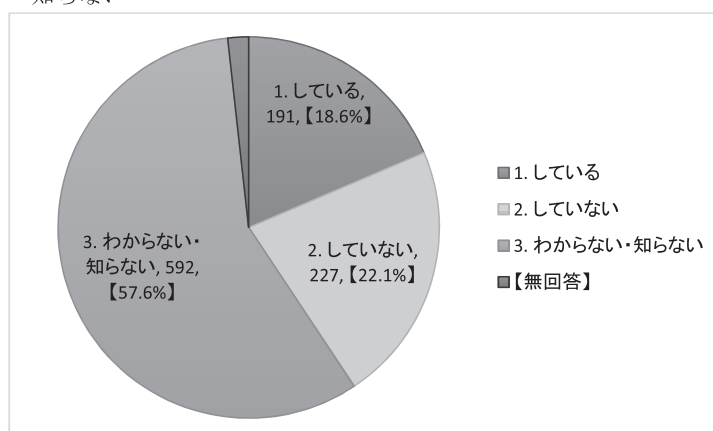


質問15：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、何か配慮をしていच्छやいますか？---

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

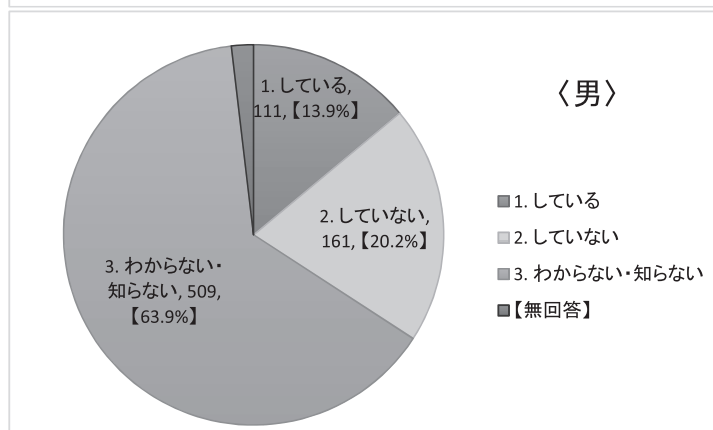
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. している	191	18.6
2. していない	227	22.1
3. わからない・知らない	592	57.6
【無回答】	18	1.8
計	1,028	100



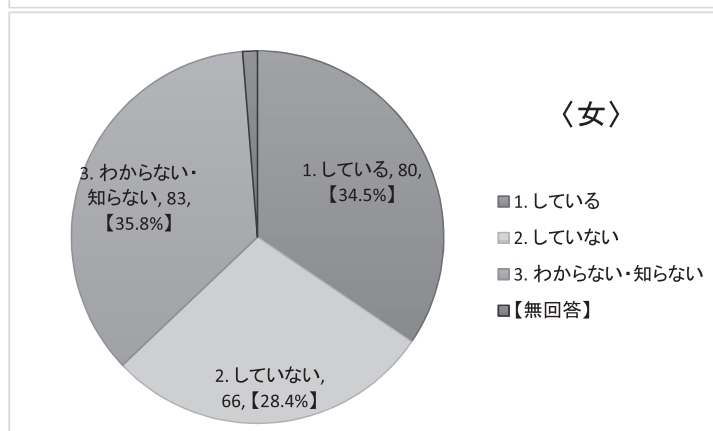
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. している	111	13.9
2. していない	161	20.2
3. わからない・知らない	509	63.9
【無回答】	15	1.9
計	796	100



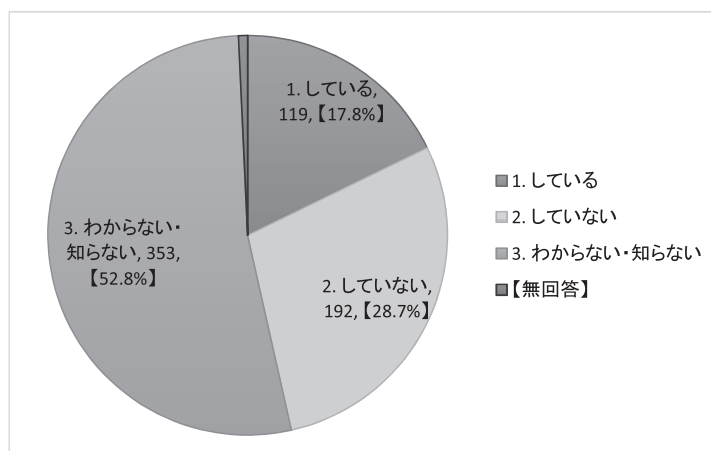
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. している	80	34.5
2. していない	66	28.4
3. わからない・知らない	83	35.8
【無回答】	3	1.3
計	232	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. している	119	17.8
2. していない	192	28.7
3. わからない・知らない	353	52.8
【無回答】	5	0.7
計	669	100



質問16：病気で約1ヶ月間の休職が必要と女性があなたに報告した時、考慮するもっとも重要な因子は何ですか？

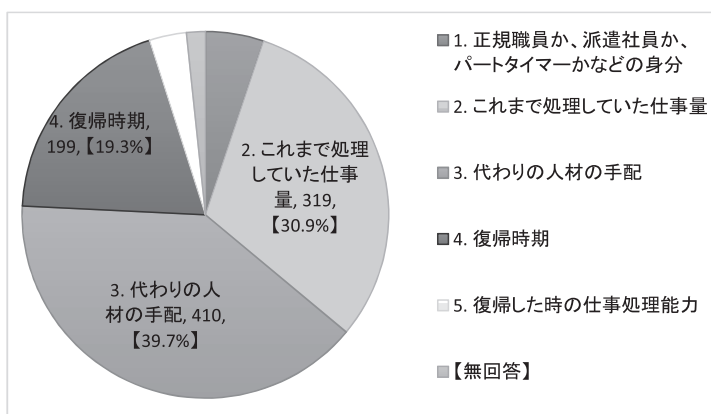
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分
4. 復帰時期

2. これまで処理していた仕事量

3. 代わりの人材の手配

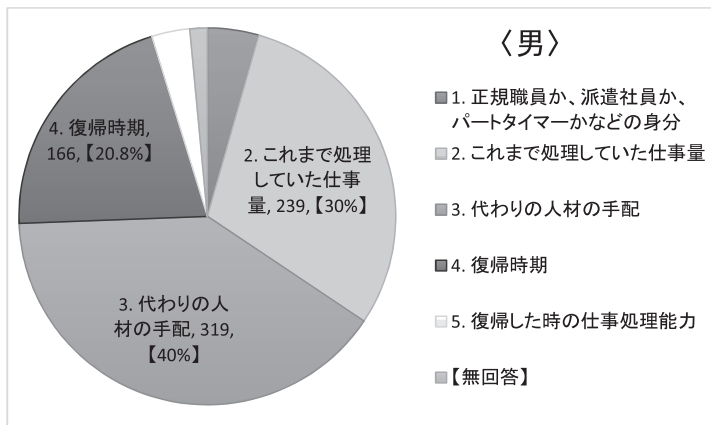
〈中間管理職〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	53	5.1
2. これまで処理していた仕事量	319	30.9
3. 代わりの人材の手配	410	39.7
4. 復帰時期	199	19.3
5. 復帰した時の仕事処理能力	34	3.3
【無回答】	17	1.6
計	1,032	100



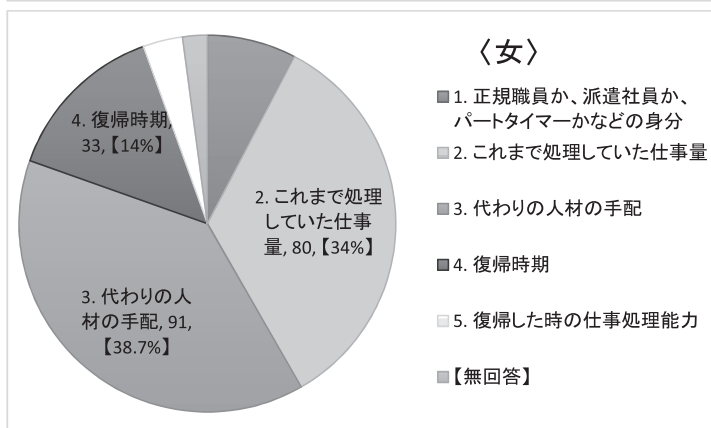
〈中間管理職—男〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	35	4.4
2. これまで処理していた仕事量	239	30
3. 代わりの人材の手配	319	40
4. 復帰時期	166	20.8
5. 復帰した時の仕事処理能力	26	3.3
【無回答】	12	1.5
計	797	100



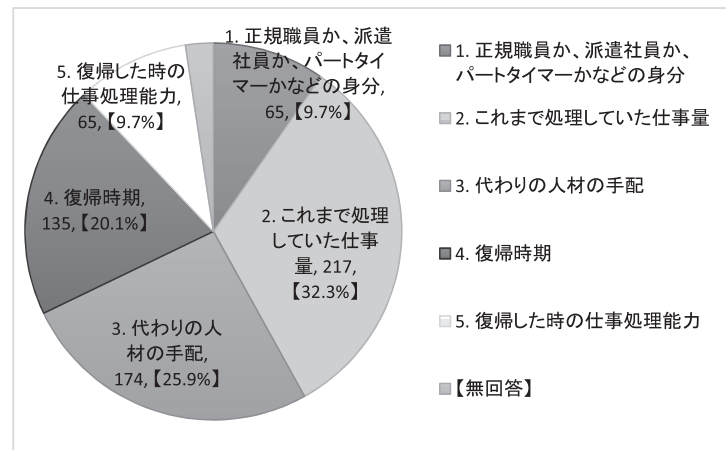
〈中間管理職—女〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	18	7.7
2. これまで処理していた仕事量	80	34
3. 代わりの人材の手配	91	38.7
4. 復帰時期	33	14
5. 復帰した時の仕事処理能力	8	3.4
【無回答】	5	2.1
計	235	100



〈一般職〉

	集計数	%
1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーなどの身分	65	9.7
2. これまで処理していた仕事量	217	32.3
3. 代わりの人材の手配	174	25.9
4. 復帰時期	135	20.1
5. 復帰した時の仕事処理能力	65	9.7
【無回答】	16	2.4
計	672	100



質問17：子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、復職に際して望まれることは何ですか？

〈中間管理職〉

	集計数	%
回答有	597	58.1
【無回答】	431	41.9
計	1,028	100

〈一般職〉

	集計数	%
回答有	337	50.4
【無回答】	332	49.6
計	669	100

⑤-B

「企業の間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ」回収結果

【全国産業保健総合支援センター】

	産保	入力日	入力枚数
1	北海道		
2	青森		
3	岩手	9/29	24
4	宮城	7/25	7
		8/18	22
		9/5	3
		9/20	4
			36
5	秋田	12/6	9
6	山形	10/3	49
7	福島	10/4	34
8	茨城	8/1	46
9	栃木	7/28	41
10	群馬	9/5	48
11	埼玉	7/11	30
12	千葉		
13	東京	9/12	37
14	神奈川		
15	新潟	9/20	38
16	富山		
17	石川	10/4	19
18	福井	8/26	28
19	山梨	10/11	27
20	長野		
21	岐阜	8/26	46
22	静岡		
23	愛知	9/7	49
24	三重	9/29	50
25	滋賀	9/29	46
26	京都	9/26	23
27	大阪	9/23	36
28	兵庫	12/2	1
29	奈良	9/12	32
30	和歌山	9/26	39
31	鳥取	7/29	48
32	島根	12/22	6
33	岡山	10/5	6
34	広島	10/4	30
35	山口		
36	徳島	9/26	27
37	香川	9/5	47
38	愛媛	10/3	28
39	高知	9/20	29
40	福岡	8/1	40
41	佐賀	9/5	48
42	長崎		
43	熊本	9/23	40
44	大分	12/6	35
45	宮崎	12/6	3
46	鹿児島	10/7	40
47	沖縄	9/23	43
	計		1,258

【企業・関係者】

入力日	入力枚数
6/29	20
6/30	12
7/6	21
7/25	4
7/29	13
8/4	200
8/9	5
8/12	88
8/22	8
8/25	12
9/8	39
10/3	20
10/11	10
計	452

入力枚数合計

1,710

⑤-C

一般女性(職場や自治会)の皆様へのアンケート調査手順

アンケート配布

1・アンケート調査の実施

◎アンケートの配布。

アンケート調査への協力は自由意志です。

回答後、それぞれ封筒の封をして下さい。



アンケート回収

2・アンケートの回収

9月末を目途に回収期限を設け、10月上旬頃に愛媛労災病院 研究事務局まで郵送して下さい。同封しております送付用の伝票(着払)で返送して下さい。



愛媛労災病院へ送付

3・その他

御不明な点がございましたら 下記まで御連絡下さいますよう、よろしくお願い致します。

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
愛媛労災病院 厚生労働省労災疾病臨床研究事務局
Tel : 0897-33-6191 Fax : 0897-33-6169

【担当者】

医事課長	久保 近敏	ijikachou@ehimerosai.jp
事務担当員	大角 尚子	

中間管理職・衛生管理スタッフの皆様への アンケート調査手順

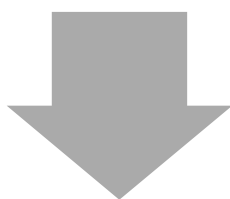
アンケート配布

1・アンケート調査の実施

◎アンケートの配布。

アンケート調査への協力は自由意志です。

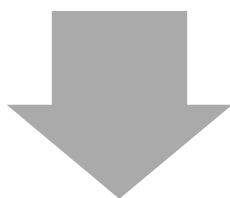
回答後、それぞれ封筒の封をして下さい。



アンケート回収

2・アンケートの回収

9月末を目途に回収期限を設け、10月上旬頃に
愛媛労災病院 研究事務局まで郵送して下さい。
同封しております送付用の伝票（着払）で返送し
て下さい。



愛媛労災病院へ送付

3・その他

御不明な点がございましたら 下記まで御連絡
下さいますよう、よろしくお願い致します。

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
愛媛労災病院 厚生労働省労災疾病臨床研究事務局
Tel : 0897-33-6191 Fax : 0897-33-6169

【担当者】

医事課長	久保 近敏	ijikachou@ehimerosai.jp
事務担当員	大角 尚子	

⑤-D

企業の間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の
両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）への
ご協力のお願い

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解することが重要な課題です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加えることは有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの事例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかとし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

貴方の現在の状態や就労状態などを、ありのままにお答えください。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。
また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することに繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。たとえ、研究に参加されなくても、いかなる不利益もございません。どうぞ、ご安心ください。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院を初めとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013 年に行われた調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は 6828 億円、そのうち 72%（約 4916 億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

質問 1：あなたの年齢をお教えてください。----- 歳

質問 2：あなたの性別についてお教えてください。-----

1. 男性 2. 女性

質問 3：あなたの会社について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

- | | | |
|---------------------------------|----------------|---------|
| 1. 農林水産業 | 2. 商業 | 3. 運輸業 |
| 4. 飲食業 | 5. 製造業 | 6. 医療 |
| 7. 介護・福祉 | 8. コンピュータ関連、情報 | 9. 美容 |
| 10. 金融 | 11. 教育 | 12. 官公庁 |
| 13. その他（ ） | | |

質問 4：あなたの会社の規模について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。--

- | | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. 従業員 50 人以下 | 2. 51～100 人 | 3. 101～200 人 |
| 4. 201～300 人 | 5. 301～400 人 | 6. 401～500 人 |
| 7. 501 人以上 | | |

質問 5：あなたの職位について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。-----

1. 一般職 2. 中間管理職 3. 管理職

質問 6：あなたは衛生管理スタッフですか？-----

1. はい 2. いいえ

質問 7：月経に関連した症状で、知っている項目を教えてください。

- | | | | |
|----------|-----------|--------------|----------|
| ① 過多月経 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ② 頻発月経 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ③ 月経痛 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ④ 月経困難症 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |
| ⑤ 月経前症候群 | () 知っている | () 聞いたことがある | () 知らない |

質問 8：次の疾患について、知っている項目を教えてください。

- ① 子宮筋腫 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ② 子宮内膜症 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ③ 子宮頸がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ④ 子宮体がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑤ 卵巣嚢腫 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑥ チョコレートのう胞 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑦ 卵巣がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑧ 更年期障害 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑨ 胃がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑩ 大腸がん () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑪ 高血圧 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない
- ⑫ メタボリック症候群 () 知っている () 聞いたことがある () 知らない

質問 9：あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で、休暇を請求されたことがありますか？-----

1. ある 2. ない 3. わからない・知らない

質問 10：あなたの職場で、月経痛など月経に関連した症状で休暇を請求される女性の数が？

1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている 4. わからない・知らない

質問 11：あなたの職場は、月経痛など月経に関連した症状で休暇が取りやすい職場ですか？

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

質問 12：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？-----

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

質問 13：あなたの職場で、更年期障害で治療を受けている女性がいらっしゃいますか？

.....

1. いる 2. いない 3. わからない・知らない

質問 14：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などで婦人科外来を受診されている女性に、何か配慮をされていますか？.....

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

質問 15：あなたの職場で、子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、何か配慮をされていますか？.....

1. している 2. していない 3. わからない・知らない

質問 16：病気で約1ヶ月間の休職が必要と女性があなたに報告した時、考慮するもっとも重要な因子は何ですか？.....

1. 正規職員か、派遣社員か、パートタイマーかなどの身分
2. これまで処理していた仕事量
3. 代わりの人材の手配
4. 復帰時期
5. 復帰した時の仕事処理能力

質問 17：子宮筋腫や子宮内膜症で手術を受ける女性に、復職に際して望まれることは何か？

(.....)

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

⑥労働者健康安全機構従業員へのアンケート調査（２回目）※
（労災病院で働いている皆様へ）

労災病院に勤める女性の２年間での変化

はじめに

子宮筋腫や子宮内膜症、子宮頸癌などの女性特有の疾患が働く女性の健康や労働意欲に影響を及ぼし、職場の人間関係にも影響を及ぼすことが明らかとなってきた。そこで、今回は全国の労災病院で働いている女性を対象にすることにより職場の条件を一定に保ち、２年間にわたる働く女性の健康状態の変化を観察することとした。

対象

愛媛労災病院および労働者健康福祉機構（現労働者健康安全機構）の倫理委員会の承認を得て、2015 年 6 月に全国の労災病院で働く女性に質問用紙を配布した。質問に答えた女性 3,023 名を対象に、その２年後の 2017 年 6 月にもう一度同じ質問用紙を配布し、２年間にわたる働く女性の健康状態の変化を観察することとした。3,023 名中２年前に夜間勤務に従事していたのは 1,706 名 (56.7%) であったが、２年後は 1,662 名 (55.2%) であり、夜間勤務に従事する女性は減少傾向にあった。

結果

(1) 「現在感じている不安や不調」

２年前と２年後の訴えの種類と頻度に有意差を認めなかったが、増加したのは更年期障害 (191 名 6.5% から 234 名 8.0% へ) と不妊 (76 名 2.6% から 109 名 3.7% へ) であり、減少したのは月経痛・月経過多 (372 名 12.7% から 334 名 11.4% へ) と特になし (711 名 24.3% から 681 名 23.1% へ) であった。

(2) 「月経痛で医療機関受診の経験」

２年前と２年後で医療機関を受診した女性は、(368 名 13.8% から 512 名 17.2% へ) と増加した。２年間で増加した疾患は子宮内膜症 (85 名から 125 名 へ)、子宮筋腫 (84 名から 108 名 へ) であった。なお、これらの増加は統計学的に有意の変化ではなかった。

(3) 「更年期障害で医療機関受診の経験」

この２年間で医療機関を受診した女性は、(139 名 4.8% から 172 名 5.8% へ) と増加した。なお、これらの変化は統計学的に有意の変化ではなかった。

(4) 「過去１ヶ月間でいつもの仕事が身体的理由で妨げられたか？」

「全然妨げられなかった」が (1,389 名 46.3% から 1,228 名 41.0% へ) と減少し、「わずかに妨げられた」が (920 名 30.6% から 998 名 33.3% へ) と増加し、「少し妨げられた」も (528 名 17.6% から 600 名 20.0% へ) と増加した。なお、これらの変化は統計学的に有意の変化ではなかった。

(5) 「過去１ヶ月間でいつもの活動が心理的理由で妨げられたか？」

「全然妨げられなかった」が (1,134 名 37.6% から 1,089 名 36.4% へ) と減少し、「わずかに妨げられた」が (1,002 名 33.3% から 1,048 名 35.0% へ) と増加し、「かなり妨げられた」も (206 名 6.8% から 230 名 7.7% へ) と増加した。なお、これらの変化は統計学的に有意の変化ではなかった。

(6) 「体重」

40～49Kg が (956 名 32.3% から 937 名 31.5% へ) と減少し、60～69Kg が (441 名 14.9% か

ら 464 名 15.6%へ)と増加し、70Kg 以上も(142 名 4.8%から 168 名 5.7%へ)と増加した。
 なお、これらの変化は統計学的に有意の変化ではなかった。

表 1 病院・医院などの医療機関を受診したことがありますか？

	月経痛・月経過多				更年期障害			
	1 回目		2 回目		1 回目		2 回目	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ある	368	13.8	512	17.2	139	4.8	172	5.8
ない	2,302	86.2	2,460	82.8	2,751	95.2	2,785	94.2
計	2,670	100.0	2,972	100.0	2,890	100.0	2,957	100.0

表 2 体重の変化

	1 回目		2 回目	
	人数	%	人数	%
40Kg 以下	30	1.0	20	0.7
40～49Kg	956	32.3	937	31.5
50～59Kg	1,390	47.0	1,381	46.5
60～69Kg	441	14.9	464	15.6
70Kg 以上	142	4.8	168	5.7
計	2,959	100.0	2,970	100.0

考察

2 年の経過を経て同じ質問を繰り返して行ない、更年期障害と不妊症が増え、月経痛・月経過多が減少した。月経痛・月経過多を訴えたのは 372 名から 334 名へと減少したものの、産婦人科を受診した従業員は 368 名から 512 名へと増加し、子宮内膜症あるいは子宮筋腫と診断された女性が増加した。これらの変化は、2 年前の答えを覚えていなくて回答に一貫性がなくなっていた、あるいは 2 年前には回答を保留した女性が 2 年後には答えたことから対象集団の構成が変わってしまった、などの原因が考えられる。ところで、2 年前の回答を基に看護師だけを対象に検討を加えた検索結果では、夜間勤務有り群 2,500 名は夜間勤務無し群 1,073 名に比較して、月経痛・月経過多の出現頻度が高く、また月経関連症状の出現率も高値であった（日本職業・災害医学会会誌 66:221-226, 2018）。夜間勤務有り群では月経痛の出現頻度ばかりでなく、月経痛の重症度も強く、鎮痛剤の服用率も高頻度であった。これらの検討結果を総合すると、今回の検討対象では 2 年後に夜間勤務に従事している女性が減少傾向を示したことから、月経痛・月経過多を訴えた女性が減少した可能性も考えられる。また、今回の検討結果から、2 年間に更年期障害や不妊症、子宮内膜症、子宮筋腫が増加した傾向があると推測したが、これは経年変化として納得できるものであると考えられる。

2 年間の経過で体重が増加傾向を示した。これは勤務持続期間と BMI との間には正の相関関係を観察したこれまでの検討結果（日本職業・災害医学会会誌 60:348-352, 2012）と一致するものであった。

今回の 2 年間にわたる観察結果からはどの質問においても有意の変化を観察することができなかったが、その原因として 2 年間の観察期間が短かった、あるいは前回の回答を失念していることにより 2 年間の前後での回答に一貫性がなくなったことなどが考えられた。

※労働者健康安全機構従業員へのアンケート調査は 2 年間の経年変化を調査する研究であり、同じアンケート調査を 2 回行う。その為、初回調査には 1 回目と示し、2 年後の追跡調査には 2 回目と示す。

⑥-A

1回目 2回目 統合 労災女性職員

質問1:あなたの年齢をお教え下さい。

集計総数 3,023

	1回目	%	2回目	%
20歳以下	0	0	0	0
20～29歳	639	21.1	561	18.6
30～39歳	767	25.4	724	23.9
40～49歳	980	32.4	994	32.9
50～59歳	576	19.1	678	22.4
60～69歳	44	1.5	60	2
70歳以上	0	0	0	0
【無回答】	17	0.6	6	0.2
計	3,023	100	3,023	100

質問2:あなたの職種についてお教え下さい。

	1回目	%	2回目	%
1.医師	40	1.3	39	1.3
2.看護師・看護助手	2,335	77.2	2,353	77.8
3.薬剤師	26	0.9	27	0.9
4.臨床検査技師	70	2.3	72	2.4
5.理学療法士・言語療法士・作業療法士	70	2.3	72	2.4
6.放射線技師	19	0.6	17	0.6
7.管理栄養士・栄養士	44	1.5	44	1.5
8.診療情報管理士	15	0.5	15	0.5
9.メディカルクラーク	58	1.9	46	1.5
10.事務職	215	7.1	222	7.3
11.その他(回答有)	76	2.5	78	2.6
11.その他(空白)	44	1.5	32	1.1
【無回答】	11	0.4	6	0.2
計	3,023	100	3,023	100

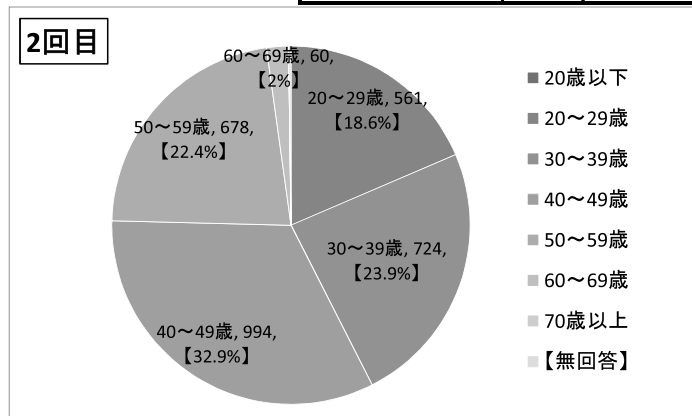
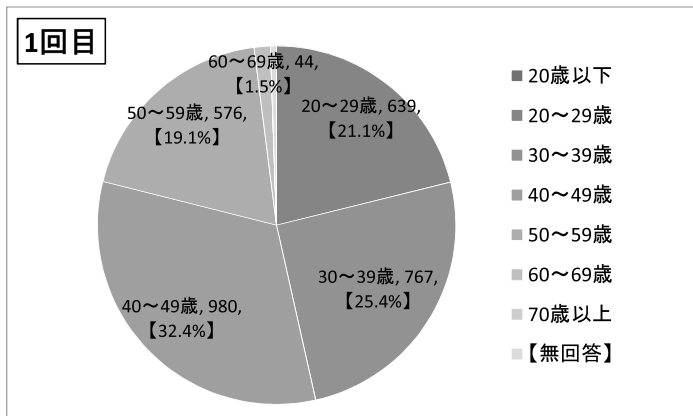
質問3:あなたの病院について、最もあてはまるものを1つ選んでください。

	1回目	%	2回目	%
1. 公称200床以下	155	5.1	216	7.1
2. 公称201～300床	472	15.6	544	18
3. 公称301～400床	888	29.4	775	25.6
4. 公称401～500床	523	17.3	569	18.8
5. 公称501～600床	358	11.8	320	10.6
6. 公称601床以上	557	18.4	543	18
【無回答】	70	2.3	56	1.9
計	3,023	100	3,023	100

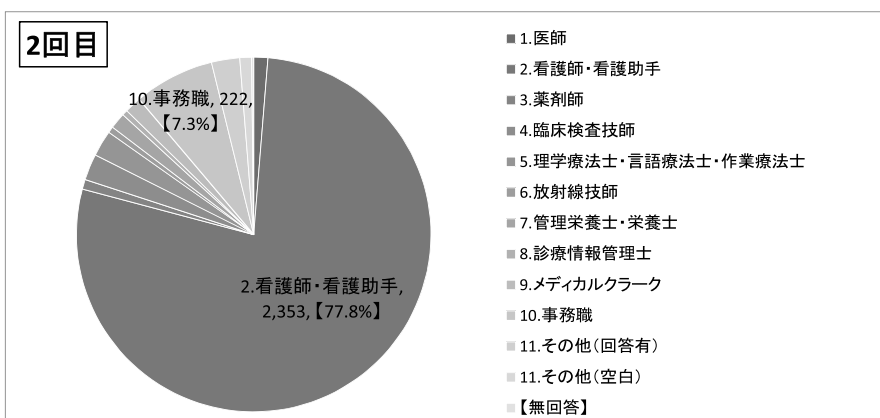
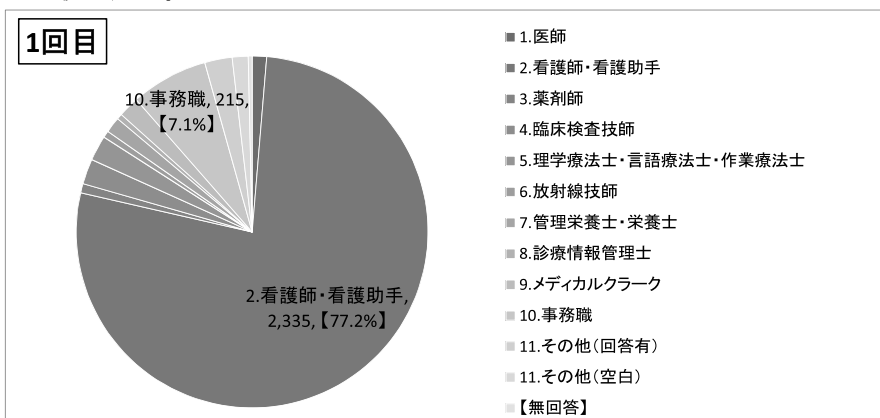
1回目 2回目 統合 労災女性職員

質問1:あなたの年齢をお教え下さい。

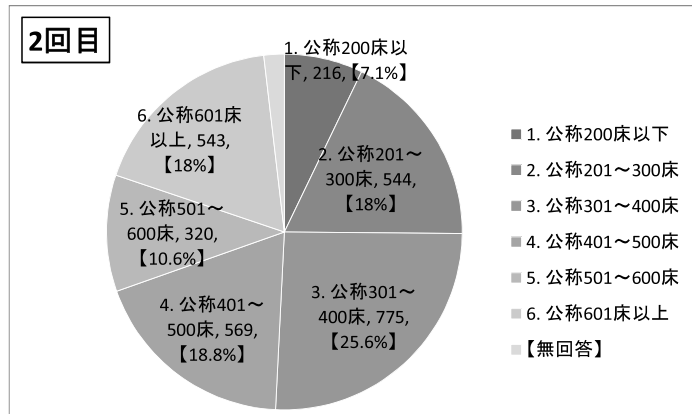
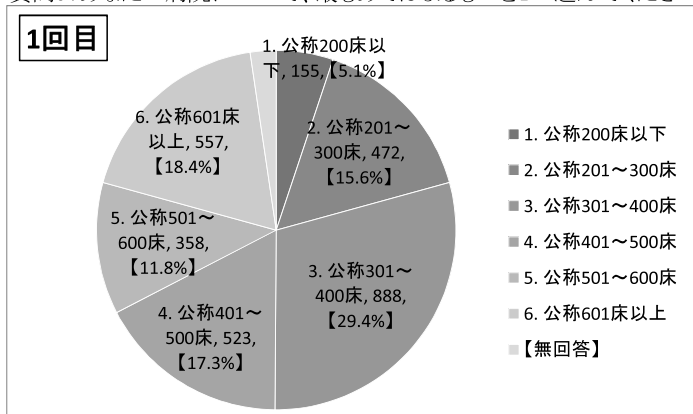
集計総数 3,023



質問2:あなたの職種についてお教え下さい。



質問3:あなたの病院について、最もあてはまるものを1つ選んでください。



質問4:あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

	1回目	%	2回目	%
1.常勤	2,639	87.3	2,653	87.8
2.非常勤	286	9.5	274	9.1
3.その他(回答有)	45	1.5	52	1.7
3.その他(空白)	38	1.3	36	1.2
【無回答】	15	0.5	8	0.3
計	3,023	100	3,023	100

質問5:あなたがこれまでに働いた期間は、どれくらいですか？
(労災病院だけでなく、これまでに働いた期間を通算してください。)

	1回目	%	2回目	%
0年間	15	0.5	0	0
1年間以下	15	0.5	0	0
1～5年間	564	18.7	491	16.2
6～10年間	434	14.4	449	14.9
11～15年間	420	13.9	399	13.2
16～20年間	530	17.5	502	16.6
21～25年間	386	12.8	427	14.1
26～30年間	380	12.6	418	13.8
31～35年間	176	5.8	206	6.8
36～40年間	62	2.1	94	3.1
41年間以上	12	0.4	25	0.8
【無回答】	29	1	12	0.4
計	3,023	100	3,023	100

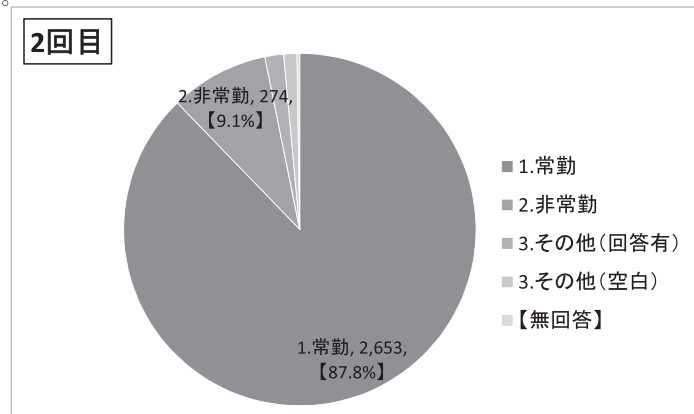
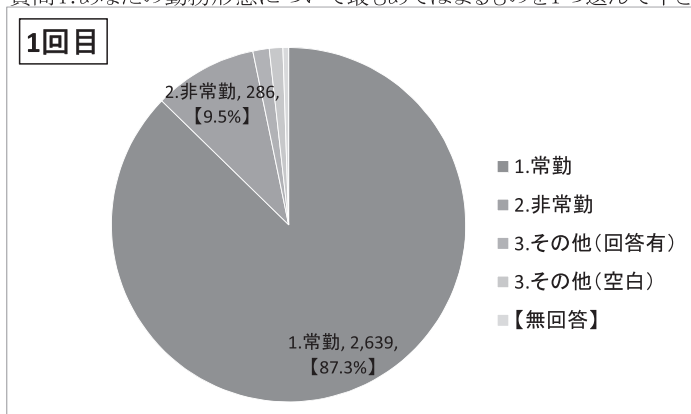
質問6:あなたは準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に、現在従事していますか？

	1回目	%	2回目	%
1. はい	1,706	56.4	1,662	55
2. いいえ	1,304	43.1	1,350	44.7
【無回答】	13	0.4	11	0.4
計	3,023	100	3,023	100

質問7:あなたは1週間に準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事している時間を平均すると、どれくらいになりますか？

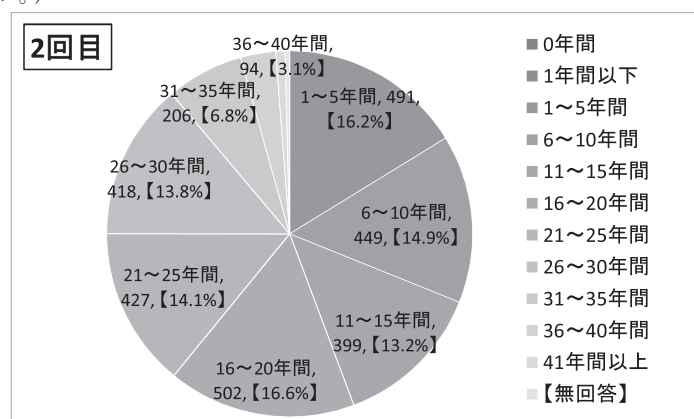
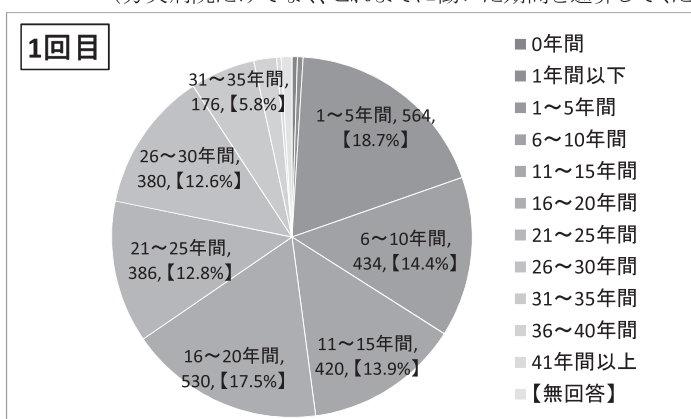
	1回目	%	2回目	%
0時間	916	30.3	1,008	33.3
1時間以下	2	0.1	1	0
1～5時間	100	3.3	117	3.9
6～10時間	176	5.8	197	6.5
11～15時間	84	2.8	117	3.9
16～20時間	930	30.8	907	30
21～25時間	60	2	59	2
26～30時間	19	0.6	31	1
31～35時間	123	4.1	92	3
36～40時間	35	1.2	33	1.1
41時間以上	73	2.4	65	2.2
【無回答】	505	16.7	396	13.1
計	3,023	100	3,023	100

質問4:あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

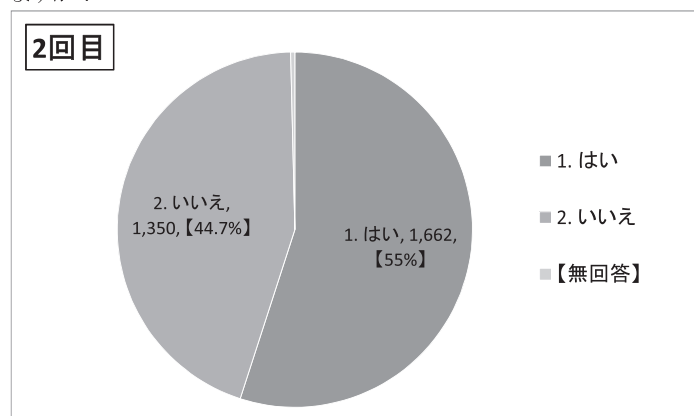
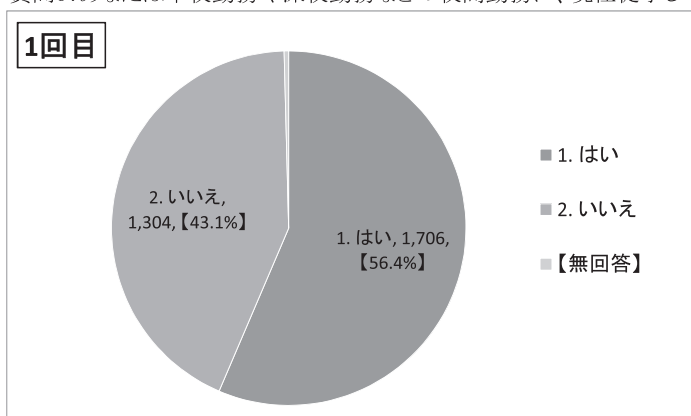


質問5:あなたがこれまでに働いた期間は、どれくらいですか？

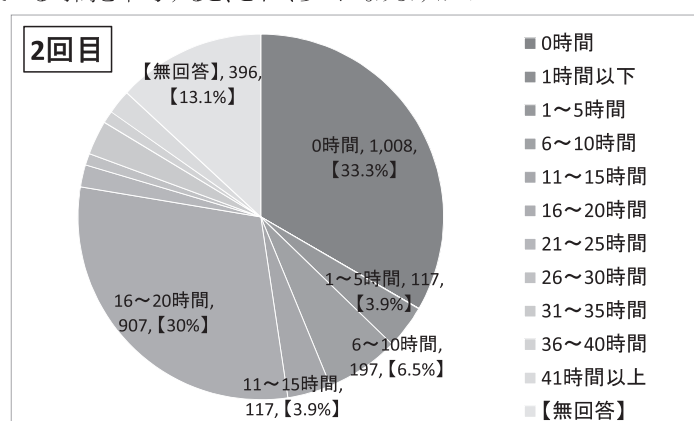
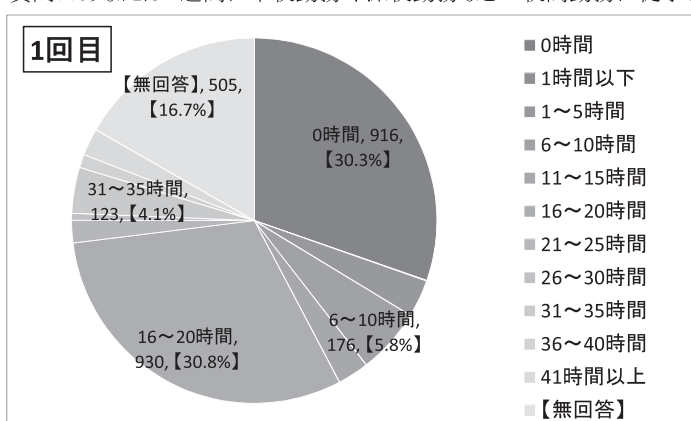
(労災病院だけでなく、これまでに働いた期間を通算してください。)



質問6:あなたは準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に、現在従事していますか？



質問7:あなたは1週間に準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事している時間を平均すると、どれくらいになりますか？



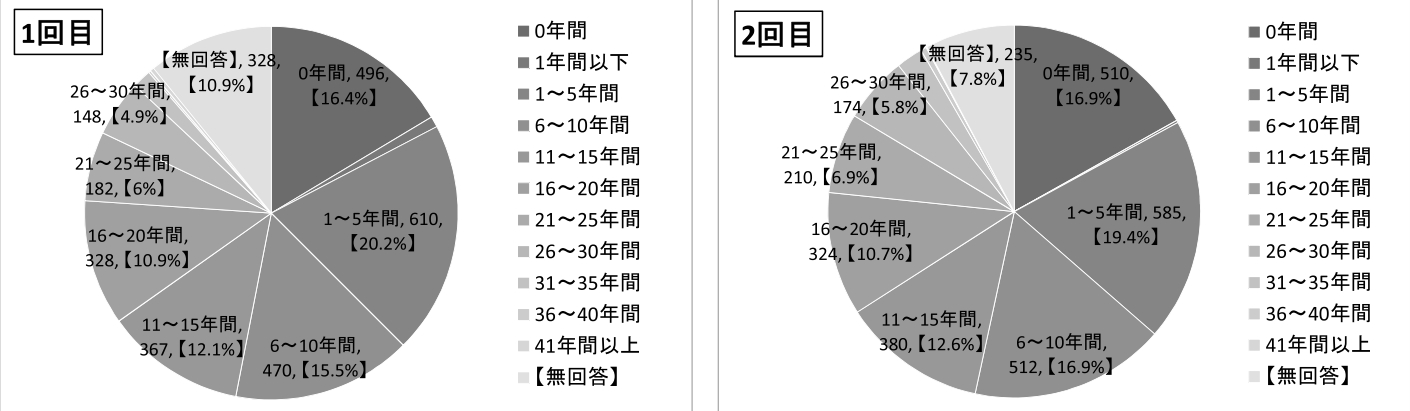
質問8:あなたがこれまでに準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事していた期間を通算すると、どれくらいになりますか？

	1回目	%	2回目	%
0年間	496	16.4	510	16.9
1年間以下	28	0.9	6	0.2
1～5年間	610	20.2	585	19.4
6～10年間	470	15.5	512	16.9
11～15年間	367	12.1	380	12.6
16～20年間	328	10.9	324	10.7
21～25年間	182	6	210	6.9
26～30年間	148	4.9	174	5.8
31～35年間	49	1.6	70	2.3
36～40年間	6	0.2	15	0.5
41年間以上	11	0.4	2	0.1
【無回答】	328	10.9	235	7.8
計	3,023	100	3,023	100

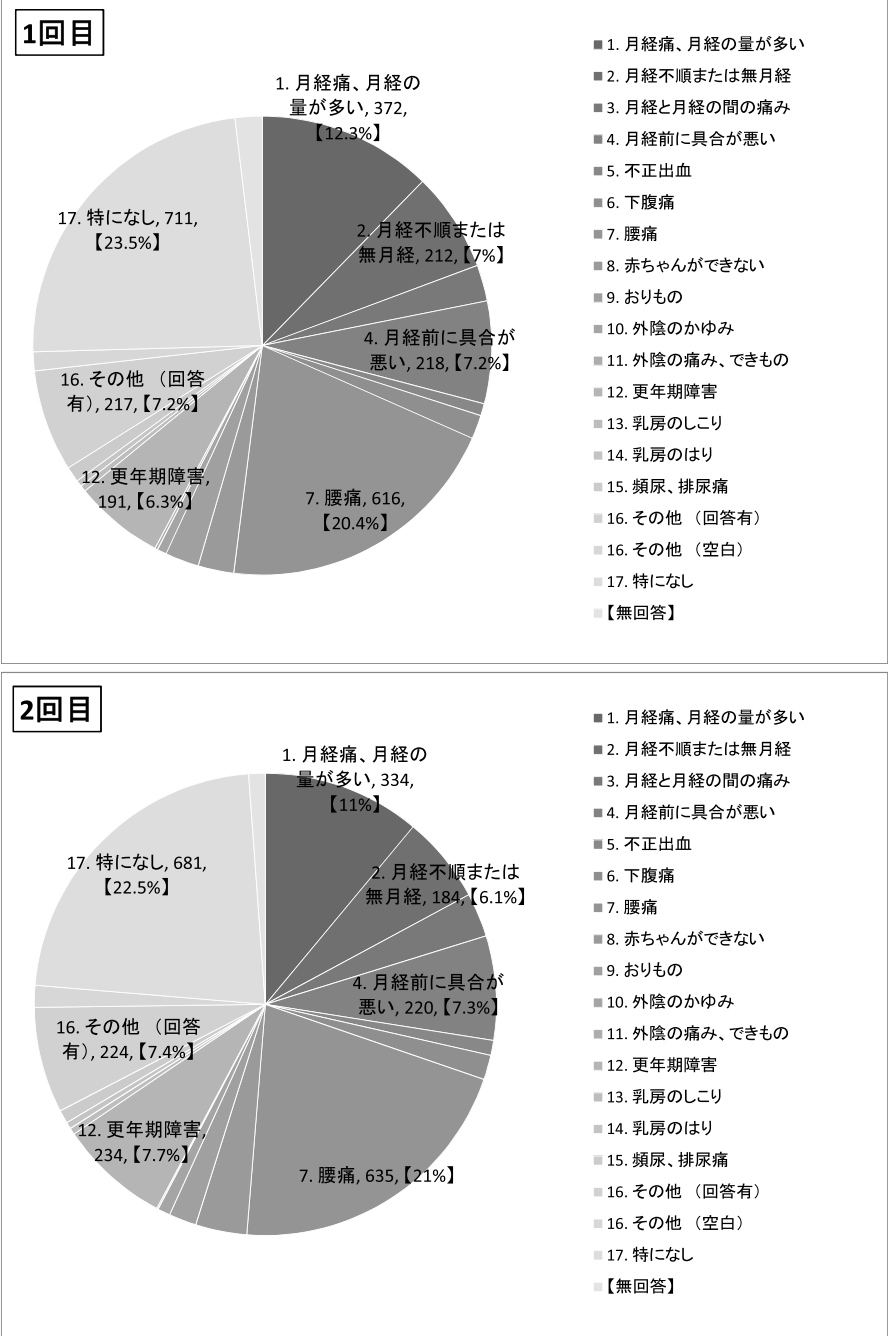
質問9:現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

	1回目	%	2回目	%
1. 月経痛、月経の量が多い	372	12.3	334	11
2. 月経不順または無月経	212	7	184	6.1
3. 月経と月経の間の痛み	77	2.5	93	3.1
4. 月経前に具合が悪い	218	7.2	220	7.3
5. 不正出血	26	0.9	32	1.1
6. 下腹痛	51	1.7	52	1.7
7. 腰痛	616	20.4	635	21
8. 赤ちゃんができない	76	2.5	109	3.6
9. おりもの	72	2.4	58	1.9
10. 外陰のかゆみ	20	0.7	27	0.9
11. 外陰の痛み、できもの	6	0.2	3	0.1
12. 更年期障害	191	6.3	234	7.7
13. 乳房のしこり	13	0.4	14	0.5
14. 乳房のはり	14	0.5	14	0.5
15. 頻尿、排尿痛	33	1.1	28	0.9
16. その他（回答有）	217	7.2	224	7.4
16. その他（空白）	40	1.3	46	1.5
17. 特になし	711	23.5	681	22.5
【無回答】	58	1.9	35	1.2
計	3,023	100	3,023	100

質問8:あなたがこれまでに準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事していた期間を通算すると、どれくらいになりますか？



質問9:現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んで下さい。



質問10: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？

	1回目	%	2回目	%
1.大変理解がある	243	8	258	8.5
2.どちらかといえば理解がある	1,545	51.1	1,651	54.6
3.どちらかといえば理解がない	600	19.8	601	19.9
4.ほとんど理解がない	425	14.1	373	12.3
【無回答】	210	6.9	140	4.6
計	3,023	100	3,023	100

質問11: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性職員と女性職員のいずれから、より理解されていると思いますか？

	1回目	%	2回目	%
1.男性職員のほうが理解がある	28	0.9	32	1.1
2.女性職員のほうが理解がある	1,570	51.9	1,576	52.1
3.どちらも同じ	1,221	40.4	1,283	42.4
【無回答】	204	6.7	132	4.4
計	3,023	100	3,023	100

質問12: 現在月経は、順調ですか？ 不調ですか？

	1回目	%	2回目	%
1. 順調	1,770	58.6	1,664	55
2. 不調	604	20	605	20
3. 月経なし (妊娠中・閉経後・その他)	581	19.2	694	23
【無回答】	68	2.2	60	2
計	3,023	100	3,023	100

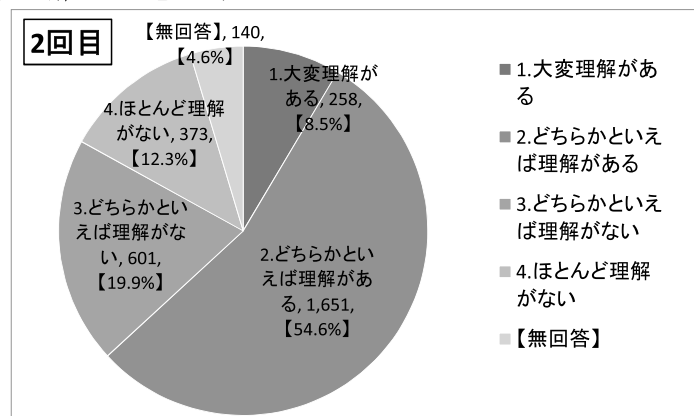
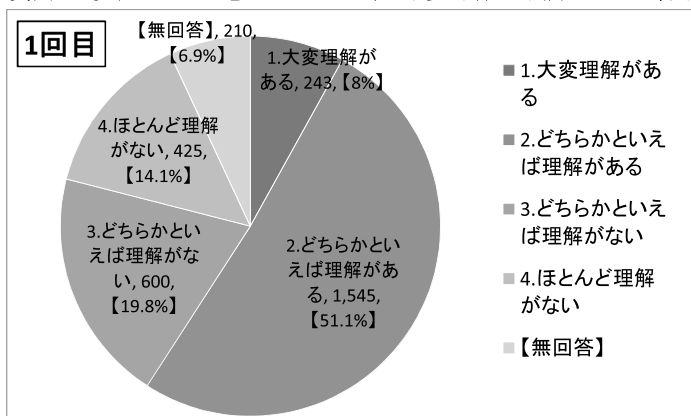
1.の回答

「月経なし」と答えた方へ：
質問17へ

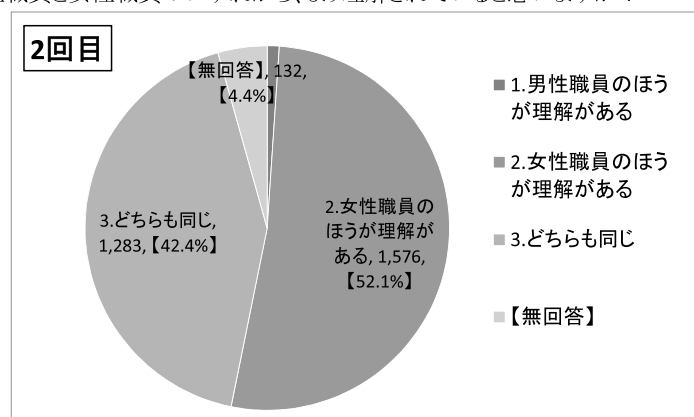
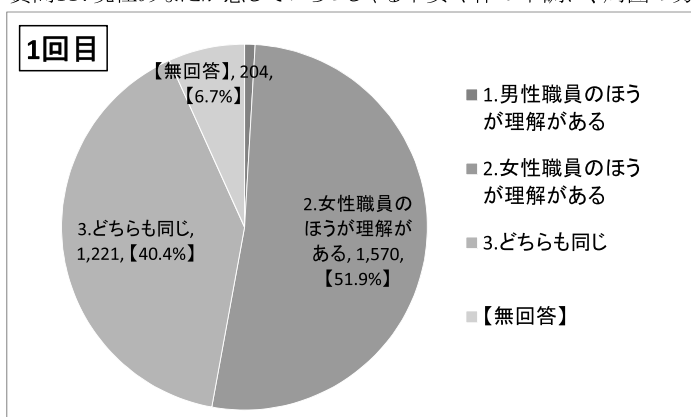
質問12-2: 平均的な周期は何日ですか？

	1回目	%	2回目	%
20日以下	7	0.4	2	0.1
20～29日	1,105	62.4	876	52.6
30～39日	530	29.9	431	25.9
40日以上	15	0.8	16	1
【無回答】	113	6.4	339	20.4
計	1,770	100	1,664	100

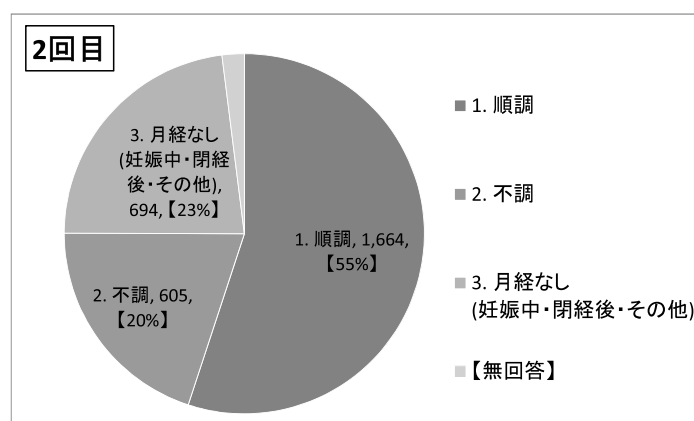
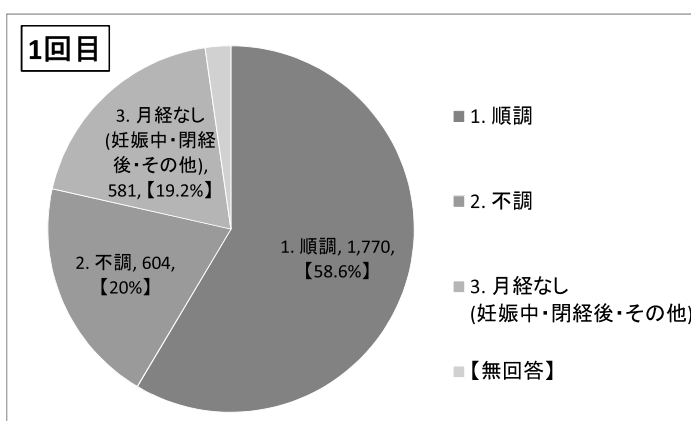
質問10: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？



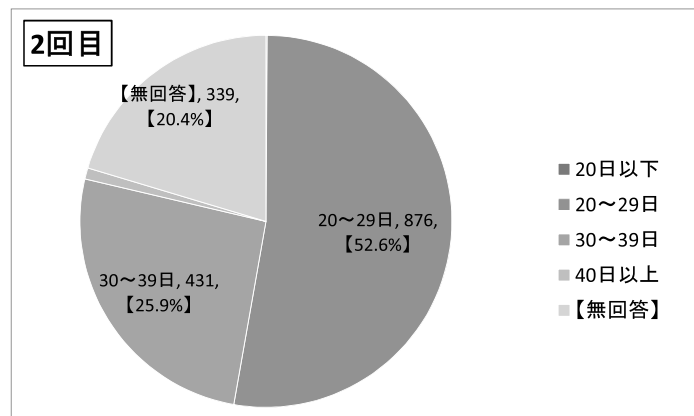
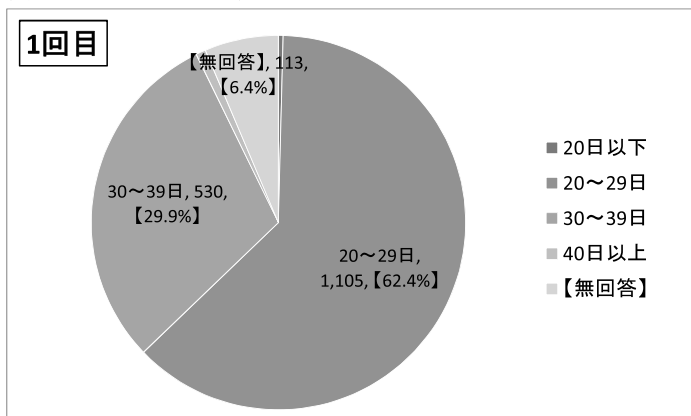
質問11: 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性職員と女性職員のいずれから、より理解されていると思いますか？



質問12: 現在月経は、順調ですか？ 不調ですか？



質問12-2: 平均的な周期は何日ですか？



質問13: 月経は何日ぐらい続きますか？

	1回目	%	2回目	%
0日	2	0.1	0	0
5日以下	330	10.9	339	11.2
5～9日間	2,046	67.7	1,789	59.2
10～14日間	76	2.5	80	2.6
15～19日間	1	0	1	0
20～24日間	1	0	1	0
25～29日間	9	0.3	8	0.3
30日間以上	11	0.4	8	0.3
【無回答】	547	18.1	797	26.4
計	3,023	100	3,023	100

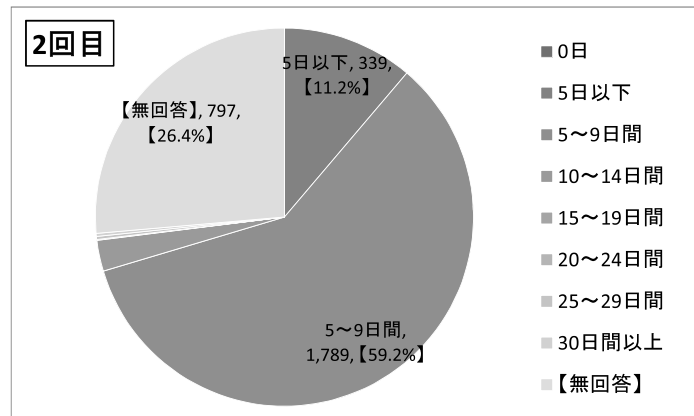
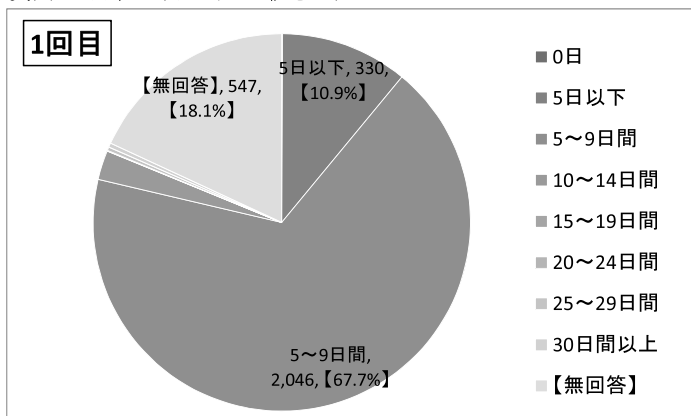
質問14: 月経の量を自分でどう思われますか？

	1回目	%	2回目	%
1. 少ない	356	11.8	344	11.4
2. 普通	1,623	53.7	1,420	47
3. 多い	518	17.1	480	15.9
【無回答】	527	17.4	779	25.8
計	3,024	100	3,023	100

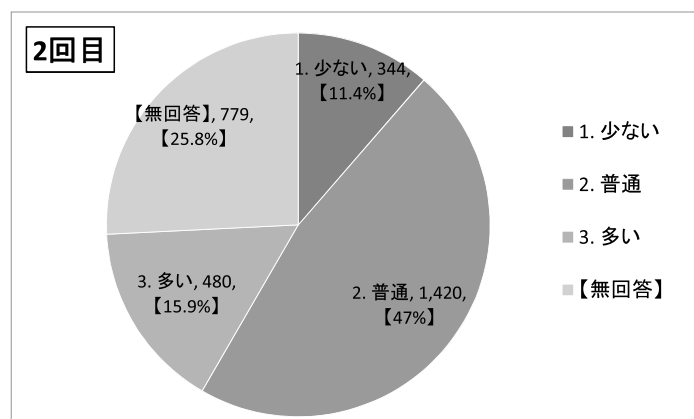
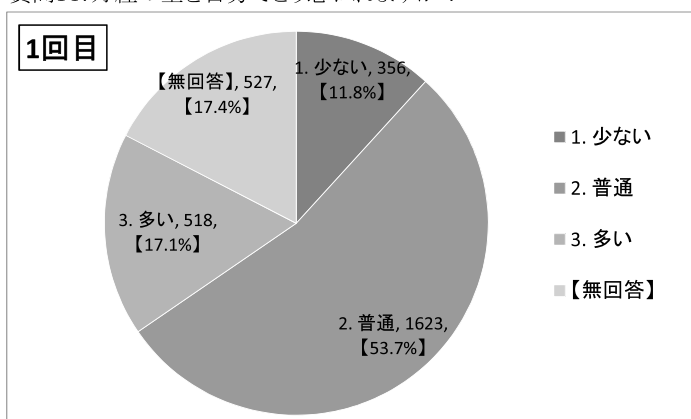
質問15: 月経時の痛み(下腹部痛・腰痛など)について、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

	1回目	%	2回目	%
0. 痛みは、ほとんどない。	465	15.4	417	13.8
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。	914	30.2	799	26.4
2. 痛みのために、日常生活に差し支えることがある。鎮痛剤(痛み止めの薬)を飲むと、仕事などを休むことはほとんどない。	1,104	36.5	1,027	34
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたしている。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休む事が多い。	26	0.9	13	0.4
4. 痛みのために動くこともつらく、一日中横になっている。	6	0.2	4	0.1
【無回答】	508	16.8	763	25.2
計	3,023	100	3,023	100

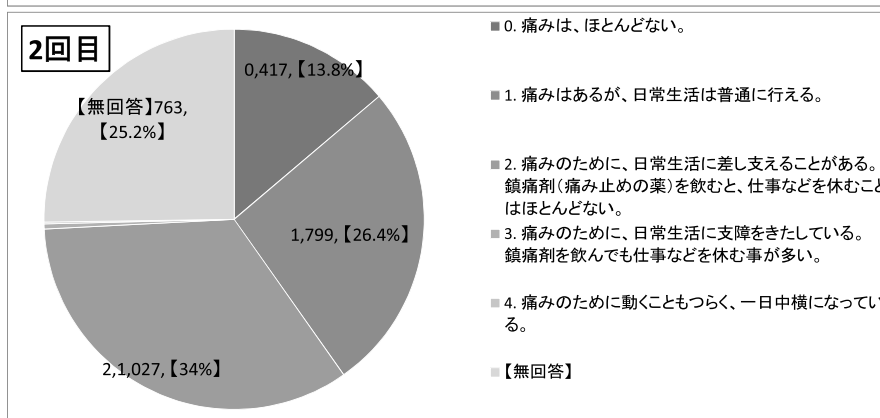
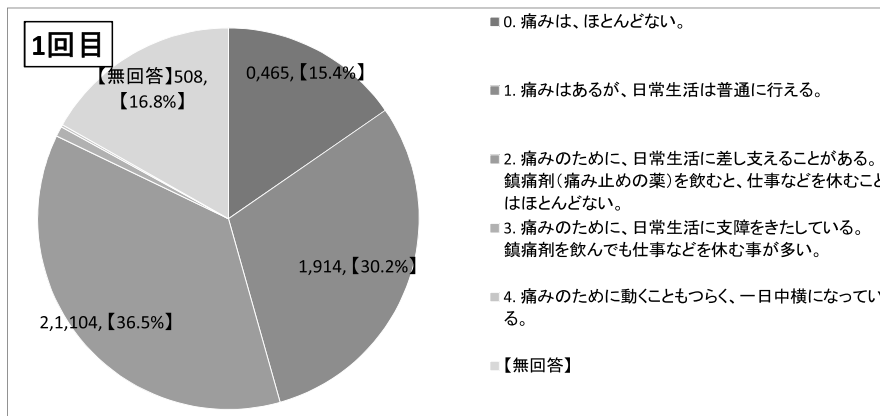
質問13: 月経は何日ぐらい続きますか？



質問14: 月経の量を自分でどう思われますか？



質問15: 月経時の痛み(下腹部痛・腰痛など)について、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。



質問16:月経時の痛みのために、鎮痛剤を使用しますか？

	1回目	%	2回目	%	1.の回答
1. はい	1,459	48.3	1,352	44.7	
2. いいえ	1,042	34.5	906	30	
【無回答】	522	17.3	765	25.3	
計	3,023	100	3,023	100	

質問16-2:1回の月経で、何日間ぐらい鎮痛剤を使用しますか？

	1回目	%	2回目	%
1. 1日	449	30.7	408	30.2
2. 2日	552	37.8	499	36.9
3. 3日	220	15.1	245	18.1
4. 4日	44	3	26	1.9
5. 5日以上	32	2.2	35	2.6
6. たまに使用する	156	10.7	135	10
【無回答】	8	0.5	4	0.3
計	1,461	100	1,352	100

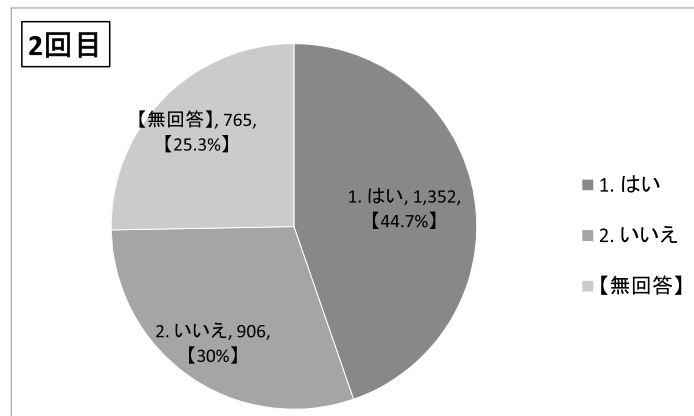
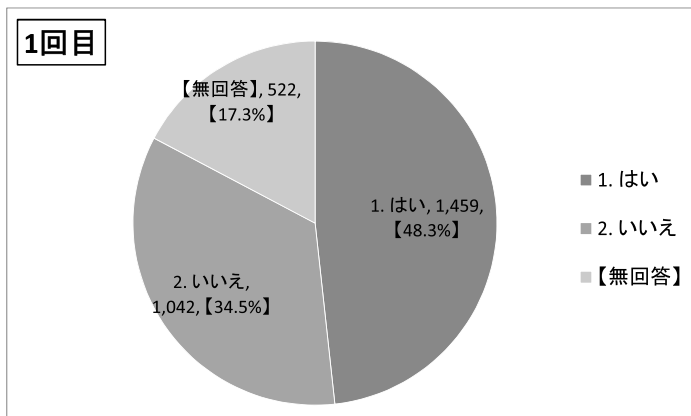
質問17:この半年間で、月経痛のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかった事が、1日でもありましたか？

	1回目	%	2回目	%	1.の回答
1. はい	79	2.6	82	2.7	
2. いいえ (1日もない)	2,526	83.6	2,873	95	
【無回答】	418	13.8	68	2.2	
計	3,023	100	3,023	100	

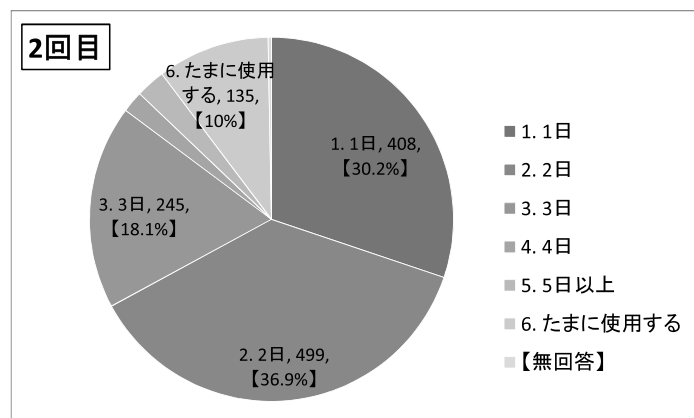
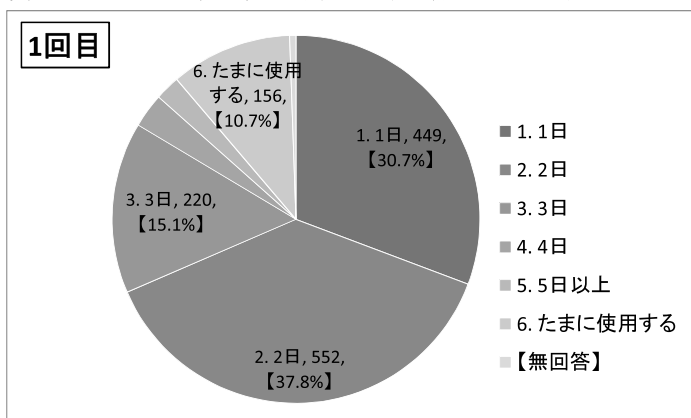
質問17-2:この半年間で、月経痛のため仕事を休んだのは何日間ですか？

	1回目	%	2回目	%
0日間	27	34.2	20	24.4
1～4日間	30	38	40	48.8
5日間以上	4	5.1	3	3.7
【無回答】	18	22.8	19	23.2
計	79	100	82	100

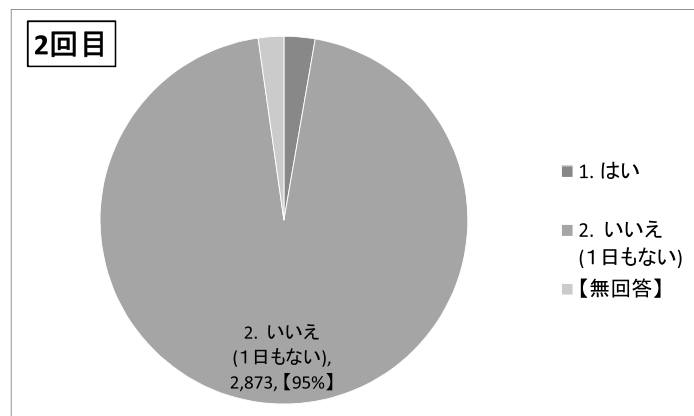
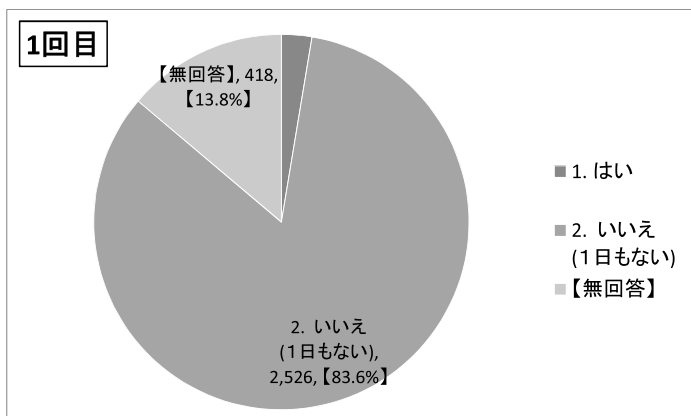
質問16:月経時の痛みのために、鎮痛剤を使用しますか？



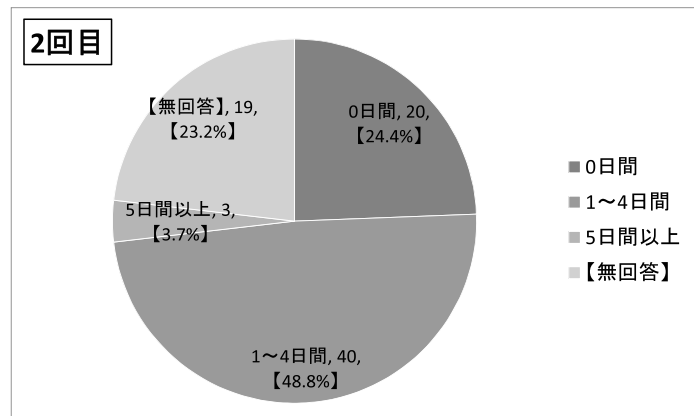
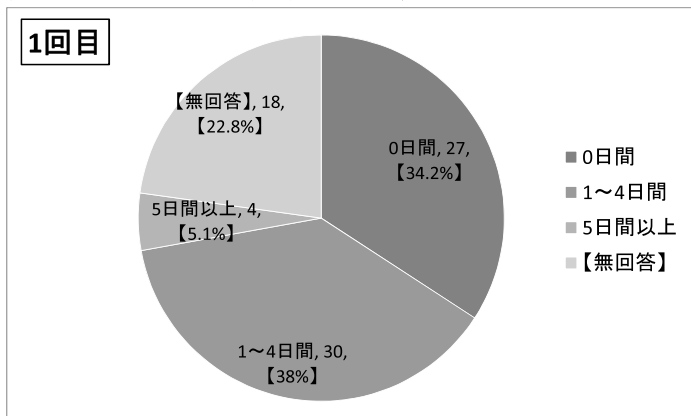
質問16-2:1回の月経で、何日間ぐらい鎮痛剤を使用しますか？



質問17:この半年間で、月経痛のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかった事が、1日でもありましたか？



質問17-2:この半年間で、月経痛のため仕事を休んだのは何日間ですか？



質問17-3:この半年間で、月経痛のため仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか？

	1回目	%	2回目	%
0日間	22	27.8	20	24.4
1～9日間	33	41.8	42	51.2
10～19日間	5	6.3	1	1.2
20～29日間	0	0	0	0
30日以上	1	1.3	0	0
【無回答】	18	22.8	19	23.2
計	79	100	82	100

質問17-4:それらの日の仕事量は、平均すると普段の仕事量のどの程度でしたか？

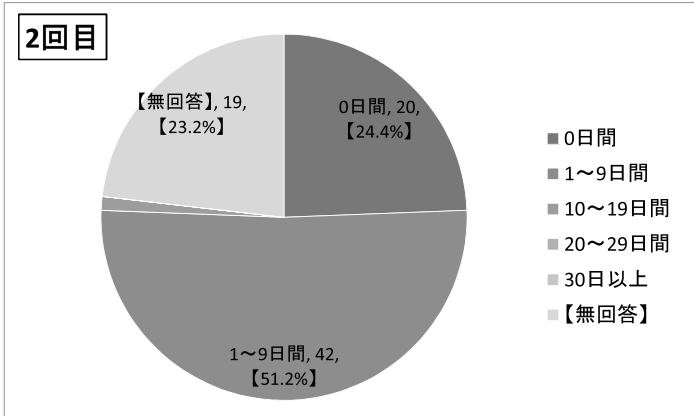
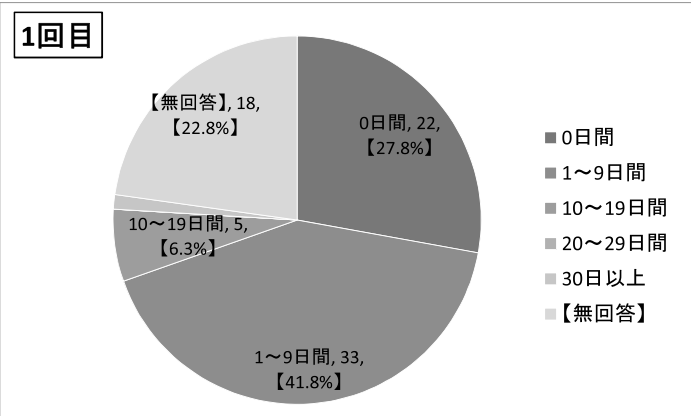
	1回目	%	2回目	%
1. 1/4程度	5	6.3	11	13.4
2. 半分程度	12	15.2	9	11
3. 3/4程度	30	38	27	32.9
【無回答】	32	40.5	35	42.7
計	79	100	82	100

質問18:月経痛のため、病院・医院など医療機関を受診した事がありますか？

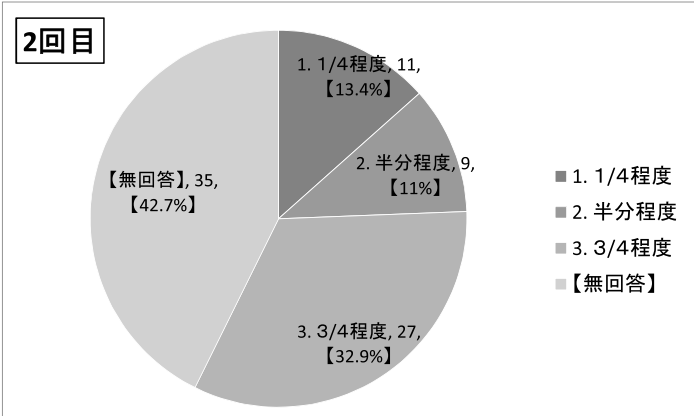
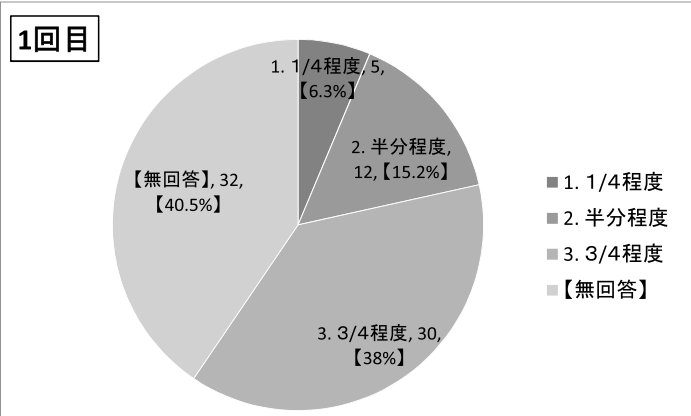
	1回目	%	2回目	%
1. ある	368	12.2	512	16.9
2. ない	2,302	76.1	2,460	81.4
【無回答】	353	11.7	51	1.7
計	3,023	100	3,023	100

1.の回答
↓

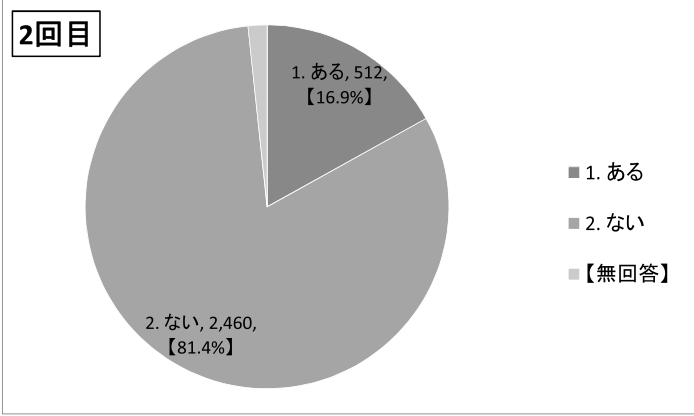
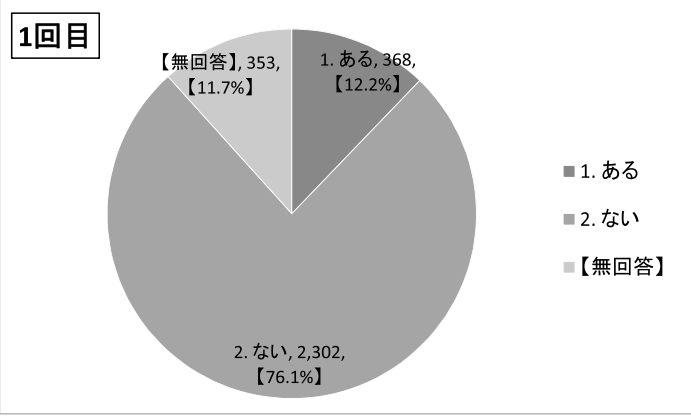
質問17-3:この半年間で、月経痛のため仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか？



質問17-4:それらの日の仕事量は、平均すると普段の仕事量のどの程度でしたか？



質問18:月経痛のため、病院・医院など医療機関を受診した事がありますか？



質問18-2: 何と診断されましたか？該当するものを選んで下さい。

	1回目	%	2回目	%
1.子宮筋腫	84	21.3	108	19.1
2.子宮腺筋症	20	5.1	28	4.9
3.子宮内膜症	85	21.6	125	22.1
4.子宮内膜症性卵巣のう胞	13	3.3	23	4.1
5.その他の卵巣腫瘍	16	4.1	20	3.5
6.月経困難症	76	19.3	83	14.7
7.月経前緊張症	19	4.8	21	4.1
8.特になし	12	3	119	21
9.その他(回答有)	32	8.1	29	5.1
9.その他(空白)	23	5.8	6	1.1
【無回答】	14	3.6	4	0.7
計	394	100	566	100

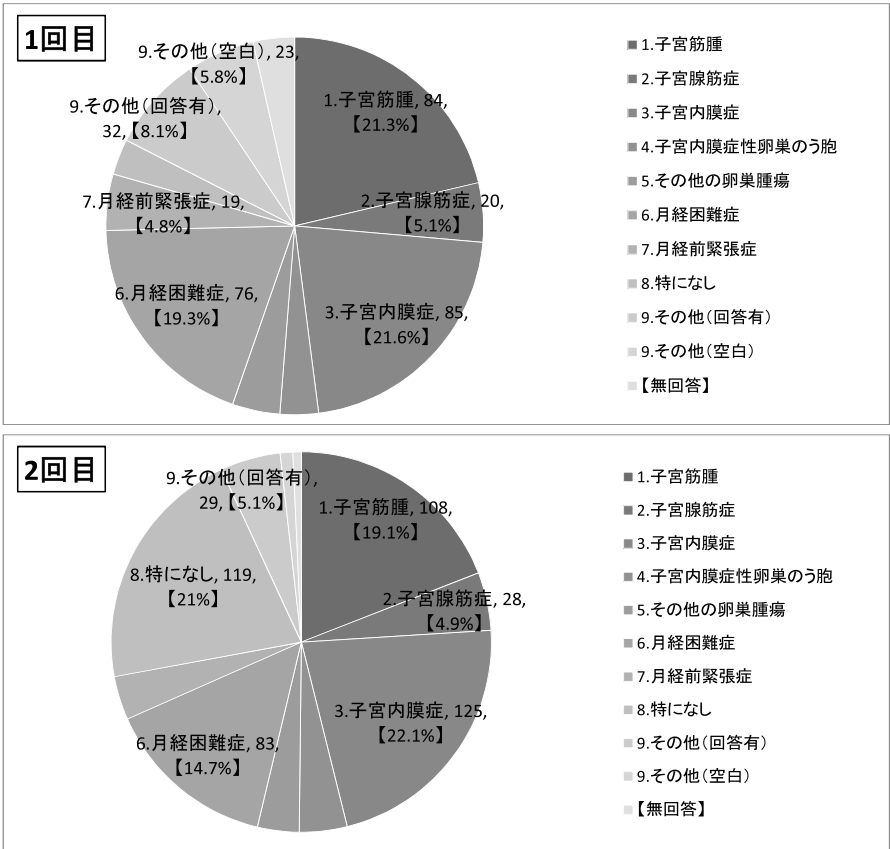
質問18-3: 治療は何でしたか？該当するものを選んで下さい。

	1回目	%	2回目	%
1.手術による治療	71	18.6	100	19
2.薬剤による治療	213	55.9	224	42.5
3.経過観察	47	12.3	178	33.8
4.その他(回答有)	14	3.7	9	1.7
4.その他(空白)	15	3.9	2	0.4
【無回答】	21	5.5	14	2.7
計	381	100	527	100

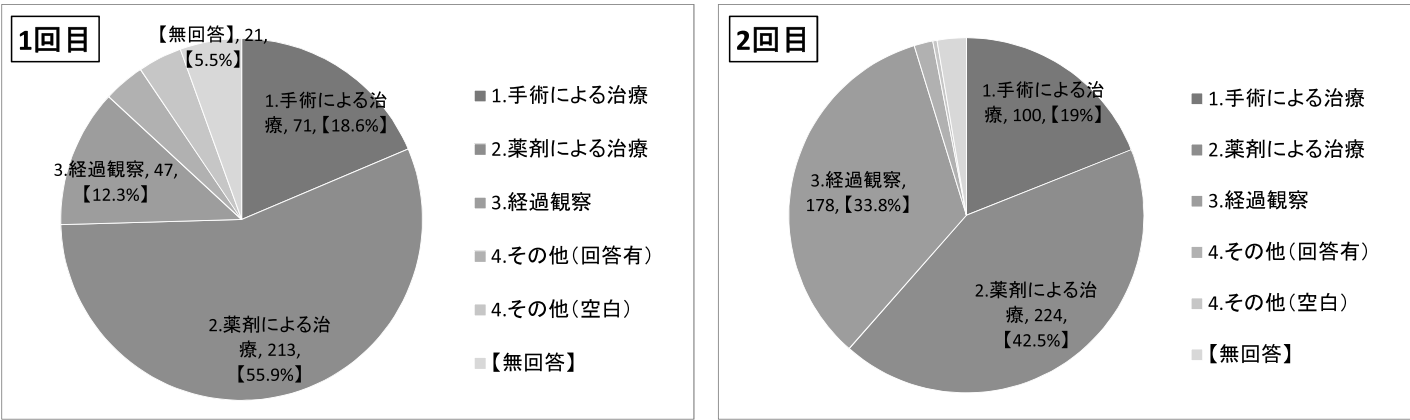
質問18-4: 治療によって、月経中にも仕事がしやすくなりましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.しやすくなった	157	42.7	193	37.7
2.変わらない	176	47.8	269	52.5
3.むしろ悪くなった	4	1.1	8	1.6
【無回答】	31	8.4	42	8.2
計	368	100	512	100

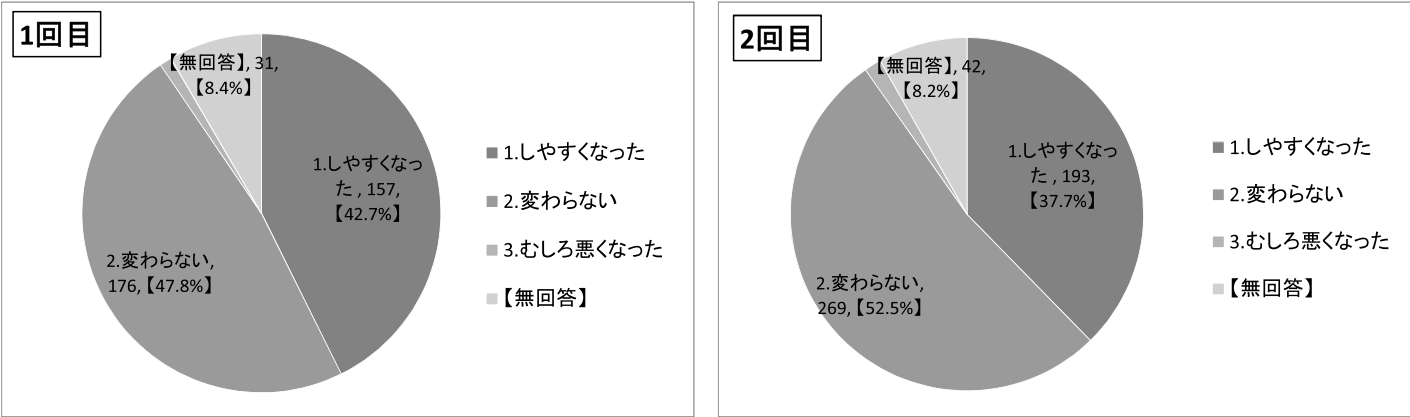
質問18-2: 何と診断されましたか？該当するものを選んで下さい。



質問18-3: 治療は何でしたか？該当するものを選んで下さい。



質問18-4: 治療によって、月経中にも仕事がしやすくなりましたか？



質問19:更年期様症状(のぼせ、発汗、だるさ、眠りが浅い、疲れ易いなど)について、最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

	1回目	%	2回目	%
1.更年期様症状は、ほとんどない。	2,213	73.2	2,081	68.8
2.更年期様症状はあるが、日常生活は普通に行える。	580	19.2	689	22.8
3.更年期様症状があり、日常生活に差し支えることがある。仕事を休むことはほとんどない。	142	4.7	206	6.8
4.更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。仕事を休むことが多い。	2	0.1	2	0.1
5.更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。一日中横になっていることが多い。	1	0	2	0.1
【無回答】	85	2.8	43	1.4
計	3,023	100	3,023	100

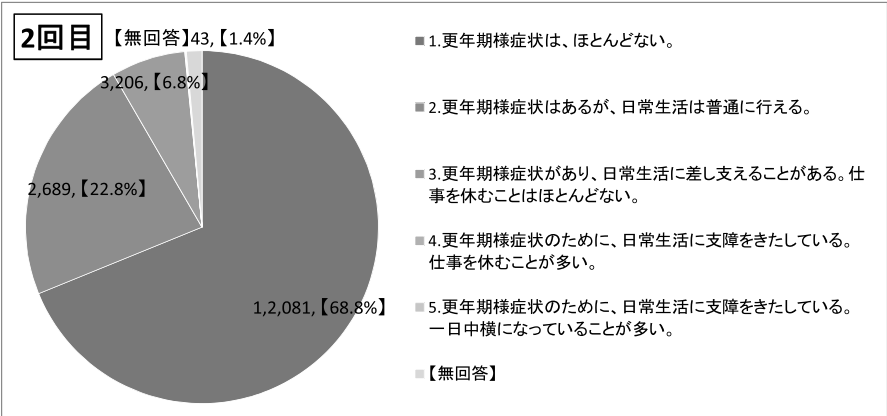
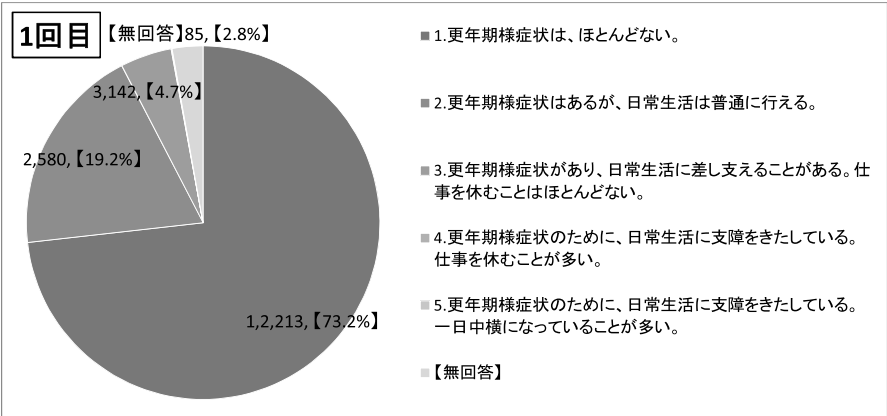
質問20:現在更年期様症状のために、薬剤を使用していますか？

	1回目	%	2回目	%	1.の回答 ↓
1.はい	112	3.7	113	3.7	
2.いいえ	2,756	91.2	2,845	94.1	
【無回答】	155	5.1	65	2.2	
計	3,023	100	3,023	100	

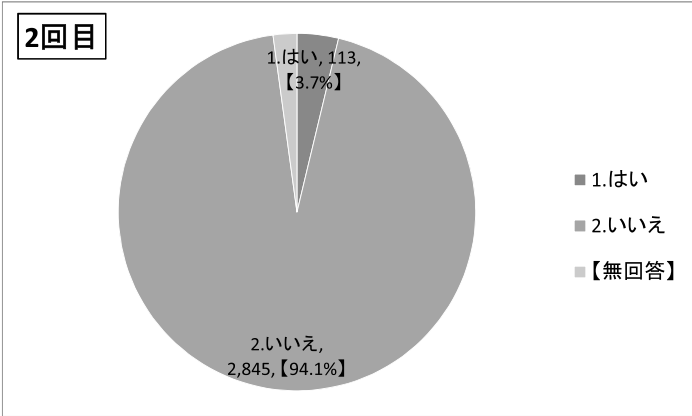
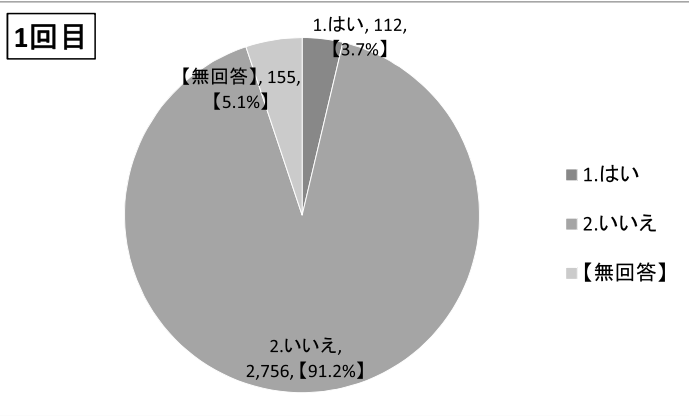
質問20-2:1ヶ月で何日間ぐらい薬剤を使用しますか？

	1回目	%	2回目	%
1.1日	1	0.9	2	1.8
2.2日	5	4.5	2	1.8
3.3日	4	3.6	4	3.5
4.4日	1	0.9	1	0.9
5.5日	2	1.8	4	3.5
6.6日～10日	9	8	93	82.3
7. 11日～15日	7	6.3	0	0
8. 16日～20日	6	5.4	0	0
9. 21日～25日	6	5.4	0	0
10. 26日～31日	64	57.1	0	0
【無回答】	7	6.3	7	6.2
計	112	100	113	100

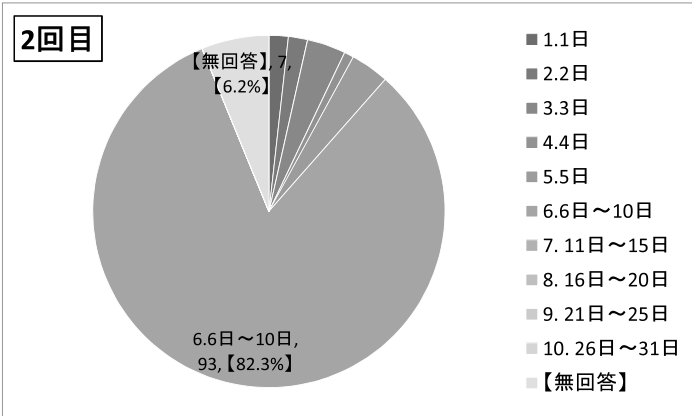
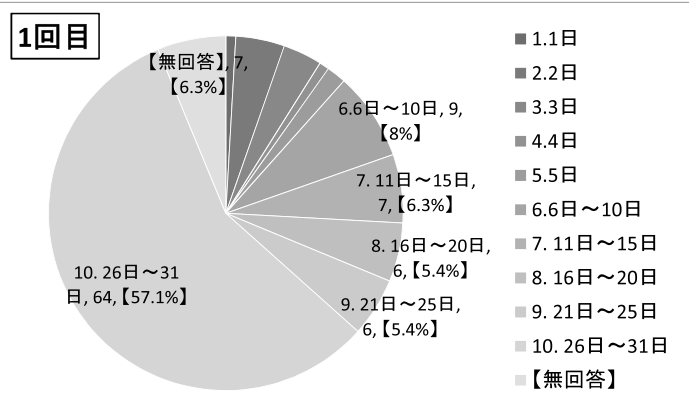
質問19: 更年期様症状(のぼせ、発汗、だるさ、眠りが浅い、疲れ易いなど)について、最も当てはまるものを1つ選んで下さい。



質問20: 現在更年期様症状のために、薬剤を使用していますか？



質問20-2: 1ヶ月で何日間ぐらい薬剤を使用しますか？



質問21:この半年間で、更年期様症状のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかった事が、1日でもありましたか？

	1回目	%	2回目	%	1.の回答 ↓
1.はい	53	1.8	55	1.8	
2. いいえ (1日もない)	2,849	94.2	2,918	96.5	
【無回答】	121	4	50	1.7	
計	3,023	100	3,023	100	

質問21-2:この半年間で、仕事を休んだのは何日間ですか？

	1回目	%	2回目	%
0日間	3	5.7	4	7.3
1～4日間	20	37.7	17	30.9
5日間以上	4	7.5	8	14.5
【無回答】	26	49.1	26	47.3
計	53	100	55	100

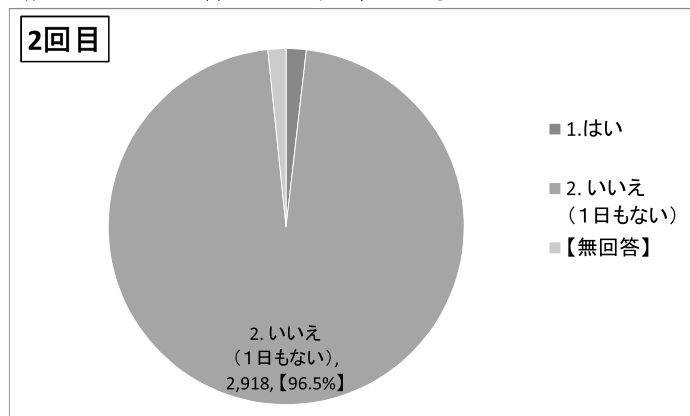
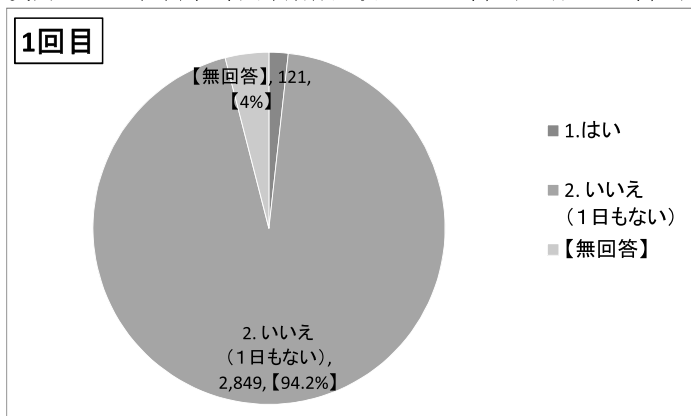
質問21-3:この半年間で、仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか？

	1回目	%	2回目	%
0日間	8	15.1	13	23.6
1～9日間	9	17	6	10.9
10～19日間	3	5.7	4	7.3
20～29日間	0	0	0	0
30日以上	3	5.7	5	9.1
【無回答】	30	56.6	27	49.1
計	53	100	55	100

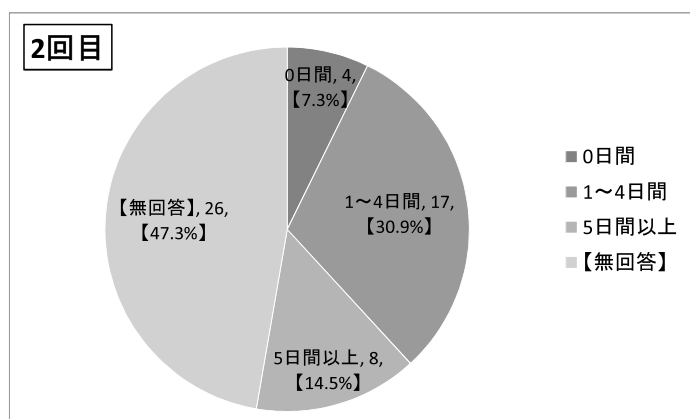
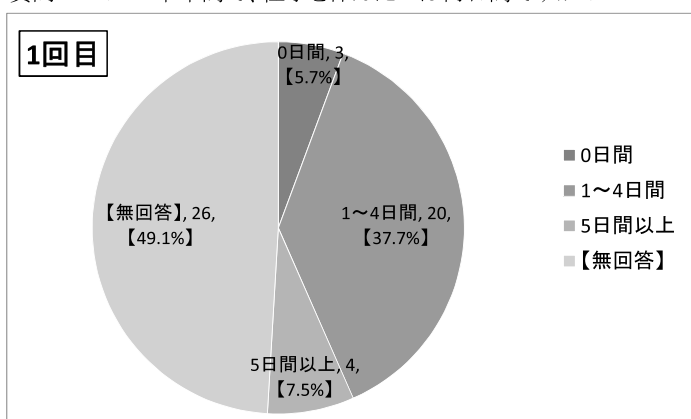
質問21-4:それらの日の仕事は平均して、普段の仕事のどの程度でしたか？

	1回目	%	2回目	%
1.1/4程度	3	5.7	5	9.1
2.半分程度	4	7.5	3	5.5
3.3/4程度	8	15.1	12	21.8
【無回答】	38	71.7	35	63.6
計	53	100	55	100

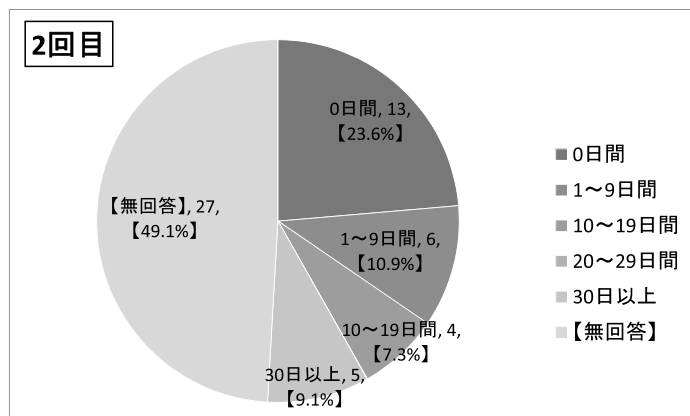
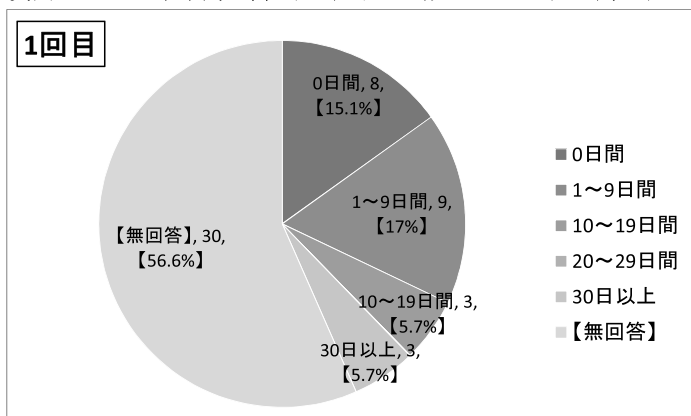
質問21:この半年間で、更年期様症状のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかった事が、1日でもありましたか？



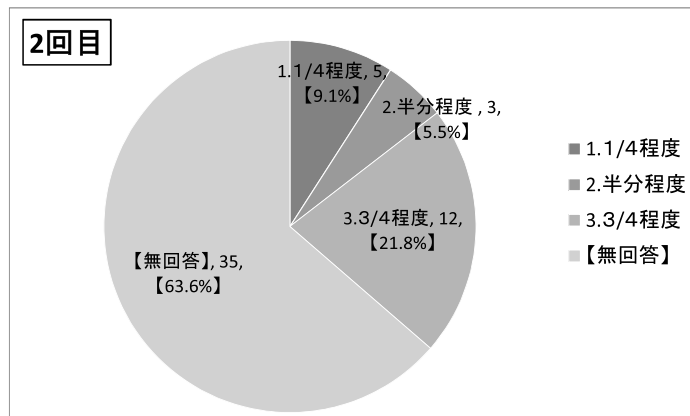
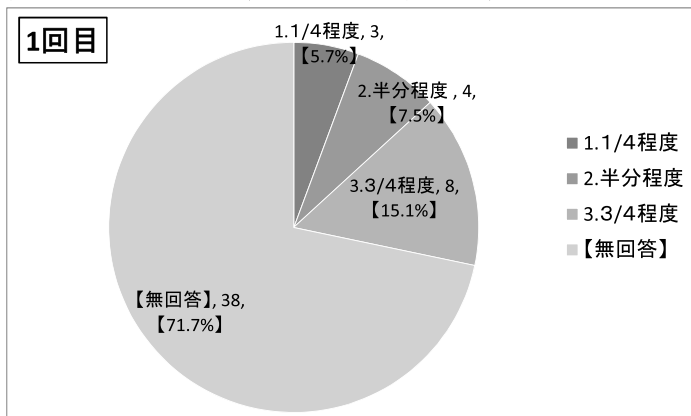
質問21-2:この半年間で、仕事を休んだのは何日間ですか？



質問21-3:この半年間で、仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか？



質問21-4:それらの日の仕事は平均して、普段の仕事のどの程度でしたか？



質問22:今まで更年期様症状のため、仕事を辞めたり転職した事がありますか？

	1回目	%	2回目	%
1. ある	18	0.6	8	0.3
2. ない	2,901	96	2,967	98.1
【無回答】	104	3.4	48	1.6
計	3,023	100	3,023	100

質問23:今まで更年期様症状のために、病院・医院など医療機関を受診した事がありますか？

	1回目	%	2回目	%	1.の回答 ↓
1. ある	139	4.6	172	5.7	
2. ない	2,751	91	2,785	92.1	
【無回答】	133	4.4	66	2.2	
計	3,023	100	3,023	100	

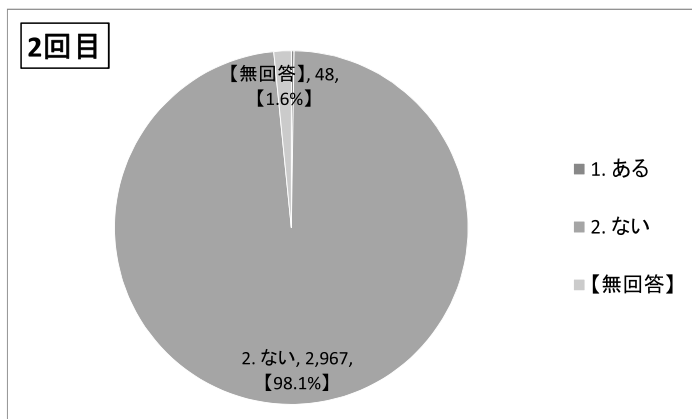
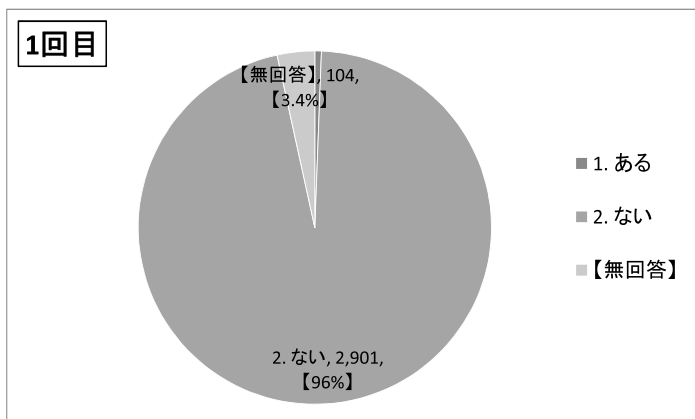
質問23-2:治療によって、仕事がしやすくなりましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.しやすくなった	65	46.8	68	39.5
2.変わらない	67	48.2	97	56.4
3.むしろ悪くなった	1	0.7	2	1.2
【無回答】	6	4.3	5	2.9
計	139	100	172	100

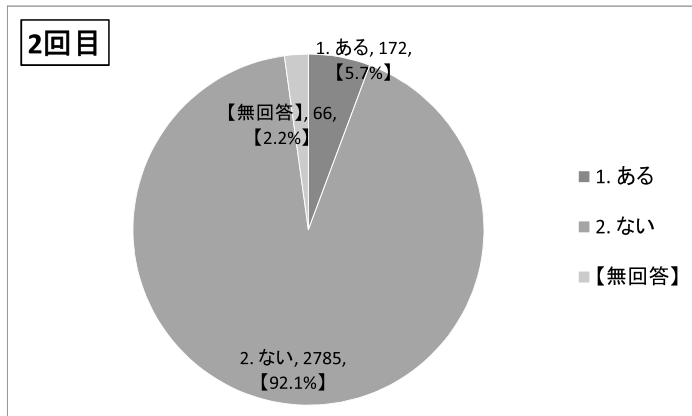
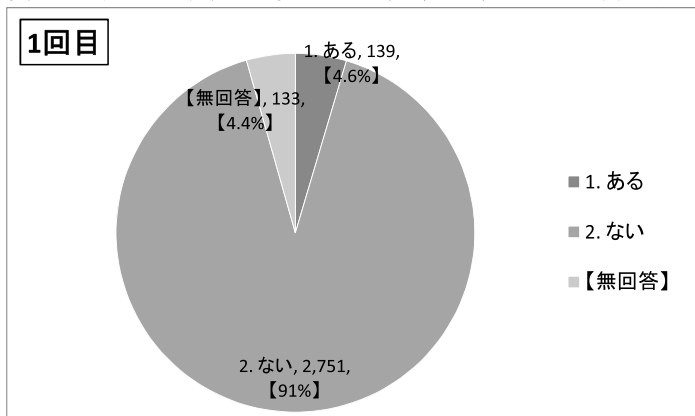
質問24:全体的にみて、過去1か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？

	1回目	%	2回目	%
1.最高に良い	30	1	18	0.6
2.とても良い	224	7.4	228	7.5
3.良い	1,657	54.8	1,649	54.5
4.あまり良くない	876	29	874	28.9
5.良くない	161	5.3	164	5.4
6.ぜんぜん良くない	57	1.9	64	2.1
【無回答】	18	0.6	26	0.9
計	3,023	100	3,023	100

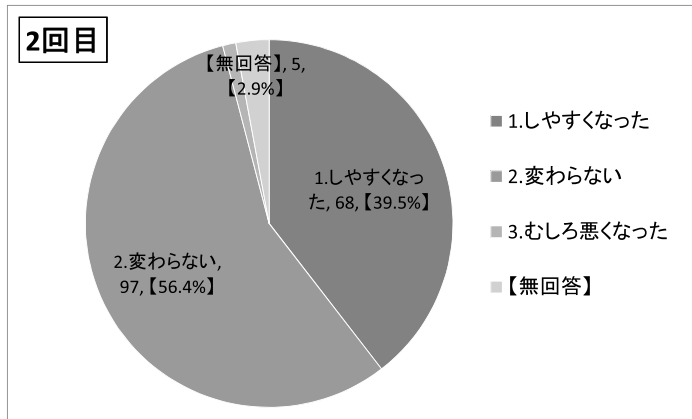
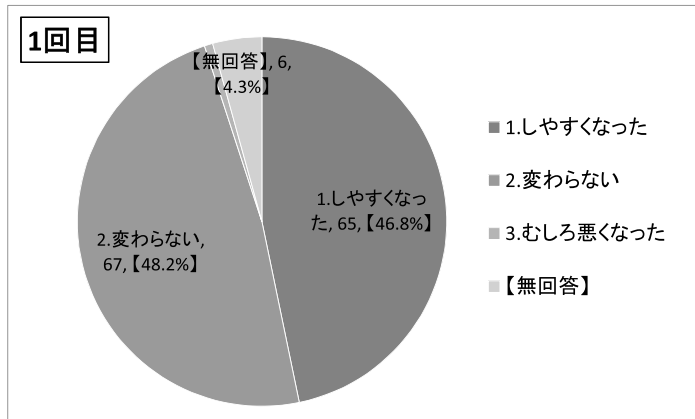
質問22:今まで更年期様症状のため、仕事を辞めたり転職した事がありますか？



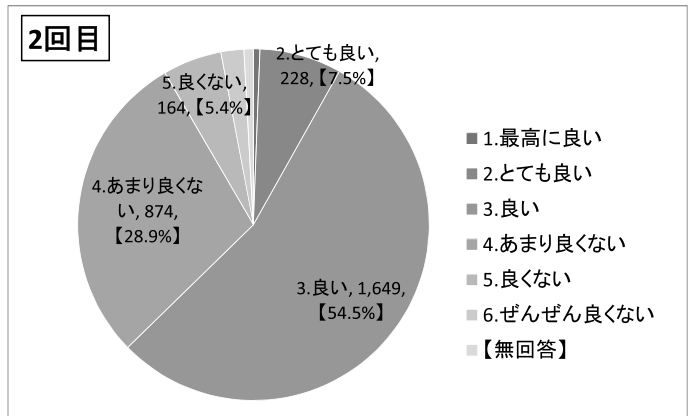
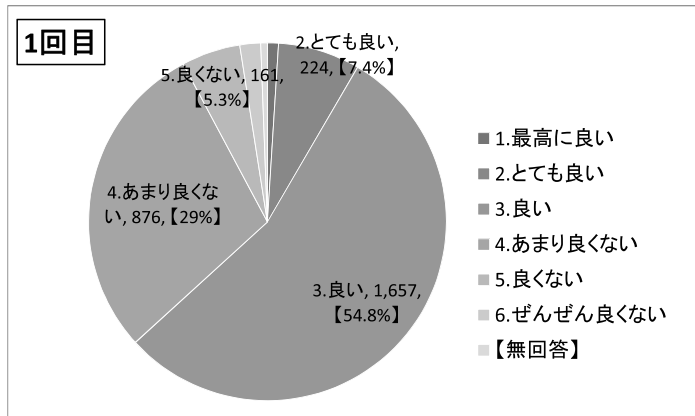
質問23:今まで更年期様症状のために、病院・医院など医療機関を受診した事がありますか？



質問23-2:治療によって、仕事がしやすくなりましたか？



質問24:全体的にみて、過去1か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？



質問25:過去1か月間に、体を使う日常活動(歩いたり階段を昇ったりなど)をする事が身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.ぜんぜん妨げられなかった	1,702	56.3	1,577	52.2
2.わずかに妨げられた	774	25.6	804	26.6
3.少し妨げられた	399	13.2	489	16.2
4.かなり妨げられた	104	3.4	111	3.7
5.体を使う日常活動ができなかった	21	0.7	14	0.5
【無回答】	23	0.8	28	0.9
計	3,023	100	3,023	100

質問26:過去1か月間に、いつもの仕事(家事も含みます)をする事が、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.ぜんぜん妨げられなかった	1,389	45.9	1,228	40.6
2.わずかに妨げられた	920	30.4	998	33
3.少し妨げられた	528	17.5	600	19.8
4.かなり妨げられた	143	4.7	146	4.8
5.いつもの仕事ができなかった	23	0.8	25	0.8
【無回答】	20	0.7	26	0.9
計	3,023	100	3,023	100

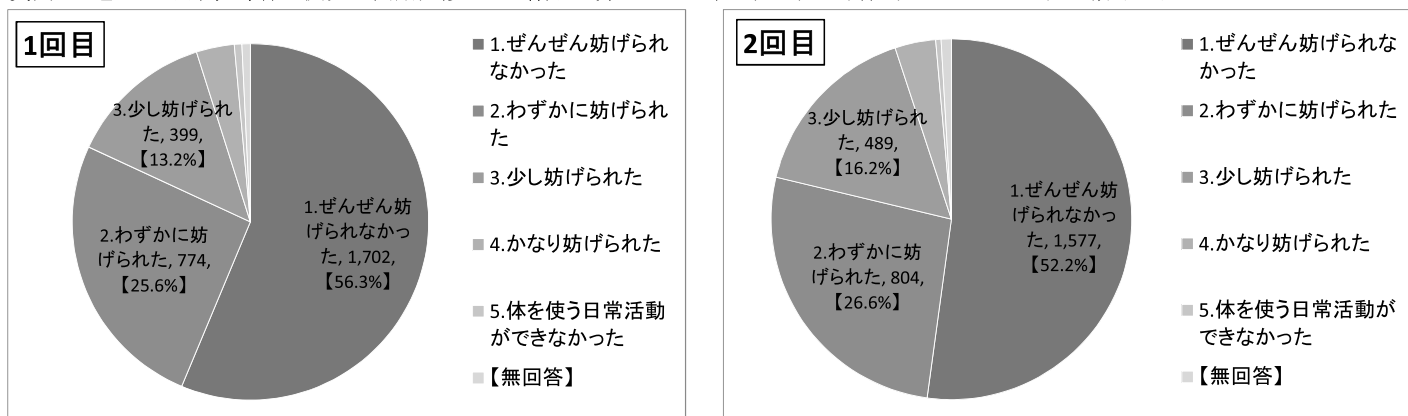
質問27:過去1か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.ぜんぜん痛みはなかった	596	19.7	530	17.5
2.かすかな痛み	631	20.9	612	20.2
3.軽い痛み	985	32.6	1,039	34.4
4.中くらいの痛み	598	19.8	622	20.6
5.強い痛み	179	5.9	172	5.7
6.非常に激しい痛み	19	0.6	24	0.8
【無回答】	15	0.5	24	0.8
計	3,023	100	3,023	100

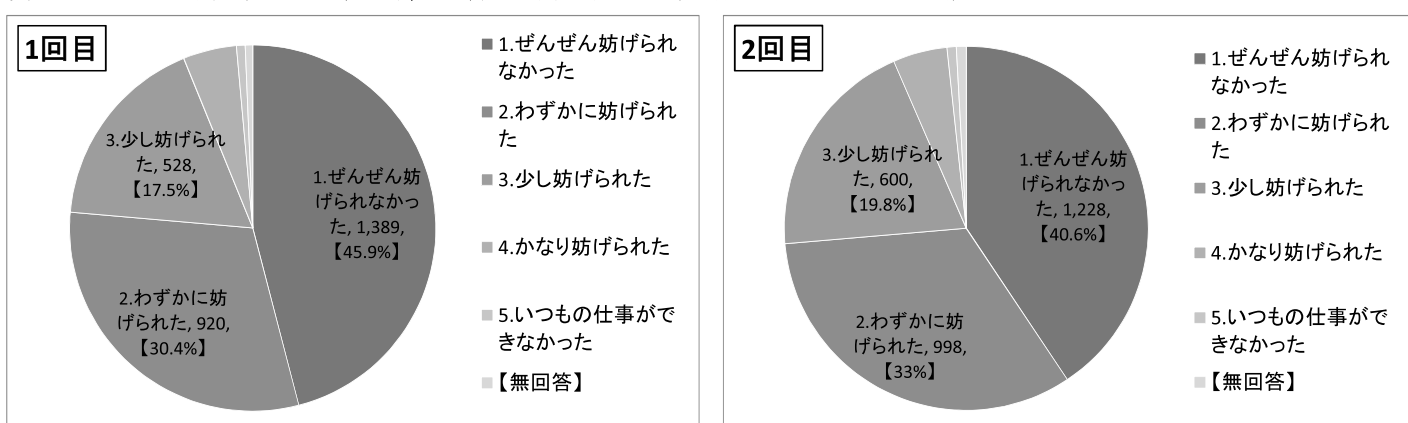
質問28:過去1か月間、どのくらい元気でしたか？

	1回目	%	2回目	%
1.非常に元気だった	124	4.1	100	3.3
2.かなり元気だった	963	31.9	932	30.8
3.少し元気だった	1,502	49.7	1,535	50.8
4.わずかに元気だった	335	11.1	317	10.5
5.ぜんぜん元気でなかった	88	2.9	118	3.9
【無回答】	11	0.4	21	0.7
計	3,023	100	3,023	100

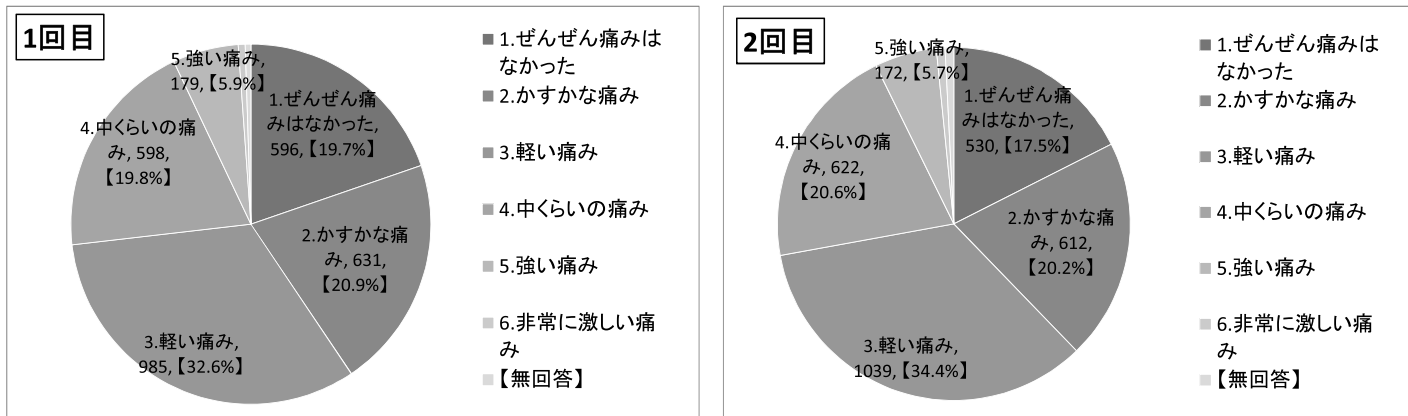
質問25:過去1か月間に、体を使う日常活動(歩いたり階段を昇ったりなど)をする事が身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？



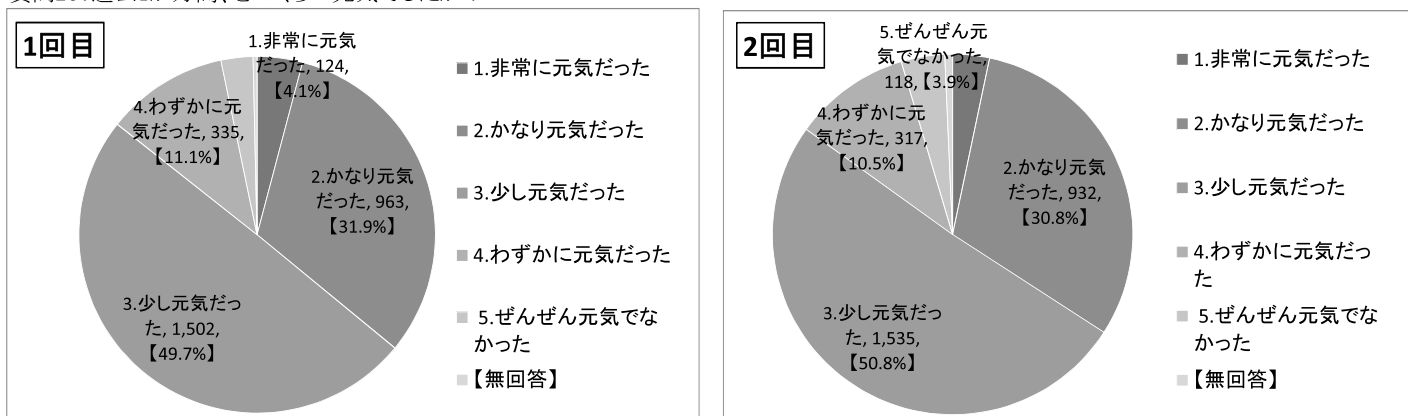
質問26:過去1か月間に、いつもの仕事(家事も含みます)をする事が、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？



質問27:過去1か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？



質問28:過去1か月間、どのくらい元気でしたか？



質問29:過去1か月間に、家族や友人との普段の付き合いが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.ぜんぜん妨げられなかった	1,419	46.9	1,367	45.2
2.わずかに妨げられた	803	26.6	857	28.3
3.少し妨げられた	581	19.2	576	19.1
4.かなり妨げられた	175	5.8	166	5.5
5.つきあいができなかった	34	1.1	32	1.1
【無回答】	11	0.4	25	0.8
計	3,023	100	3,023	100

質問30:過去1か月間に、心理的な問題(不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり)に、どのくらい悩まされましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.ぜんぜん悩まされなかった	438	14.5	389	12.9
2.わずかに悩まされた	907	30	963	31.9
3.少し悩まされた	973	32.2	948	31.4
4.かなり悩まされた	520	17.2	510	16.9
5.非常に悩まされた	175	5.8	192	6.4
【無回答】	10	0.3	21	0.7
計	3,023	100	3,023	100

質問31:過去1か月間に、日常行う活動(仕事・学校・家事などの普段の行動)が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？

	1回目	%	2回目	%
1.ぜんぜん妨げられなかった	1,134	37.5	1,089	36
2.わずかに妨げられた	1,002	33.1	1,048	34.7
3.少し妨げられた	655	21.7	609	20.1
4.かなり妨げられた	206	6.8	230	7.6
5.日常行う活動ができなかった	16	0.5	17	0.6
【無回答】	10	0.3	30	1
計	3,023	100	3,023	100

質問32:最後にあなたの身長などを教え下さい。(小数点以下省略)

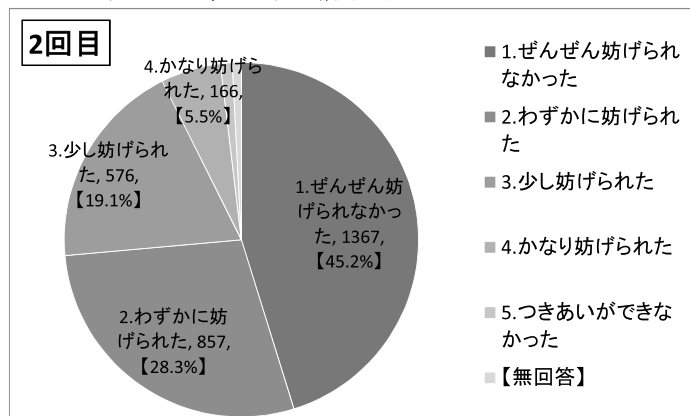
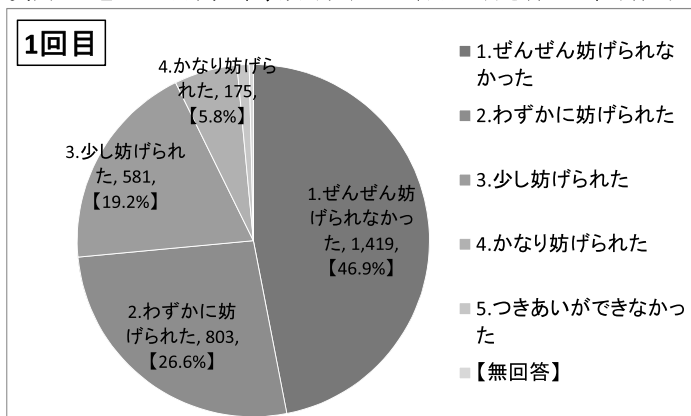
身長

	1回目	%	2回目	%
145cm以下	8	0.3	9	0.3
145～149	121	4	121	4
150～154	604	20	594	19.6
155～159	1,045	34.6	1,066	35.3
160～164	872	28.8	854	28.3
165～169	287	9.5	292	9.7
170cm以上	50	1.7	46	1.5
【無回答】	36	1.2	41	1.4
計	3,023	100	3,023	100

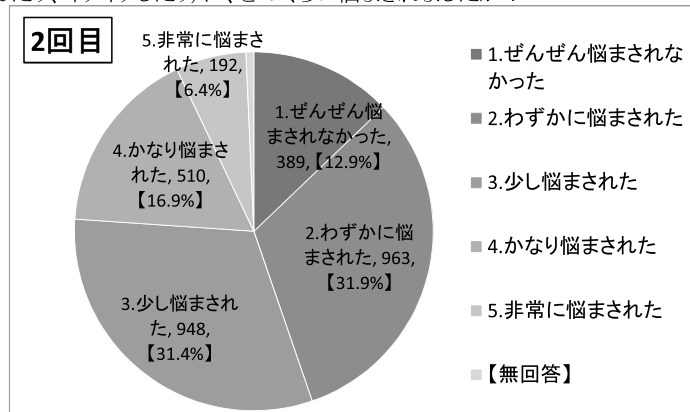
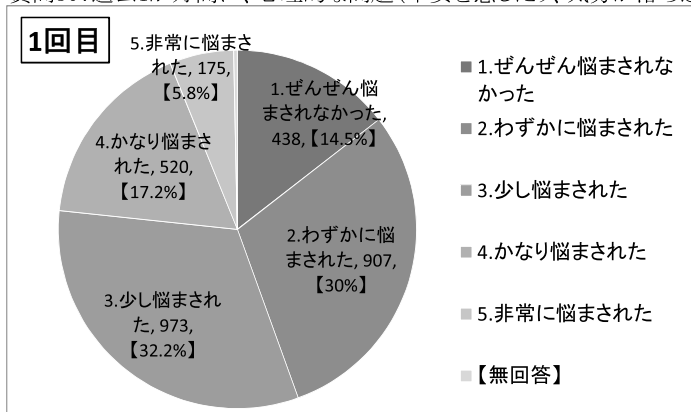
体重

	1回目	%	2回目	%
40kg以下	30	1	20	0.7
40～49	956	31.6	937	31
50～59	1,390	46	1,381	45.7
60～69	441	14.6	464	15.3
70kg以上	142	4.7	168	5.6
【無回答】	64	2.1	53	1.8
計	3,023	100	3,023	100

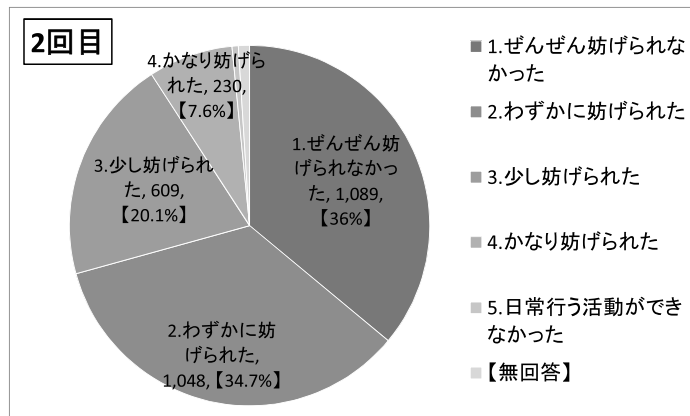
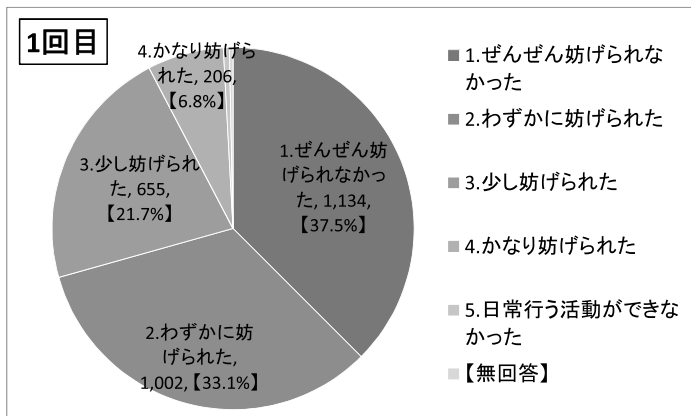
質問29:過去1か月間に、家族や友人との普段の付き合いが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？



質問30:過去1か月間に、心理的な問題(不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり)に、どのくらい悩まされましたか？



質問31:過去1か月間に、日常行う活動(仕事・学校・家事などの普段の行動)が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか？



⑥-B

「労災病院で働いている皆様へ」回収結果(2回目)

						データ未入力→				
	病院名	コード	到着枚数	入力枚数		未配布後提出者	退職者 転勤者 休職者	未記入提出	撤回書提出	入力不可 枚数合計
1	北海道中央	A	149	112		11	25	1	0	37
2	北海道せき損	B	62	35		20	7	0	0	27
3	釧路	C	181	106		35	40	0	0	75
4	青森	D	80	58		16	6	0	0	22
5	東北	E	160	119		20	17	1	3	41
6	秋田	F	94	69		14	10	0	1	25
7	福島	G	100	85		5	9	0	1	15
8	鹿島	H	44	24		12	8	0	0	20
9	千葉	I	130	71		31	21	0	7	59
10	東京	J	263	166		31	66	0	0	97
11	関東	K	231	153		34	44	0	0	78
12	横浜	L	315	155		74	85	0	1	160
13	燕	M	118	94		14	9	0	1	24
14	新潟	N	237	139		98		0	0	98
15	富山	O								
16	浜松	P								
17	中部	Q	375	241		79	54	0	1	134
18	旭	R	147	87		30	30	0	0	60
19	大阪	S	447	322		60	65	0	0	125
20	関西	T								
21	神戸	U	120	67		22	31	0	0	53
22	和歌山	V	254	210		5	38	1	0	44
23	山陰	W								
24	岡山	X	130	73		32	25	0	0	57
25	中国	Y	204	133		36	35	0	0	71
26	山口	Z								
27	香川	AA	266	136		129		1	0	130
28	愛媛	AB	135	97		21	17	0	0	38
29	九州	AC								
30	門司メディ	AD								
31	長崎	AE	116	84		22	10	0	0	32
32	熊本	AF	140	90		32	17	1	0	50
33	医療リハ(岡山)	AG	55	41		7	6	0	1	14
34	せき損(福岡)	AH	79	56		13	10	0	0	23
	計		4,632	3,023		903	685	5	16	1,609

⑥-C

労災病院女性職員へのアンケート調査手順

①貴院に勤務されている女性職員に配付

- ・それぞれ封筒①の名前の方に配付して下さい。(今回のアンケートは、1回目のアンケート調査に同意し、回答を提出された方が対象となっております。)
- ・名前の苗字が変わられている方のものは、本人確認後、配付をお願い致します。

②アンケートへの協力

- ・同意書に署名してから、アンケートに回答し提出してもらって下さい。
- ・同封しております同意撤回書は、各自保管方式にしております。

③アンケートの回収

- ・ 同封しております返送用封筒②に入れ、封緘された状態で回収して下さい。
- ・ 貴院で8月末を目途に女性職員よりアンケートを回収し、下記の「愛媛労災病院 研究事務局」まで郵送して下さい。
- ・ 同封しております返送用の着払伝票で返送して下さい。その際、伝票の「ご依頼主」欄に貴院名の記入をお願い致します。

④その他

(ア)同意撤回書について

- ・ 貴院の女性職員から同意撤回書が提出された場合は、署名等の確認後、下記の「愛媛労災病院 研究事務局」まで郵送して下さい(別添「同意の撤回手順」参照)。
- ・ 紛失時専用の同意撤回書の原本を添付しております。貴院の女性職員から同意撤回書を紛失した旨、申し出があった時は、必ずこちらをコピーしてご利用下さい。
- ・ 紛失されてしまいますと ID がわからなくなるため、記入項目に「病院名」、「年齢」を増やしております。

(イ)未配付アンケートについて

- ・ 転勤や退職された等の理由で、配付できずに手元に残ってしまったアンケート調査用紙は、回答済み調査用紙(封筒②)と合わせて郵送して下さい。

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号
愛媛労災病院 厚生労働省労災疾病臨床研究事務局
Tel : 0897-33-6191 Fax : 0897-33-6169
【担当者】
医事課長 久保 近敏 ijikachou@chimerosai.jp
事務担当員 大角 尚子

(対象者用)

労災病院女性職員へのアンケート調査手順表

《匿名性について》

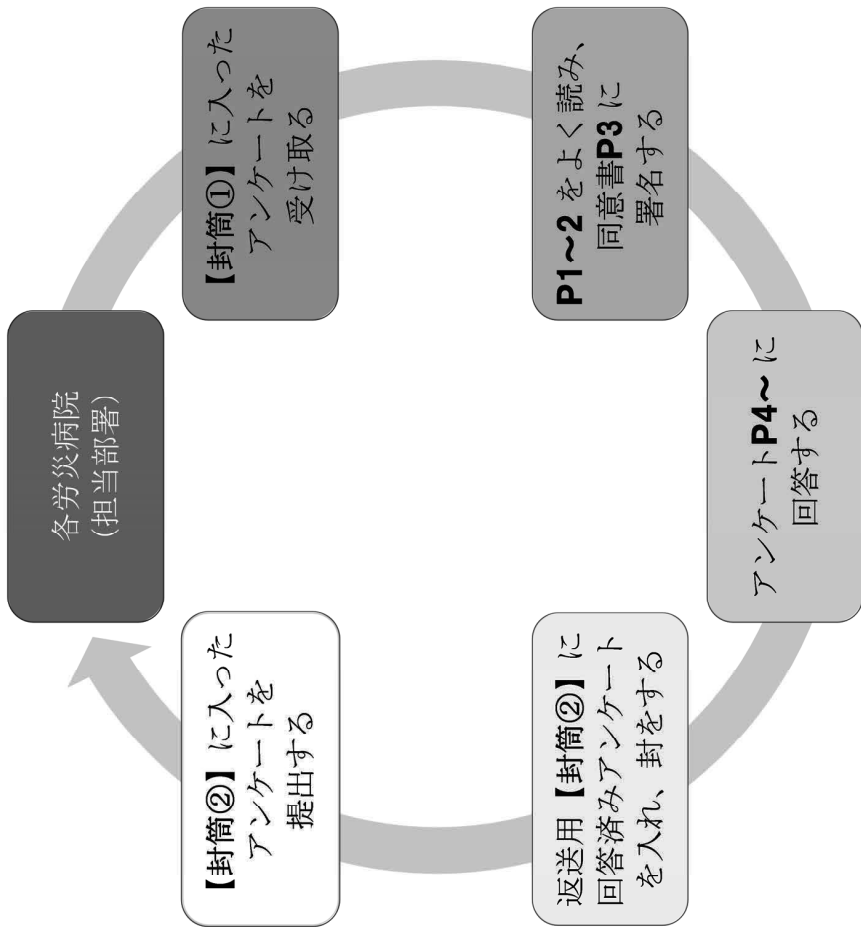
全国の各労災病院から回収したアンケート調査用紙は、「愛媛労災病院 研究事務局」にて開封し、アンケート調査用紙から同意書を切り離し、同意書と質問用紙は別々に保管処理します。従いまして、回答頂いた質問用紙単体では回答者個人を特定する事はできません。

《最終確認事項》

- ・ 同意書に署名
- ・ 同意撤回書は各自保管
(撤回書にも署名があれば除外されます)

《提出方法》

- ・ 必ずラベル (記名) の無い返送用【封筒②】に入れ、封をしてから、各労災病院 担当部署へ提出して下さい。



《同意撤回書について》

- ・ 同封しております同意撤回書は、各自保管して下さい。
- ・ アンケート回答後、同意撤回をされる場合は、確認者から署名をもらい、総務課に提出して下さい。
その場合、1 回目の同意も撤回と見なします。
- ・ 撤回受付期間は、平成29年12月31日 までと致します。
- ・ 撤回書を紛失された場合は、総務課に申し出て、必ず紛失時専用の撤回書を受け取り、使用して下さい。

配付用封筒

↓ラベル貼付

①

○ ○ 労災病院
① ② ③ ④ ⑤

【労災病院で働いている皆様へ】

「女性特有の疾患等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
(厚生労働省労災疾病臨床研究事業) アンケート追跡調査へのご協力をお願い

皆様には、平成27年度に実施致しました本臨床研究事業にご理解、ご協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

今般、全国労災病院女性職員2回目の追跡調査を実施する事になりました。本研究には、
より多くのデータが必要となります。下記の4点を同封しておりますので、皆様のご理解、
ご協力をお願い申し上げます。

愛媛労災病院
病院長 宮内 文久

- ・アンケート調査手順表
- ・アンケート調査用紙(同意書・質問用紙)
- ・同意撤回書
- ・返信用封筒②

厚生労働省労災疾病臨床研究事業

独立行政法人 労働者健康安全機構

愛媛労災病院

〒792-8550

愛媛県新居浜市南小松原13番27号

TEL 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

②

【各労災病院 担当部署様へ】

「女性特有の疾患等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
(厚生労働省労災疾病臨床研究事業) アンケート回収のお願い

皆様には、平成27年度に実施致しました本臨床研究事業にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、全国労災病院女性職員2回目の追跡調査を実施する事になりました。本研究には、より多くのデータが必要となります。

つきましては、こちらの 封筒②には回答済みのアンケート調査用紙が封入 されておりますので、各労災病院 担当部署にて取りまとめ、下記まで返送して頂くよう、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

愛媛労災病院
病院長 宮内 文久

回答済みアンケート調査用紙在中

厚生労働省労災疾病臨床研究事業

独立行政法人 労働者健康安全機構

愛媛労災病院

〒792-8550

愛媛県新居浜市南小松原 1 3 番 2 7 号

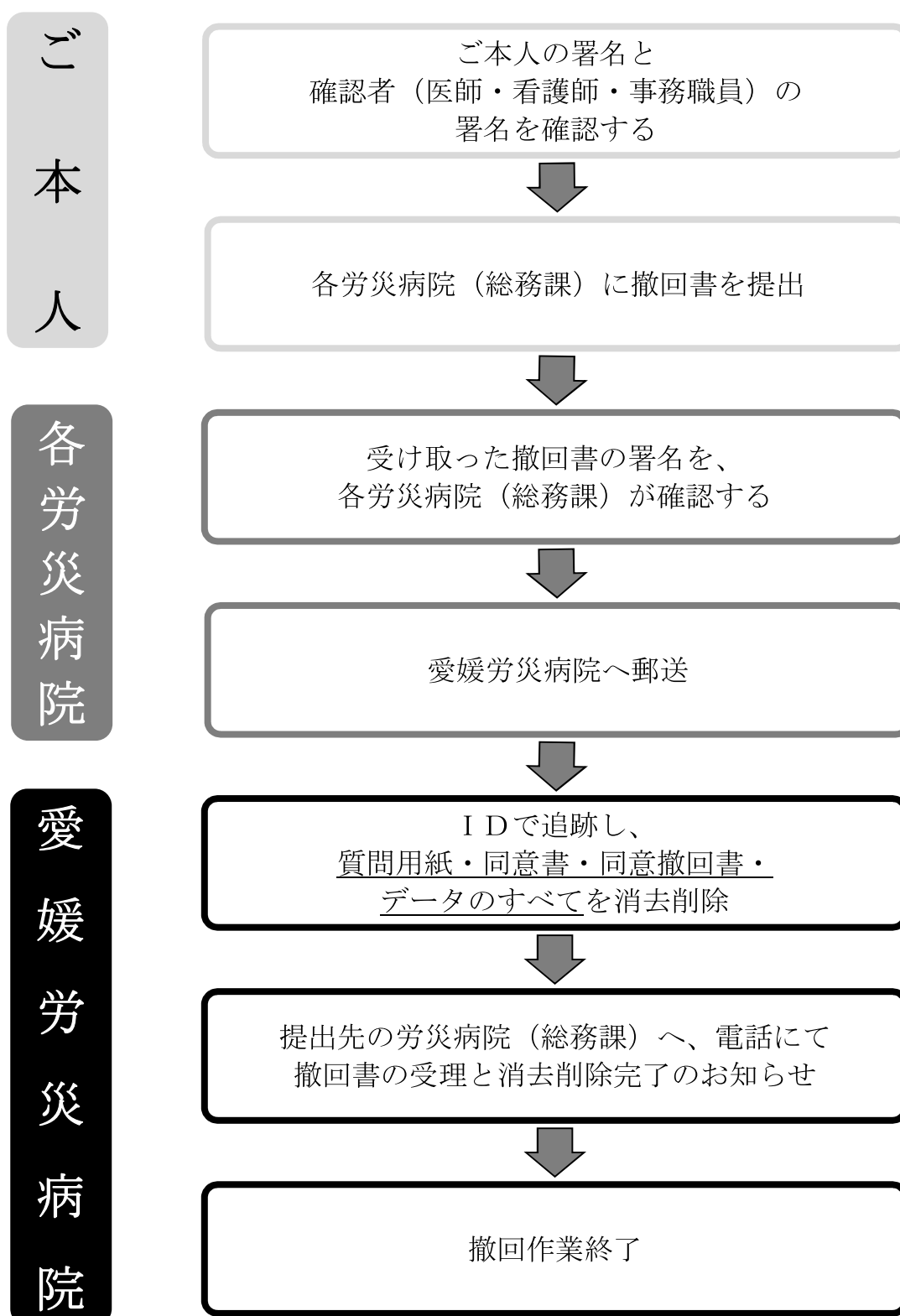
TEL 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

⑥-D

同意の撤回手順

撤回受付期間は、平成29年12月31日 までと致します。

1回目のアンケート調査の同意も撤回と致します。



同意撤回書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、標記研究内容と協力内容について説明を受け、本研究への協力について同意しましたが、これを撤回します。

ご本人(署名) (歳)
※楷書でご記入下さい。

病院名 労災病院
※上記は同意書に記名した時期（平成 29 年 4 月以降）の名前・年齢・病院名
でご記入下さい。

(記入日)平成 年 月 日
※撤回受付期間は、平成 29 年 12 月 31 日までと致します。

確認者(署名)
※確認者とは「医師・看護師・事務職員」と致します。

(確認日)平成 年 月 日

紛失用

⑥-E

労災病院で働いている皆様へ

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の
両立に関する調査研究」（厚生労働省労災疾病臨床研究事業）

追跡調査へのご協力をお願い

● 2年前と同じ質問内容となっております ●

1 はじめに

女性の社会進出が進む中で女性労働者がより快適な環境下で働くためには、女性特有の疾患である子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などの特徴を理解する事が重要です。そこで、これら女性特有の疾患の年齢分布や入院期間、就労による影響の有無などに関して検討を加える事は有意義と考えます。

2 職場におけるより良い労務管理を確立します

本研究により、女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労女性と非就労女性との差、就労時の問題点などが明らかとなります。つまり、女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにします。

3 多くの事例を集めることが必要です

女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などを明らかにし、性差に基づいた快適な職場環境を構築するためには、多くの皆様のご協力が必要です。

4 協力していただく研究内容

あなたの現在の状態や就労状態などを、ありのままにお答え下さい。

5 プライバシーを守ります

厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、行っています。
また、個人情報の保護等について最大限の倫理的な配慮をします。データは匿名化し、アンケートに答えた個人の情報は特定できません。個人識別情報へのアクセスは限定したスタッフのみとし、厳重に保管管理します。

6 労災疾病臨床研究事業です

厚生労働省の補助金を受けて、独立行政法人労働者健康安全機構が行います。この研究によって、心身共に健康に働く事が可能な職場環境を形成する事に繋がり、ひいては労災疾病の予防に役立てます。

7 研究協力は任意ですし、撤回も自由です

この研究へ参加するか、参加しないかは、ご自身の気持ちでご自由にお決め下さい。また、申し入れによりあなたのデータの利用を中断する事ができます。どうぞ、ご安心下さい。
なお、同意を撤回される場合は、同意撤回書をあなたが勤務されている各労災病院の総務課までご提出下さい。ただし、撤回受付期間は、平成29年12月31日までと致します。

8 倫理審査を受けています

この研究の方法、データの取り扱いなどは愛媛労災病院をはじめとして、各労災病院での倫理審査委員会の審査を受けています。

9 研究へのご協力をお願いします

2013年に行われた国の調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6,828億円、そのうち72%（約4,916億円）が労働損失と推計されています。今回の調査により更に正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにするためにも、より多くのデータが必要となるため皆様のご協力をお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構

研究代表者 愛媛労災病院 病院長 宮内 文久
住所 〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13-27
電話 0897-33-6191 FAX 0897-33-6169

同意書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」について説明を受け、目的、内容、協力への拒否権について理解しました。
よって、本研究への協力に同意いたします。

平成 年 月 日

ご本人(署名)
※楷書でご記入下さい。

※本研究では連結匿名化法を用いて個人情報を保護しています。
そのため、第三者が研究に際して個人を特定する事はできません。

本研究は全国の労災病院の女性従業員を対象としており、これまでにない大規模な研究です。
2年間で変化があるかどうかを検討するなど、極めて独創的な研究です。そのため、2年前
と質問内容等、変更しておりません。

質問1：あなたの年齢をお教え下さい。

----- 歳

質問2：あなたの職種についてお教え下さい。

- | | | |
|--------------|---------------------------------|--------------|
| 1. 医師 | 2. 看護師・看護助手 | 3. 薬剤師 |
| 4. 臨床検査技師 | 5. 理学療法士・言語聴覚士・作業療法士 | 6. 放射線技師 |
| 7. 管理栄養士・栄養士 | 8. 診療情報管理士 | 9. メディカルクラーク |
| 10. 事務職 | 11. その他（ <input type="text"/> ） | |

質問3：あなたの病院について、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 公称 200 床以下 | 2. 公称 201～300 床 | 3. 公称 301～400 床 |
| 4. 公称 401～500 床 | 5. 公称 501～600 床 | 6. 公称 601 床以上 |

質問4：あなたの勤務形態について最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| 1. 常勤 | 2. 非常勤 | 3. その他（ <input type="text"/> ） |
|-------|--------|--------------------------------|

質問5：あなたがこれまでに働いた期間は、どれくらいですか？
（労災病院だけでなく、これまでに働いた期間を通算して下さい。）

年間

質問6：あなたは準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に、現在従事していますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

質問 7 : あなたは 1 週間に準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事している時間を平均すると、どれくらいになりますか？

時間／週

質問 8 : あなたがこれまでに準夜勤務や深夜勤務などの夜間勤務に従事していた期間を通算すると、どれくらいになりますか？

年間

質問 9 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、下の選択肢の中から最もあてはまるものを1つ選んで下さい。-----

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| 1. 月経痛、月経の量が多い | 2. 月経不順または無月経 |
| 3. 月経と月経の間の痛み | 4. 月経前に具合が悪い |
| 5. 不正出血 | 6. 下腹痛 |
| 7. 腰痛 | 8. 赤ちゃんができない |
| 9. おりもの | 10. 外陰のかゆみ |
| 11. 外陰の痛み、できもの | 12. 更年期障害 |
| 13. 乳房のしこり | 14. 乳房のはり |
| 15. 頻尿、排尿痛 | 16. その他 () |
| 17. 特になし | |

質問 10 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調について、周囲は理解があると思いますか？-----

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 大変理解がある | 2. どちらかといえば理解がある |
| 3. どちらかといえば理解がない | 4. ほとんど理解がない |

質問 11 : 現在あなたが感じていらっしゃる不安や体の不調に、周囲の男性職員と女性職員のいずれから、より理解されていると思いますか？-----

- | |
|------------------|
| 1. 男性職員のほうが理解がある |
| 2. 女性職員のほうが理解がある |
| 3. どちらも同じ |

質問 12：現在月経は、順調ですか？不調ですか？-----

1. 順調
2. 不調
3. 月経なし（妊娠中・閉経後・その他）



「月経なし」と答えた方へ：

質問 17 へ



「順調」と答えた方へ：

質問 12-2：平均的な周期は何日ですか？約

日型

質問 13：月経は何日ぐらい続きますか？----- 約

日間

質問 14：月経の量を自分でどう思われますか？-----

1. 少ない

2. 普通

3. 多い

質問 15：月経時の痛み（下腹部痛・腰痛など）について、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

0. 痛みは、ほとんどない。
1. 痛みはあるが、日常生活は普通に行える。
2. 痛みのために、日常生活に差し支える事がある。鎮痛剤（痛み止めの薬）を飲むと、仕事などを休む事はほとんどない。
3. 痛みのために、日常生活に支障をきたしている。鎮痛剤を飲んでも仕事などを休む事が多い。
4. 痛みのために動く事もつらく、1日中横になっている。

質問 16：月経時の痛みのために、鎮痛剤を使用しますか？-----

1. はい
2. いいえ



「はい」と答えた方へ：

質問 16-2：1回の月経で、何日間ぐらい鎮痛剤を使用しますか？

1. 1日

2. 2日

3. 3日

4. 4日

5. 5日以上

6. たまに使用する

質問 17 : この半年間で、月経痛のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかった事が、1 日でもありましたか？-----☐

1. はい
2. いいえ（1 日もない）

「はい」と答えた方へ：
質問 17-2 : この半年間で、月経痛のため仕事を休んだのは何日間ですか？----- 約 日間

質問 17-3 : この半年間で、月経痛のため仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか？----- 約 日間

質問 17-4 : それらの日の仕事量は、平均すると普段の仕事量のどの程度でしたか？-----☐

1. 1/4 程度
2. 半分程度
3. 3/4 程度

質問 18 : 今まで月経痛のため、病院・医院など医療機関を受診した事がありますか？-----☐

1. ある
2. ない

「ある」と答えた方へ：
質問 18-2 : 何と診断されましたか？該当するものを選んで下さい。

- ☐
1. 子宮筋腫
 2. 子宮腺筋症
 3. 子宮内膜症
 4. 子宮内膜症性卵巣のう胞
 5. その他の卵巣腫瘍
 6. 月経困難症
 7. 月経前緊張症
 8. 特になし
 9. その他（）

質問 18-3 : 治療は何でしたか？該当するものを選んで下さい。

- ☐
1. 手術による治療
 2. 薬剤による治療
 3. 経過観察
 4. その他（）

質問 18-4 : 治療によって、月経中にも仕事がしやすくなりましたか？-----☐

1. しやすくなった
2. 変わらない
3. むしろ悪くなった

質問 19 : 現在更年期様症状 (のぼせ、発汗、だるさ、眠りが浅い、疲れ易いなど) について、最も当てはまるものを 1 つ選んで下さい。-----

1. 更年期様症状は、ほとんどない。もしくは、全くない。
2. 更年期様症状はあるが、日常生活は普通に行える。
3. 更年期様症状があり、日常生活に差し支える事がある。仕事を休む事はほとんどない。
4. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。仕事を休む事が多い。
5. 更年期様症状のために、日常生活に支障をきたしている。1 日中横になっている事が多い。

質問 20 : 現在更年期様症状のために、薬剤を使用していますか?-----

1. はい
2. いいえ

「はい」と答えた方へ：

質問 20-2 : 1 ヶ月で何日間ぐらい薬剤を使用しますか?-----

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 1 日 | 2. 2 日 | 3. 3 日 |
| 4. 4 日 | 5. 5 日 | 6. 6 日～10 日 |
| 7. 11 日～15 日 | 8. 16 日～20 日 | |
| 9. 21 日～25 日 | 10. 26 日～31 日 | |

質問 21 : この半年間で、更年期様症状のために、仕事を休んだり、仕事量を減らしたりせざるを得なかった事が、1 日でもありましたか?-----

1. はい
2. いいえ (1 日もない)

「はい」と答えた方へ：

質問 21-2 : この半年間で、仕事を休んだのは何日間ですか？

----- 約 日間

質問 21-3 : この半年間で、仕事を軽くしたり減らしたのは何日間ですか?----- 約 日間

質問 21-4 : それらの日の仕事は平均して、普段の仕事のどの程度でしたか?-----

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 1/4 程度 | 2. 半分程度 | 3. 3/4 程度 |
|-----------|---------|-----------|

質問 22：今まで更年期様症状のため、仕事を辞めたり転職した事がありますか？

1. ある

2. ない

質問 23：今まで更年期様症状のために、病院・医院など医療機関を受診した事がありますか？

1. ある

2. ない

「ある」と答えた方へ：
質問 23-2：治療によって、仕事がしやすくなりましたか？

1. しやすくなった 2. 変わらない 3. むしろ悪くなった

質問 24：全体的にみて、過去 1 か月間のあなたの健康状態はいかがでしたか？-----

1. 最高に良い

2. とても良い

3. 良い

4. あまり良くない

5. 良くない

6. ぜんぜん良くない

質問 25：過去 1 か月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をする事が身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた

4. かなり妨げられた 5. 体を使う日常活動ができなかった

質問 26：過去 1 か月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をする事が、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか？-----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた

4. かなり妨げられた 5. いつもの仕事ができなかった

質問 27：過去 1 か月間に、体の痛みはどれくらいありましたか？-----

1. ぜんぜん痛みはなかった

2. かすかな痛み

3. 軽い痛み

4. 中くらいの痛み

5. 強い痛み

6. 非常に激しい痛み

質問 28 : 過去 1 か月間、どのくらい元気でしたか? -----

1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった 3. 少し元気だった
4. わずかに元気だった 5. ぜんぜん元気でなかった

質問 29 : 過去 1 か月間に、家族や友人との普段の付き合いが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか? -----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた 5. 付き合いができなかった

質問 30 : 過去 1 か月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか? -----

1. ぜんぜん悩まされなかった 2. わずかに悩まされた 3. 少し悩まされた
4. かなり悩まされた 5. 非常に悩まされた

質問 31 : 過去 1 か月間に、日常行う活動（仕事・学校・家事などの普段の行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか? -----

1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた
4. かなり妨げられた 5. 日常行う活動ができなかった

質問 32 : 最後にあなたの身長などを教え下さい。（小数点以下省略）

身長 cm

体重 kg

質問は以上です。お疲れ様でした。
ご協力、ありがとうございました。

同意書の署名を確認後、返信用封筒②に入れ、封をし、
勤務されている労災病院 担当部署まで提出して下さい。
撤回書は、各自保管をお願い致します。

ラベル欄

同意撤回書

「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究」

研究代表者 独立行政法人労働者健康安全機構
愛媛労災病院長 宮内 文久 殿

私は、標記研究内容と協力内容について説明を受け、本研究への協力について同意しましたが、これを撤回いたします。

ご本人(署名)

※楷書でご記入下さい。

平成 年 月 日

※撤回受付期間は、平成 29 年 12 月 31 日までと致します。

確認者(署名)

※確認者とは「医師・看護師・事務職員」と致します。

平成 年 月 日

《11》アンケート調査に御協力頂いた病院・企業・機関

- (1) 「労災病院で働いている皆様へ」1回目
全国労災病院【女性職員対象】(34病院の内 28病院)
- (2) 「当院産婦人科を受診された患者様へ」
全国労災病院【産婦人科外来がある病院対象】(24病院の内 13病院)
- (3) 「当院産婦人科で手術をお受けになった患者様へ」
全国労災病院【産婦人科による手術を行う病院対象】(21病院の内 8病院)
- (4) 「職場や自治会の皆様、人間ドックを受診されている皆様へ」
全国労災病院【人間ドックを行う病院で女性対象】(31病院の内 21病院)
愛媛県新居浜市内企業【女性対象】
 - ・伊予銀行
新居浜支店・高津支店・新居浜東支店・角野支店・中萩支店・
船木支店・登道支店
 - ・愛媛銀行
新居浜支店・新居浜東支店・角野支店・中萩支店・泉川支店
 - ・三井住友銀行 新居浜支店
 - ・住友生命保険相互会社 新居浜支店
 - ・住友化学(株)
大江工場・愛媛工場
 - ・住友金属鉱山(株) 別子事業所
 - ・住友林業(株) 新居浜事業所
 - ・住友林業クレスト(株) 新居浜工場
 - ・住友重機械工業(株) 愛媛製造所 新居浜工場
 - ・(株)ハタダ 本社・工場
 - ・(株)フジ フジグラン新居浜
 - ・プライムデリカ(株) 新居浜工場愛媛県新居浜市関係者【女性対象】
 - ・新居浜市役所職員・市内にある小中学校の教職員・PTA関係者
- (5) 「企業の中間管理職や衛生管理スタッフの皆様へ」
全国産業保健総合支援センター【男女対象】(47施設の内 38施設)
愛媛県新居浜市内企業(上記に記載)【男女対象】
- (6) 「労災病院で働いている皆様へ」2回目
全国労災病院【1回目アンケート回答済み女性職員対象】(28病院の内 27病院)

D. 検討結果の発表・公表

論文発表

- (1) 就労が女性特有の疾患の手術時期に及ぼす影響(労働者健康安全機構が有する病職歴データベースから)
宮内文久、大角尚子、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、
藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、辰田仁美、東矢俊光
日本職業・災害医学会会誌 64 巻(6号) 349-357 2016 年
- (2) 就労女性が子宮筋腫の手術を受ける時に職場から受ける影響
宮内文久、大角尚子、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、
藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、辰田仁美、東矢俊光
日本職業・災害医学会会誌 65 巻(5号) 276-282 2017 年
- (3) 女性特有の疾患に対する男性中間管理職と女性中間管理職の認識の差
宮内文久、大角尚子、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、
藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、辰田仁美、東矢俊光
日本職業・災害医学会会誌 65 巻(6号) 350-357 2017 年
- (4) 産業保健スタッフに期待される「女性活躍」支援 自身の健康管理よりも職場への配慮が優先 働く女性の受診と治療を阻む要因を探る
宮内文久
産業保健と看護 9 巻(6号) 536-539 2017 年
- (5) 子宮筋腫より見えてきた就労の影響
宮内文久、大角尚子、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、
藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、辰田仁美、東矢俊光
日本職業・災害医学会会誌 66 巻(2号) 129-137 2018 年
- (6) 夜勤交代制勤務 Night shift work
宮内文久
産業医学レビュー 30 巻(3号) 207-217 2018 年
- (7) 夜間勤務が月経痛へ及ぼす影響 Influence of night shift work on dysmenorrhea.
宮内文久、大角尚子、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、
藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、辰田仁美、東矢俊光
日本職業・災害医学会会誌 66 巻(3号) 221-226 2018 年

学会発表

- (1) 働く女性の健康管理 第1報
宮内文久、平野真理、南條和也
第61回愛媛県産婦人科医会学術講演会、平成28年5月28日、松山市
- (2) 就労が子宮筋腫、子宮頸癌の手術時期におよぼす影響
宮内文久
第26回日本産業衛生学会全国協議会、平成28年9月9日、京都市
- (3) 働く女性の健康管理 第2報
宮内文久、平野真理、南條和也、松本譲二
第69回中国四国産科婦人科学会学術集談会、平成28年9月25日、高松
- (4) 女性特有の疾患が就労に及ぼす影響
宮内文久
第64回日本職業災害学会、平成28年10月23日、仙台市

- (5) 女性の健康管理
宮内文久
第14回女性医療フォーラム、平成28年11月5日、新居浜市
- (6) 就労と子宮筋腫、子宮頸癌の手術を受ける年齢との関係
宮内文久
第24回日本産業ストレス学会、平成28年11月25日、東京都
- (7) 就労が女性特有の疾病等に及ぼす影響
宮内文久、香川秀之、星野寛美、松江陽一、中山昌樹、藤原多子、志岐保彦、伊藤公彦、東矢俊光
第69回日本産科婦人科学会、平成29年4月13日、広島市
- (8) 子宮筋腫をめぐる治療と就労の両立支援
宮内文久
第90回日本産業衛生学会、平成29年5月12日、東京都
- (9) 子宮筋腫に対する就労女性の対応
宮内文久、平野真理、南條和也、松本譲二
第63回愛媛県産婦人科医会学術集談会、平成29年5月27日、松山市
- (10) 夜間労働時のコルチゾール、DHEA濃度の変化に及ぼす年齢の影響
宮内文久
第90回日本内分泌学会学術総会、平成29年4月21日、京都市
- (11) 子宮筋腫をめぐる治療と就労の両立支援：職場での健康教育の必要性
宮内文久
第32回日本女性医学学会学術集会、平成29年11月4日、大阪市
- (12) 夜間勤務における cortisol、DHEA の変化に及ぼす年齢の影響
宮内文久
第65回日本職業・災害医学会学術大会、平成29年11月25日、北九州市
- (13) 子宮筋腫に対する産業衛生管理スタッフの重要性
宮内文久
第25回日本産業ストレス学会、平成29年12月8日、静岡市
- (14) 子宮筋腫と働く女性
宮内文久
第62回日本生殖医学会学術講演会・総会、平成29年11月18日、下関市
- (15) Influence of Age on Cortisol and DHEA Concentrations Among Women Working at Night
宮内文久
ENDO 2018（米国内分泌学会（100））、平成30年3月18日、アメリカ シカゴ

講演発表

- (1) 働く女性の健康管理
宮内文久
神戸市医師会産業医研修会、平成28年8月6日、神戸市
- (2) 労働環境と働く女性の健康管理
宮内文久
愛媛産業保健セミナー、平成28年11月11日、宇和島市

- (3) 多様な就労支援について 病気をしても働くために～治療と仕事の両立支援～ 講演会
宮内文久
平成 29 年 12 月 3 日、松山市
- (4) 日常生活における女性の健康管理
宮内文久
新居浜市立図書館 健康・医療情報講演会、平成 29 年 6 月 10 日、新居浜市
- (5) 女性の健康管理と労働環境
宮内文久
全国労働衛生週間実施要綱説明会、平成 29 年 9 月 6 日、宇和島市
- (6) 女性の健康管理と労働環境
宮内文久
全国労働衛生週間実施要綱説明会、平成 29 年 9 月 7 日、八幡浜市

資料 1

別紙様式第 1

受付番号 第 60 号

倫理審査申請書

平成 27 年 5 月 11 日提出

労働者健康福祉機構愛媛労災病院
臨床倫理委員会委員長 宮内文久 殿

申請者 所属 職： 労働者健康福祉機構愛媛労災病院 院長
氏名： 宮内文久 印

1. 課題名
厚生労働省平成 27 年度労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」

2. 実施責任者
所属 愛媛労災病院 職 院長 氏名 宮内 文久

3. 分担責任者

所属	群馬大学大学院	職	教授	氏名	林 邦彦
	山口大学大学院		教授		杉野 法広
	関東労災病院		副院長		香川 秀之
	熊本労災病院		副院長		東矢 俊光
	東京労災病院		部長		松江 陽一
	横浜労災病院		部長		中山 昌樹
	中部労災病院		部長		藤原 多子
	大阪労災病院		部長		志岐 保彦
	関西労災病院		部長		伊藤 公彦
	関東労災病院		部長		星野 寛美
	和歌山労災病院		部長		辰田 仁美

4. 目的

男女雇用機会均等法の改正に伴い、職場での男女の共同作用が期待されている。しかし、女性は卵巣から分泌されるホルモンの影響を受け、女性特有の月経周期が存在し、ホルモンの影響を受ける子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などが出現する。このような女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかにされているとはいえない。

そのため、本研究では

- (1) 労働者健康福祉機構が有している病職歴データ（過去30年の病歴が570万件、職歴は280万件）からの調査、解析、
- (2) 産婦人科外来での患者の実態調査、
- (3) 職場や自治会、検診受診者など一般婦人の実態調査、
- (4) 女性特有の疾患に対する中間管理職や産業保健スタッフの理解度と対応の把握、
- (5) 全国の労災病院の女性従業員を対象とした女性特有の疾患の経年変化の観察を行う。この労災病院の女性従業員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、相互比較を行う。

本研究によって女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などが明らかとなり、解析によって女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響が明らかとなる。本研究の知見は労働行政に基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境が提供可能となる。

5. 研究あるいは医療の対象

- (1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

労働者健康福祉機構に在籍している診療情報管理士によって解析を行い、子宮筋腫で入院した患者の年齢、入院期間、職種によって発生頻度に差があるかどうか、就労婦人と非就労婦人あるいは就労婦人の中でも正規就労者と非正規就労者との間に差があるかどうかを検討する。また、子宮筋腫で入院した患者と子宮内膜症で入院した患者との間で差があるのかも合わせ検討する。

なお、諸外国では夜間交替勤務に従事している看護師は乳癌の危険因子と断定されているが日本での大規模調査に基づく報告は行われていない。そこで、本調査時に合わせて乳癌の発生率と職業との関係についても、合わせて調査する。

- (2) 産婦人科外来での患者の実態調査

全国の労災病院産婦人科で子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害と診断した婦人に質問紙を配布し、患者の実態を調査する。月経痛や過多月経、腰痛、性交痛などの症状の有無、貧血の有無、症状を自覚した日時と初診日時との期間、受診時に配慮した事情（家庭の事情、職場の事情、行事など）、就労婦人と非就労婦人との間に差があるかどうか、などを検討する。

また、子宮筋腫・子宮内膜症で入院した患者に質問紙を配布し、入院を決心した事情、退院を決心した時の事情、入院中の心配事などを検討する。

(3) 職場や自治会、検診受信者を通じた一般婦人における実態調査

職場や自治会、検診受診者に上記(2)で用いた質問紙を配布し、一般婦人における症状の出現率や有病率を調査する。

(4) 会社の中間管理職や産業衛生スタッフの意識調査

「生理休暇をとりたくても上司の理解がなくて取れない」「生理休暇をとると周りから白い目で見られる」などの発言あることから、会社の中間管理職や産業保健スタッフに質問紙を配布し、女性特有の疾患の理解度を調査する。また、男性中間管理職と女性中間管理職との間に理解度に差異があるかも合わせて検討する。

(5) 女性の経年変化

全国の労災病院で働いている女性の医師、看護師、薬剤師、検査技師に上記(2)で用いた質問紙を配布し、症状の出現率を調査する。全く同じ調査を2年後に行い、2年間による症状の変化、症状の出現率を比較調査する。また、これらの成績に関しては全国の労災病院の女性従業員を対象とした調査と全国的女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、比較解析する。さらに、夜間勤務従事年数とBMIとの関係を解析する。

6. 実施場所

愛媛労災病院 本研究は独立行政法人労働者健康福祉機構愛媛労災病院内に設置されている「働く女性メディカルセンター」において調査分析および解析を行う。また、データの収集は全国の労災病院との協力のもとに実施する。

7. 実施計画

(1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

平成27年度に解析を完了。

(2) 産婦人科外来での患者の実態調査

(2-1) 平成27年6月～平成27年9月 全国の労災病院の病院長、産婦人科部長に研究趣意書を発送し、了解を得る。

(2-2) 平成27年10月～平成28年10月 全国の労災病院の産婦人科外来に質問紙を配送し、約1千人の患者から実態調査を行う。

(2-3) 平成28年11月～平成29年5月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(3) 一般婦人における実態調査

(3-1) 平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業、自治会、検診センターに研究趣意書を発送し、了解を得る。

(3-2) 平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業、自治会、検診センターに質問紙を配送し、約2千人の婦人から実態調査を行う。

(3-3) 平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(4) 会社の中間管理職、産業衛生スタッフの意識調査

(4-1) 平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業に直接に、あるいは地域産業保健支援センターを経由して研究趣意書を発送し、了解を得る。

(4-2) 平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業に質問紙を配送し、約2百人の中間管理職から実態調査を行う。

(4-3) 平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(5) 女性の経年変化

(5-1) 平成 27 年 6 月～平成 27 年 9 月 全国の労災病院の病院長、産婦人科部長に研究趣意書を発送し、了解を得る。

(5-2) 平成 27 年 10 月～平成 27 年 11 月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従事者に実態調査を行う。

(5-3) 平成 29 年 10 月～平成 29 年 11 月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従事者に実態調査を再度行う。

(5-4) 平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月 質問結果を excel に入力し、解析する。
また、全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）においても比較検討する。

8. 研究あるいは医療によって生じる個人への不利益ならびに危険性について

本研究は人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 27 年 4 月 1 日施行予定）を遵守し、労働者健康福祉機構愛媛労災病院倫理委員会の承認を得て実施される。また、個々の対象者へは十分な説明と同意を事前に行い、いつでも削除可能であることを周知する。得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

9. 医学および医療上の貢献度

男性と女性が同じ立場で働くことを、現在は求められている。一方、日本人女性における月経に伴う日常生活への負担に関する 2013 年の調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は 6828 億円、そのうち 72%（約 4916 億円）が労働損失と推計している。しかしこれは限られた範囲の調査であったため、正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにすることはできていない。

そのため、月経に悩む女性の訴えの詳細、正確な有病率・有所見率、治療を必要とする女性の実態を的確に把握することは、これからの労働行政の基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境の提供が可能となる。また、夜間労働が BMI を増加させるとの結果が明らかになれば、夜間交代制勤務に従事している女性労働者に警告を発することが可能となり、適切な労務管理に資することから、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することとなり、ひいては労災疾病の予防に繋がると考える。

10. 研究あるいは医療実施時における対象となる個人の人権の擁護に対する配慮

およびその個人の理解と同意について

(1) 被験者の人権擁護への配慮

本研究は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 27 年 4 月 1 日施行予定）に則り、愛媛労災病院倫理委員会の承認を得て実施される。

また、個々の対象者への事前の説明を十分に行い、同意を得るとともに、申し入れにより何時でもその利用を中断することが可能であることも説明し同意を得て行なう。なお、労災病院の女性従業員に対する調査では経年変化を観察することから、健康状態についての 2 年間の追跡調査であることを明記し、同意を得て行う。さらに、得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

参加対象者および採取したデータの使用も含めて、個人情報の保護等について、最大限の倫理的な配慮をする。そのため、データは対象者番号の付与により匿名化し、個人識別情報へのアクセスは研究代表者が指名したスタッフに限定され、厳重に保管管理されている。データ解析に際しては、対象者番号を用いて匿名化された調査票情報のみを取り扱い、専用のポータブルハードディスク内に蓄積し、USBに移行する場合は統計処理後の数量に限定する。学会発表や論文発表に際しては統計処理後の数値だけを利用し、アンケートに答えた個人の情報は特定できないこととする。

さらに、研究ホームページを開設し、研究内容を広く公表し、調査対象者を含めて誰もが研究について知りえるようする。

(2) 被験者（あるいはその保護者）に理解を求め同意を得る方法

同意の種類（口頭／文書）

(3) 研究によって被験者に生じうる危険性あるいは不快とそれに対する配慮

質問に答える際に不快の念が生じるかもしれないが、これも十分な説明で対応可能と考えている。なお、本研究事業に際して研究活動に因る負傷あるいは疾病罹患の危険性は無いと考え、安全衛生面での配慮は不要である。

11. その他

なし

通知番号 第60号

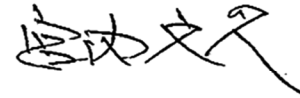
審査結果通知書

平成27年5月14日

申請者 愛媛労災病院
院長 宮内 文久 殿

独立行政法人 労働者健康福祉機構 愛媛労災病院

臨床倫理委員会委員長

 印

受付番号 第60号

課題名 厚生労働省労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」

上記の実施計画（成果の公表）について審査（再審査）の結果、下記のとおり判定したので通知します。

記

判定	1 承認	2 条件付承認
	3 計画変更の勧告	4 不承認
	5 対象外	

理由、勧告、意見など
同意撤回書を添付する

資料 2

受付番号 第 号

倫 理 審 査 申 請 書

平成 2 7 年 1 1 月 9 日提出

労働者健康福祉機構愛媛労災病院
臨床倫理委員会委員長 木戸 健司 殿

申請者 所属 職：労働者健康福祉機構愛媛労災病院 院長
氏 名： 宮 内 文 久 印

1. 課題名
厚生労働省平成 2 7 年度労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」

2. 実施責任者
所属 愛媛労災病院 職 院長 氏名 宮内 文久

3. 分担責任者
所属 群馬大学大学院 職 教授 氏名 林 邦彦
山口大学大学院 教授 杉野 法広
関東労災病院 副院長 香川 秀之
熊本労災病院 副院長 東矢 俊光
東京労災病院 部長 松江 陽一
横浜労災病院 部長 中山 昌樹
中部労災病院 部長 藤原 多子
大阪労災病院 部長 志岐 保彦
関西労災病院 部長 伊藤 公彦
関東労災病院 医師 星野 寛美
和歌山労災病院 部長 辰田 仁美

4. 目的

男女雇用機会均等法の改正に伴い、職場での男女の共同作用が期待されている。しかし、女性は卵巣から分泌されるホルモンの影響を受け、女性特有の月経周期が存在し、ホルモンの影響を受ける子宮筋腫や子宮内膜症、更年期障害などが出現する。このような女性特有の疾患の発生頻度や年齢分布、手術などの治療を必要とする頻度、就労婦人と非就労婦人との差、就労時の問題点などが明らかにされているとは言い難い。

そのため、本研究では

- (1) 労働者健康福祉機構が有している病職歴データ（過去30年の病歴が570万件、職歴は280万件）からの調査、解析、
- (2) 産婦人科外来及び入院患者の実態調査、
- (3) 職場や自治会、検診受診者など一般婦人の実態調査、
- (4) 女性特有の疾患に対する中間管理職や産業保健スタッフの理解度と対応の把握、
- (5) 全国の労災病院の女性従業員を対象とした女性特有の疾患の経年変化の観察を行う。この労災病院の女性従業員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、相互比較を行う。

本研究によって女性特有の疾患に悩む女性の訴えの詳細、正確な有所見の頻度、治療を必要とする女性の実態などが明らかとなり、解析によって女性特有の疾患の正確な実態や社会に及ぼす影響が明らかとなる。本研究の知見は労働行政に基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境が提供可能となる。

5. 研究あるいは医療の対象

- (1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

労働者健康福祉機構に在籍している診療情報管理士によって解析を行い、子宮筋腫で入院した患者の年齢、入院期間、職種によって発生頻度に差があるかどうか、就労婦人と非就労婦人あるいは就労婦人の中でも正規就労者と非正規就労者との間に差があるかどうかを検討する。また、子宮筋腫で入院した患者と子宮内膜症で入院した患者との間で差があるかどうかも含めて検討する。

なお、諸外国では夜間交替勤務に従事している看護師は乳癌の危険因子と断定されているが日本での大規模調査に基づく報告は行われていない。そこで、本調査時に合わせて乳癌の発生率と職業との関係についても、合わせて調査する。

- (2) 産婦人科外来での患者の実態調査

全国の労災病院産婦人科で子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害と診断した婦人に質問紙を配布し、患者の実態を調査する。月経痛や過多月経、腰痛、性交痛などの症状の有無、貧血の有無、症状を自覚した日時と初診日時との期間、受診時に配慮した事情（家庭の事情、職場の事情、行事など）、就労婦人と非就労婦人との間に差があるかどうか、などを検討する。

また、子宮筋腫・子宮内膜症で入院した患者に対し、術後1か月後の外来診療時に質問紙を配布し、入院を決心した事情、退院を決心した時の事情、入院中の心配事などを検討する。

- (3) 職場や自治会、検診受信者を通じた一般婦人における実態調査

職場や自治会、検診受診者に質問紙を配布し、一般婦人における症状の出現率や有病率を調査する。

(4) 会社の中間管理職や産業衛生スタッフの意識調査

「生理休暇をとりたくても上司の理解がなくて取れない」「生理休暇をとると周りから白い目で見られる」などの発言あることから、会社の中間管理職や産業保健スタッフに質問紙を配布し、女性特有の疾患の理解度を調査する。また、男性中間管理職と女性中間管理職との間に理解度に差異があるかも合わせて検討する。

(5) 女性の経年変化

全国の労災病院で働いている女性職員に質問紙を配布し、症状の出現率を調査する。全く同じ調査を2年後に行い、2年間による症状の変化、症状の出現率を比較調査する。また、これらの成績に関しては全国の労災病院の女性職員を対象とした調査と全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）において、比較解析する。さらに、夜間勤務従事年数とBMIとの関係を解析する。

6. 実施場所

愛媛労災病院 本研究は独立行政法人労働者健康福祉機構愛媛労災病院内に設置されている「働く女性メディカルセンター」において調査分析および解析を行う。また、データの収集は全国の労災病院及び産業保健総合支援センターとの協力のもとに実施する。

7. 実施計画

(1) 労働者健康福祉機構が保有している病職歴データの利用

平成27年度に解析。

(2) 全国労災病院に協力依頼

(3) 産婦人科外来での患者の実態調査

(3-1) 平成28年1月～平成28年10月 全国の労災病院の産婦人科外来に質問紙を配送し、約1千人の患者から実態調査を行う。

(3-2) 平成28年11月～平成29年5月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(4) 産婦人科で手術を受けた患者の実態調査

(4-1) 平成28年1月～平成28年10月 全国の労災病院の産婦人科外来に質問紙を配送し、手術を受けた患者の術後診察時に約1千人の患者に質問紙を手渡し実態調査を行う。

(4-2) 平成28年11月～平成29年5月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(5) 一般婦人における実態調査

(5-1) 平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業、自治会に研究趣意書を発送し、了解を得る。

(5-2) 平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業、自治会に質問紙を配送し、約2千人の婦人から実態調査を行う。

(5-3) 平成29年1月～平成29年8月 質問結果をexcelに入力し、解析する。

(6) 会社の中間管理職、産業衛生スタッフの意識調査

(6-1) 平成27年10月～平成27年12月 全国あるいは地元の企業に直接に、あるいは産業保健総合支援センターを経由して研究趣意書を発送し、了解を得る。

(6-2)平成28年1月～平成28年12月 了解を得た企業に質問紙を配送し、約2百人の中間管理職から実態調査を行う。

(6-3)平成29年1月～平成29年8月 質問結果を excel に入力し、解析する。

(7)女性の経年変化

(7-1)平成28年1月～平成28年11月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従業員に実態調査を行う。

(7-2)平成29年10月～平成29年11月 全国の労災病院に質問紙を配送し、女性従事者に実態調査を再度行う。

(7-3)平成29年12月～平成30年2月 質問結果を excel に入力し、解析する。また、全国の女性看護師を対象にしたコホート研究（日本ナースヘルス研究）においても比較検討する。

8. 研究あるいは医療によって生じる個人への不利益ならびに危険性について

本研究は人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成27年4月1日施行）を遵守し、労働者健康福祉機構愛媛労災病院臨床倫理委員会の承認を得て実施される。また、個々の対象者へは十分な説明と同意を事前に行い、いつでも削除可能であることを周知する。得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行なわないことを明記する。

9. 医学および医療上の貢献度

男性と女性が同じ立場で働くことを、現在は求められている。一方、日本人女性における月経に伴う日常生活への負担に関する2013年の調査では、月経に悩む女性が社会へ与える年間経済的負担額は6828億円、そのうち72%（約4916億円）が労働損失と推計している。しかしこれは限られた範囲の調査であったため、正確な実態や社会に及ぼす影響を明らかにすることはできていない。

そのため、月経に悩む女性の訴えの詳細、正確な有病率・有所見率、治療を必要とする女性の実態を的確に把握することは、これからの労働行政の基本情報を提供することとなり、性差に基づいた快適な職場環境の提供が可能となる。また、夜間労働がBMIを増加させるとの結果が明らかになれば、夜間交代制勤務に従事している女性労働者に警告を発することが可能となり、適切な労務管理に資することから、心身共に健康に働くことが可能な職場環境を形成することとなり、ひいては労災疾病の予防に繋がると考える。

10. 研究あるいは医療実施時における対象となる個人の人権の擁護に対する配慮

およびその個人の理解と同意について

(1) 被験者の人権擁護への配慮

本研究は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成27年4月1日施行）に則り、愛媛労災病院臨床倫理委員会の承認を得て実施される。

また、個々の対象者への事前の説明を十分に行い、同意を得るとともに、申し入れにより何時でもその利用を中断することが可能であることも説明し同意を得て行なう。

(イ) 産婦人科外来および手術を受けた患者への実態調査 質問紙を配布する際に適切に説明し、同意を得て行う。また、質問紙に同意書とともに同意撤

回書を合わせ配布することによって、個人の自由意志を尊重することができる。さらに、質問に答えない場合に診療行為に不利益が生じないように配慮し、このことを明記している。

(ロ) 一般婦人における実態調査と会社の中間管理職、産業衛生スタッフの意識調査 質問紙には個人を特定する氏名や住所の記入を求めない。また、本研究への参加が非同意の場合には質問に答えないことによって、個人の自由意志を尊重することができる。つまり、質問紙を配布し、回収することによって個人情報保護することが可能である。

(ハ) 労災病院の女性従業員に対する調査では経年変化を観察することから、健康状態についての2年間の追跡調査であることを明記し、同意を得て行う。なお、追跡調査の必要性和個人情報保護の重要性を両立するため、情報を連結可能匿名化し、対応表は事務局による管理とする。つまり、各病院で女性従業員に通し番号を割りふり、質問紙を配布する。本研究者は通し番号の付いた質問紙を回収し、解析する。2年後の再質問の場合にも女性従業員に同じ通し番号の付いた質問紙を配布する。本研究者は同じ通し番号の付いた質問紙は同一従業員の回答であり、2年間の変化を解析することが可能となる。

(ニ) さらに、得られたデータは学問的利用にのみ限定し、対象者個人を同定した利用は行わないことを明記する。

参加対象者および採取したデータの使用も含めて、個人情報の保護等について、最大限の倫理的な配慮をする。そのため、データは対象者番号の付与により匿名化し、個人識別情報へのアクセスは研究代表者が指名したスタッフに限定され、厳重に保管管理される。データ解析に際しては、対象者番号を用いて匿名化された調査票情報のみを取り扱い、専用のポータブルハードディスク内に蓄積し、USBに移行する場合は統計処理後の数量に限定する。学会発表や論文発表に際しては統計処理後の数値だけを利用し、アンケートに答えた個人の情報は特定できないこととする。

さらに、研究ホームページを開設し、研究内容を広く公表し、調査対象者を含めて誰もが研究について知りえるようする。

(2) 被験者（あるいはその保護者）に理解を求め同意を得る方法

同意の種類 口頭あるいは文書で行う。

(3) 研究によって被験者に生じうる危険性あるいは不快とそれに対する配慮

質問に答える際に不快の念が生じるかもしれないが、これも十分な説明で対応可能と考えている。なお、本研究事業に際して研究活動に因る負傷あるいは疾病罹患の危険性は無いと考え、安全衛生面での配慮は不要である。

11. その他

なし

写

別紙様式第2

審査結果通知書

平成 27 年 12 月 14 日

独立行政法人労働者健康福祉機構
愛媛労災病院 病院長 殿

独立行政法人労働者健康福祉機構
愛媛労災病院 臨床倫理委員会
委員長 木戸 健司 印

申請のあった下記事項についての審査結果を下記のとおり通知いたします。

記

受付番号	受付番号 第 60 号
実施責任者	病院長 宮内 文久
課題名	厚生労働省平成 27 年度労災疾病臨床研究事業「女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究」
審査区分	■通常審査（審査日：平成 27 年 5 月 14 日） ■迅速審査（審査終了日：平成 27 年 12 月 14 日）
判定	■承認 □条件付承認 □計画変更の勧告 □不承認 □対象外
理由又は勧告	
少数意見等	

申請者（実施責任者）
氏名 病院長 宮内 文久

依頼のあった医学研究（医療行為）に関する審議事項について、上記のとおり決定しましたので通知します。

平成 27 年 12 月 14 日
独立行政法人労働者健康福祉機構
愛媛労災病院 病院長 宮内 文久

労災疾病臨床研究事業費補助金

女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及び
その治療と就労の両立に関する調査研究（150201－01）

総合研究報告書

研究代表者 宮内 文久

発 行 平成 30 年 3 月

編集・発行 独立行政法人労働者健康安全機構 愛媛労災病院
〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町 13 番 27 号
TEL 0897 - 33 - 6191